

飯塚市健康増進計画等策定に関する
アンケート調査結果

【報告書】

令和5年9月

飯塚市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 調査結果の見方	1
II. アンケート集計結果（一般）	2
1. あなた自身について	2
2. 食生活について	10
3. 食育について	25
4. あなたの運動習慣・身体活動について	41
5. あなたの休養やこころの健康について	49
6. あなたの喫煙や飲酒習慣について	64
7. あなたの歯や口のことについて	74
8. 健康づくりの取り組みについて	79
9. 地域活動や情報について	95
III. アンケート集計結果（小学生・中学生・高校生）	99
1. あなた自身のことについて	99
2. あなたの食生活や食事の考え方について	102
3. あなたの運動習慣・身体活動について	124
4. あなたの休養や心の健康について	128
5. たばこやお酒について	132
6. あなたの歯や口のことなどについて	142
7. 健康づくりの取組について	146
IV. アンケート集計結果（乳幼児健診対象者・こども園保護者）	149
1. あなたとお子さんのことについて	149
2. お子さんを妊娠中から産後の時のことについて	158
3. お子さんの食生活について	167
4. お子さんの健康状態について	175
5. お子さんの生活習慣について	178
6. お子さんの歯や口のことについて	181
7. 子育てについて	184

I. 調査の概要

1. 調査目的

市民の健康や食生活の実態や健康づくりの意識・ニーズを把握し、「飯塚市健康増進計画」策定の基礎資料とするとともに、今後の計画の推進に反映することを目的に、アンケート調査を実施した。

2. 調査対象

	対象者	配布数	有効回収数 (回収率)
一般市民	市内在住の20歳以上(無作為抽出)	3,000件	844件 (28.1%)
小学5年生	飯塚東小、庄内小、上穂波小、椋本小、鯉田小、鯉田小	400件	385件 (96.3%)
中学2年生	飯塚第二中、飯塚鎮西中、穎田中、筑穂中、穂波東中	400件	340件 (85.0%)
高校2年生	嘉穂高等学校、嘉穂東高等学校、近畿大学付属福岡高等学校、飯塚高等学校	400件	392件 (98.0%)
乳幼児	0歳～5歳	400件	162件 (40.5%)
保育所園児の保護者	穂波幼稚園、愛宕幼稚園、いぎすれんげ幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、飯塚聖母幼稚園、つぼみ保育園	400件	337件 (84.3%)

3. 調査方法

- 一般市民：郵送配布、郵送回収
- 小学5年生、中学2年生、高校2年生：学校配布、学校回収
- 乳幼児：郵送配布、郵送回収
- 保育所園児：園から保護者に配布・回収

4. 調査期間

- 一般：令和5年7月21日～8月31日
- 小学生・中学生・高校生：令和5年6月27日(即日回収)
- 乳幼児・園児：令和5年7月7日～7月21日

5. 調査結果の見方

- 図表中のNは回答者全員、nは限定された回答者の数(母数)を示し、回答率(%)の分母となっている。
- 回答は、各質問の回答者数(計)を基数とした百分率(%)で示している。
小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の場合、その回答比率の合計は100%を超える。
- 割合が0.0%の場合は記載を省略する。

Ⅱ. アンケート集計結果（一般）

1. あなた自身について

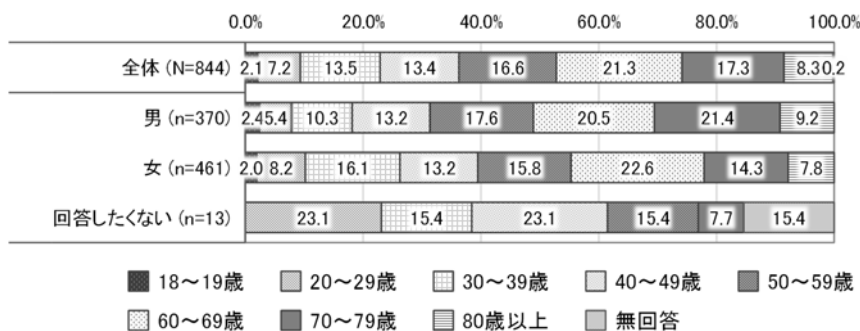
(1) あなたの性別はどれですか。

- 「男性」が43.8%、「女性」が54.6%、「回答したくない」が1.5%となっている。



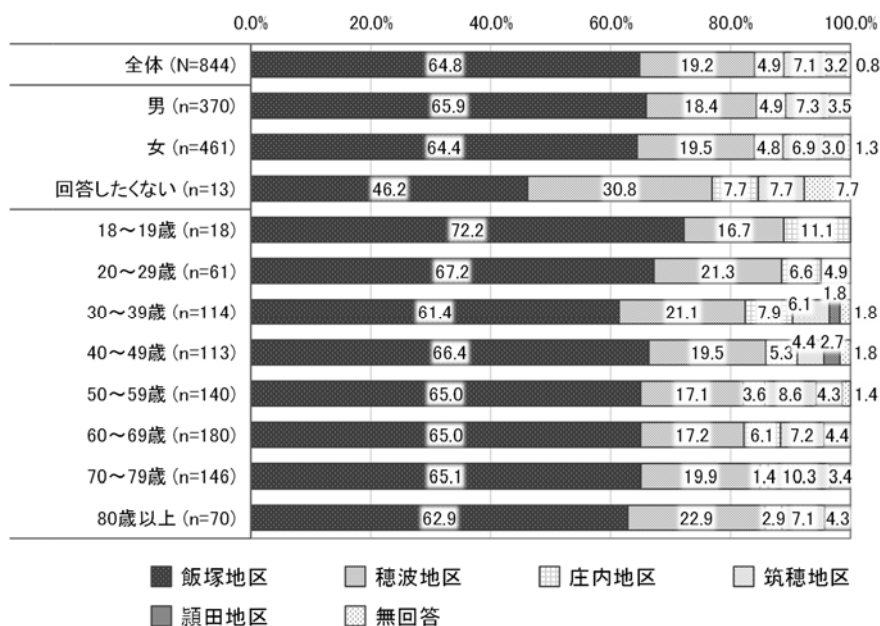
(2) あなたはどの年齢にあてはまりますか。

- 全体では、「60～69歳」が21.3%と最も高く、次いで「70～79歳」(17.3%)、「50～59歳」(16.6%)となっている。



(3) あなたがお住まいの地区¹はどこですか。(※小学校を参照)

- 全体では、「飯塚地区」が64.8%と最も高く、次いで、「穂波地区」(19.2%)、「筑穂地区」(7.1%)となっている。



1

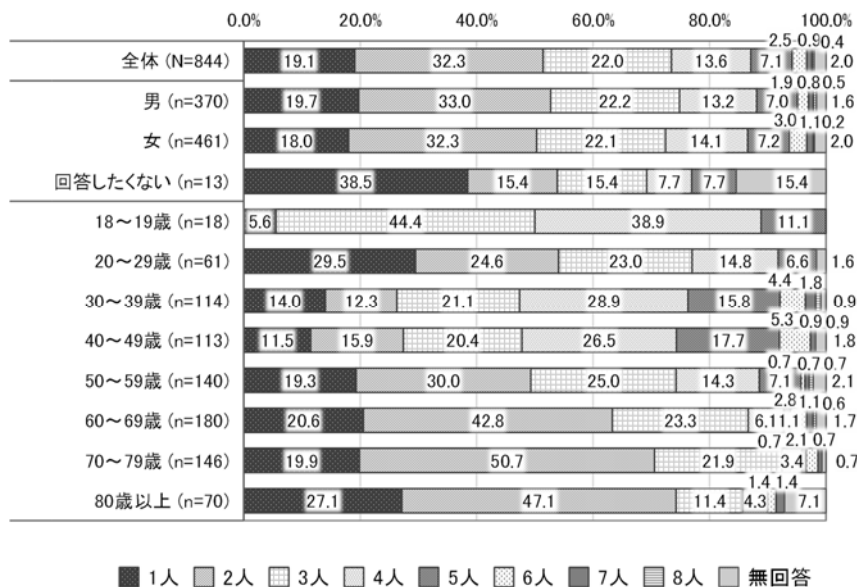
飯塚地区：鯉田、立岩、飯塚東、菰田、飯塚、片島、伊岐須、八木山、幸袋、飯塚鎮西

穂波地区：若菜、椋本、高田、穂波東
庄内地区：庄内
筑穂地区：内野、上穂波、大分
穎田地区：穎田

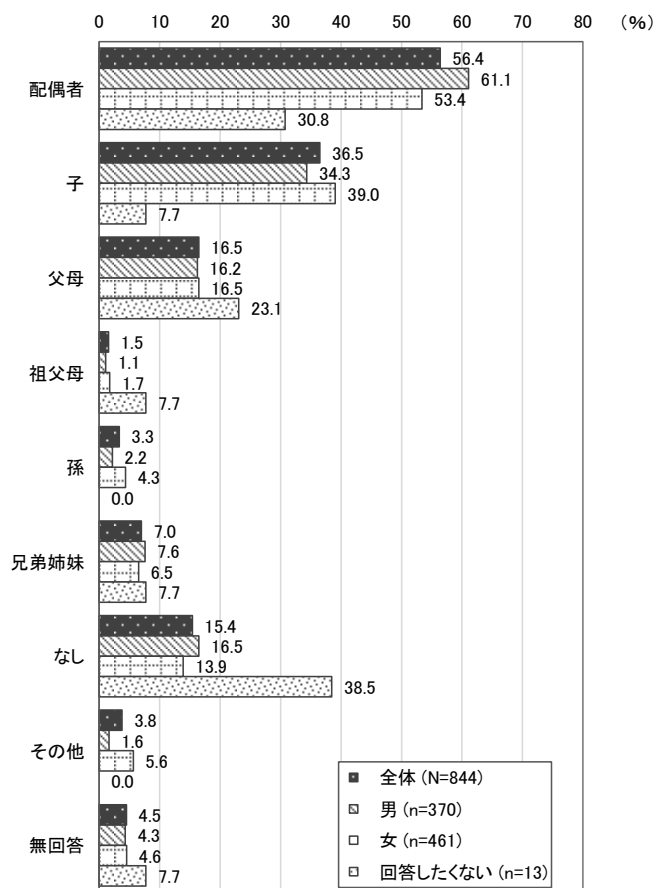
(4) あなたの同居家族は何人ですか。

- ▶ 全体では、同居人数は「2人」が32.3%、同居家族は「配偶者」が56.4%と最も高い。
- ▶ 年齢別にみると、単身者の割合は「20～29歳」(29.5%)が最も高いが、次いで、「80歳以上」(27.1%)、「60～69歳」(20.6%)、「70～79歳」(19.9%)と高齢者の割合が高くなっている。

《同居人数》

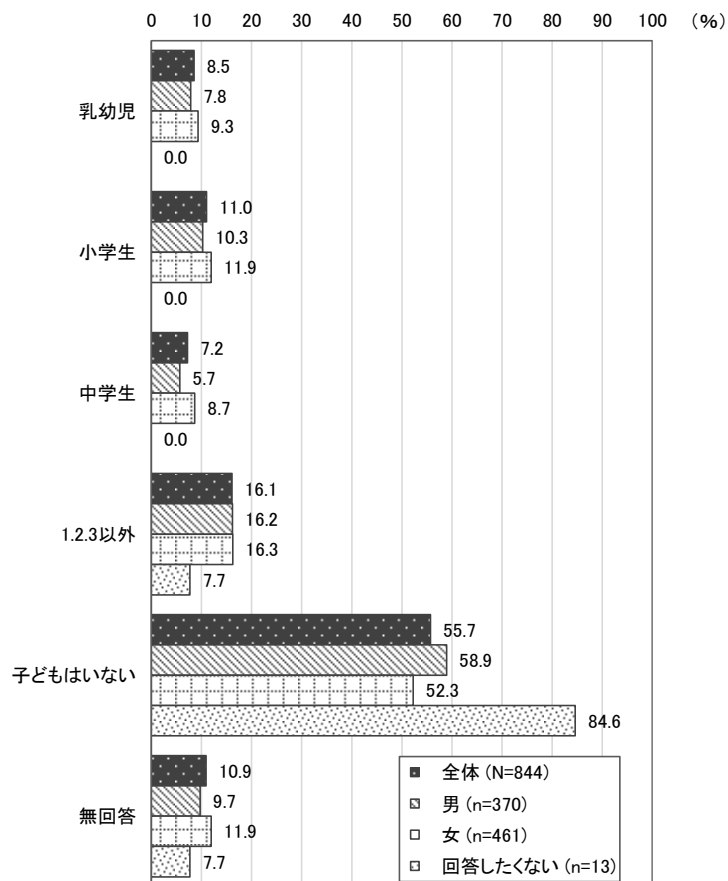


《同居家族》



(5) あなたの同居家族は18歳以下のお子さんがいますか。

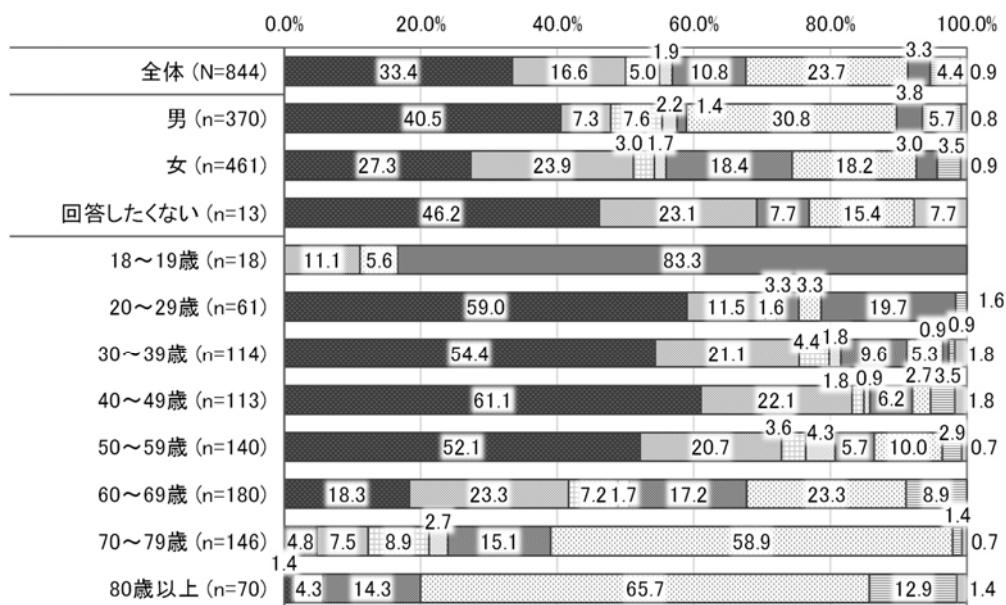
- 全体では、「子どもはいない」が55.7%と最も高く、次いで、「1.2.3以外²」(16.1%)、「小学生」(11.0%)となっている。



² 「1.2.3以外」とは、「乳幼児」「小学生」「中学生」の3つ以外を言う。

(6) あなたのご職業は何ですか。複数のご職業をお持ちの方は、主なものに○をつけてください。

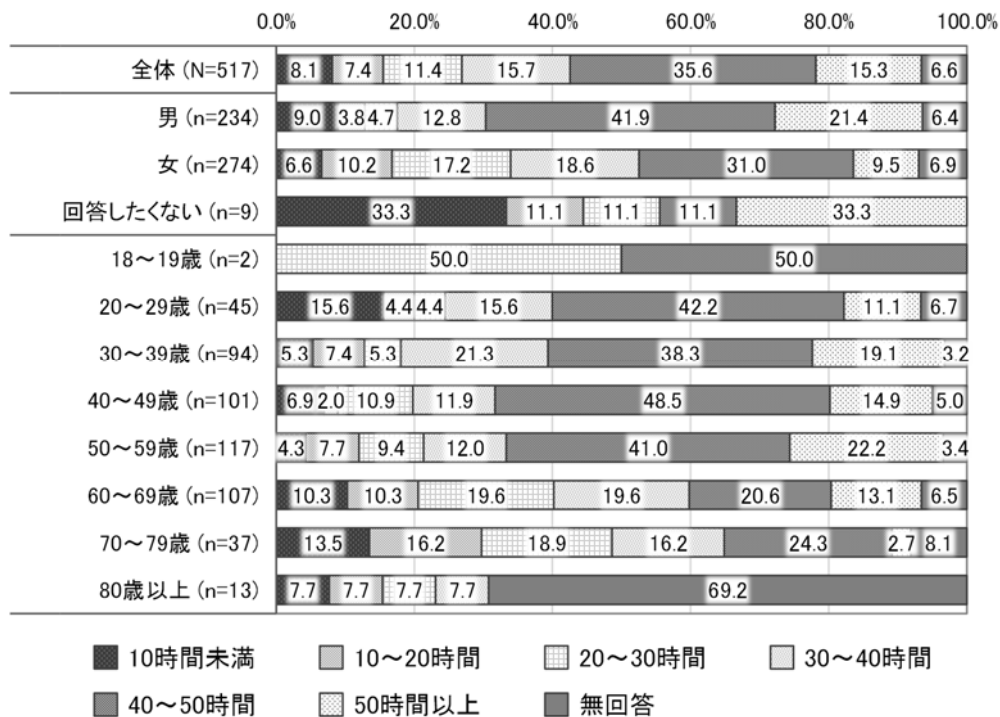
- 全体では、「会社員・公務員等（常勤）」が33.4%と最も高く、次いで、「無職」（23.7%）、「パート・アルバイト」（16.6%）となっている。
- 性別では、「会社員・公務員等（常勤）」の割合は「男性」の方が高い。また、「パート・アルバイト」の割合は「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「会社員・公務員等（常勤）」の割合は「20～29歳」から「50～59歳」において、半数以上を占める。また、「パート・アルバイト」の割合は「30～39歳」から「60～69歳」で高い傾向にある。



- 会社員・公務員等(常勤)
- パート・アルバイト
- 自営業(事業経営・個人商店など)
- 自由業(個人で、自分の専門的知識や技術を生かした職業に従事)
- 専業主婦・主夫
- 無職
- 学生
- その他
- 無回答

(6) -1³ 過去1か月の1週間あたりの実労働時間は何時間でしたか（休日を含む）。

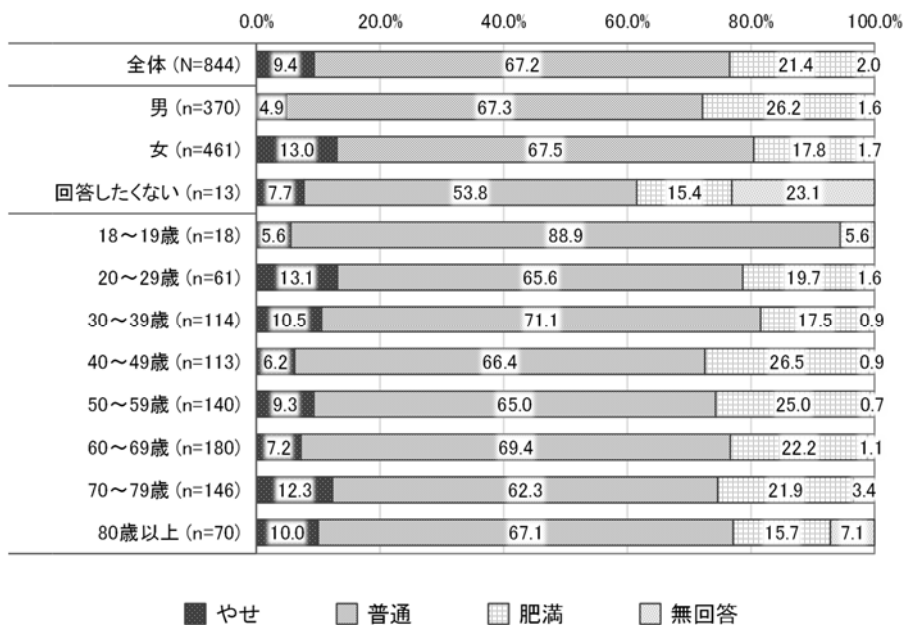
- 全体では、「40～50時間」が35.6%と最も高く、次いで、「30～40時間」（15.7%）、「50時間以上」（15.3%）となっている。
- 性別で見ると「男性」が40時間以上の労働時間の割合が高くなっており、週50時間以上働いている人の割合が2割を超えている。



³ (6) で「会社員・公務員等（常勤）」「パート・アルバイト」「自営業（事業経営・個人商店など）」「自由業（個人で、自分の専門的知識や技術を生かした職業に従事）」「その他」に○をつけた方のみ回答。

(7) BMI⁴による肥満の傾向（※身長と体重から算出）

- 身長・体重よりBMIを算出すると、全体では「普通」が67.2%と最も高く、次いで、「肥満」(21.4%)、「やせ」(9.4%)となっている。
- 性別では、「肥満」の割合は「男性」の方が高く、「やせ」の割合は「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「肥満」の割合は「40～49歳」で最も高い。



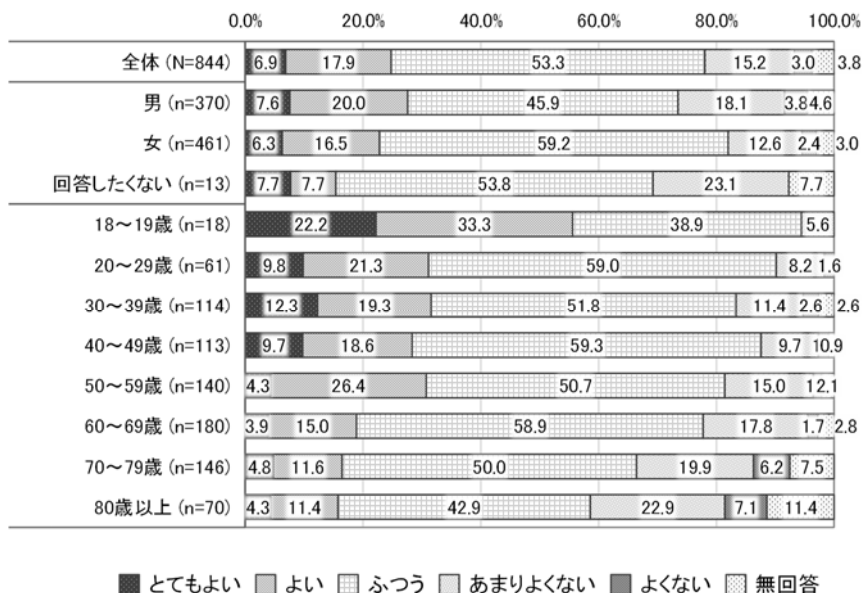
⁴ 身長と体重から算出される、肥満度を表す指数。

式：BMI = 体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}

判定基準	指数	18.5未満	18.5～25.0	25.0以上
	判定		やせ	普通

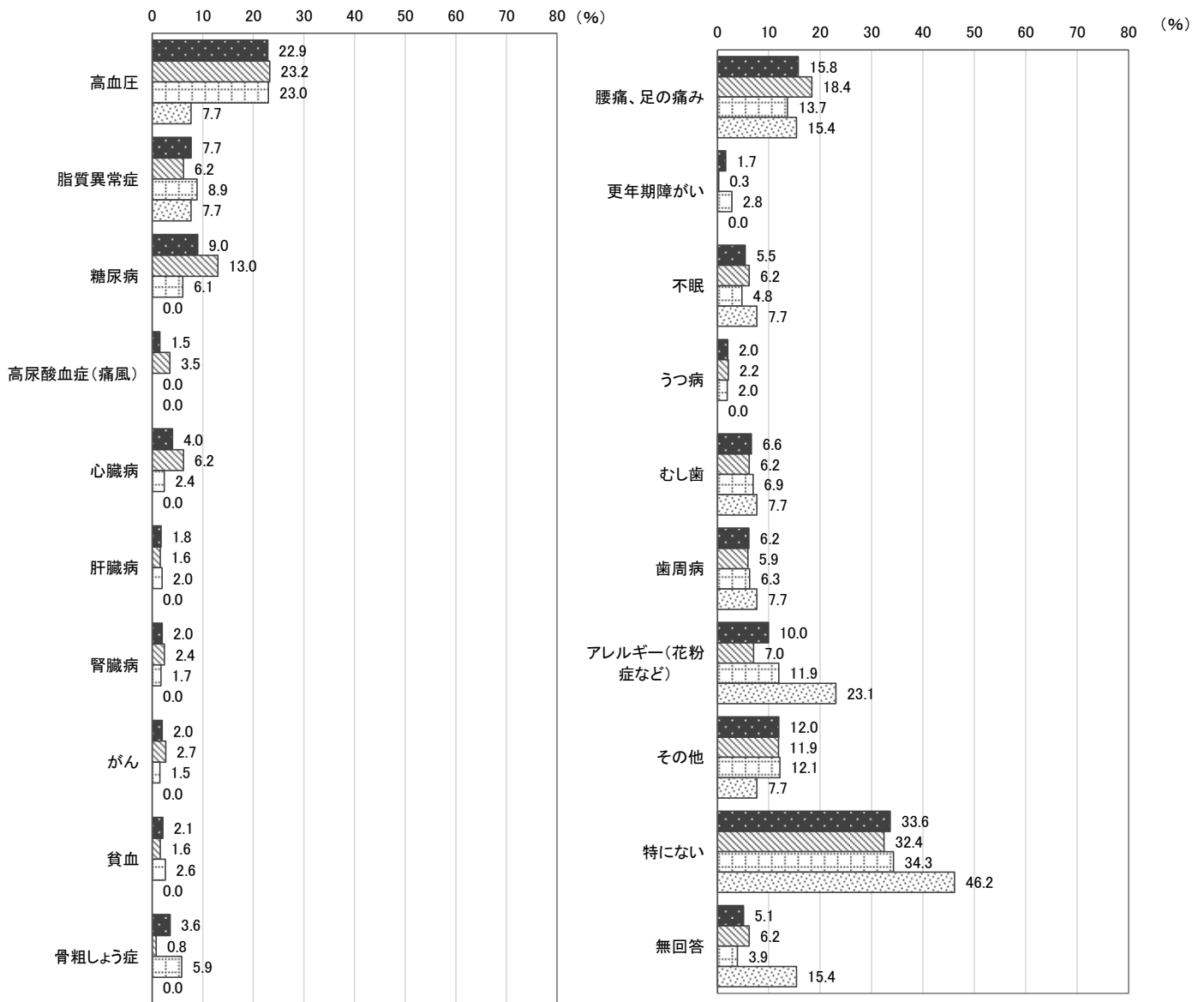
(8) あなたの現在の健康状態を次の中から選んでください。

- 全体では、「ふつう」が53.3%と最も高く、次いで、「よい」(17.9%)、「あまりよくない」(15.2%)となっている。
- 性別では、「女性」の方が「男性」より健康状態はよい傾向にある。
- 年齢別では、年齢が高くなるにつれて健康状態は悪い傾向にある。



(9) あなたは現在治療中の病気がありますか。

- ▶ 全体では、「特にない」が33.6%と最も高く、次いで、「高血圧」(22.9%)、「腰痛、足の痛み」(15.8%)となっている。
- ▶ 性別では、「男性」は「糖尿病」と「心臓病」の割合が「女性」よりも高く、「女性」は「骨粗しょう症」と「アレルギー(花粉症など)」の割合が「男性」よりも高い。



■ 全体 (N=844) □ 男 (n=370) □ 女 (n=461) □ 回答したくない (n=13)

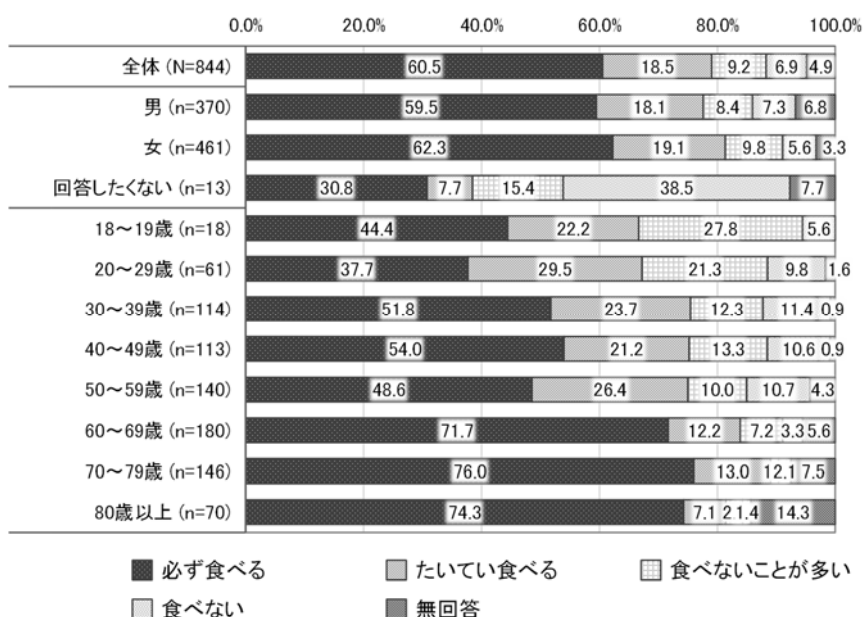
2. 食生活について

(1) あなたの平日のお食事（朝食、昼食、夕食について）をうかがいます。

《① 食事をとっていますか》

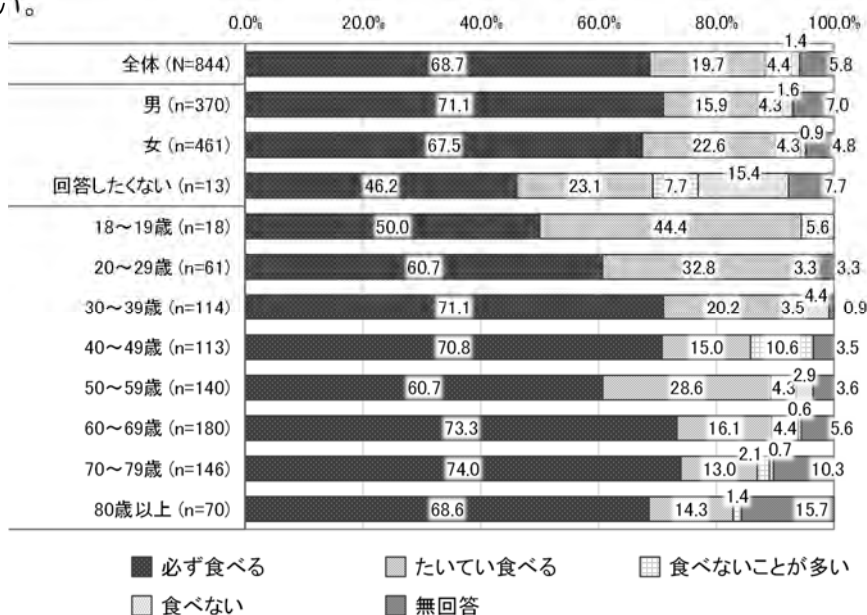
朝食

- 全体では、「必ず食べる」割合が 60.5%と最も高い。
- 性別では、「男性」の方が食べない傾向が高い。
- 年齢別では、年代が若くなるにつれて食べない傾向にある。



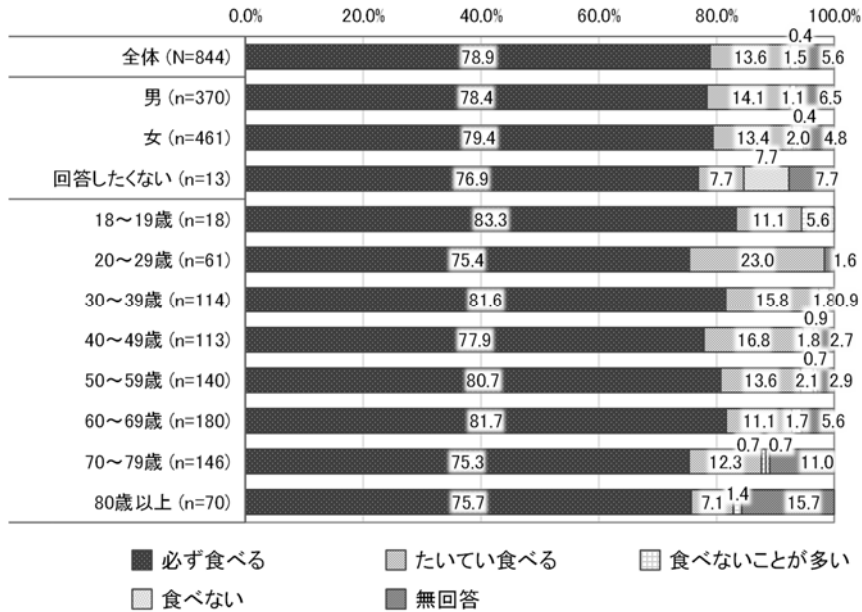
昼食

- 全体では、「必ず食べる」割合が 68.7%と最も高い。
- 性別では大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「30~39歳」から「50~59歳」にかけて食べない傾向が高い。



夕食

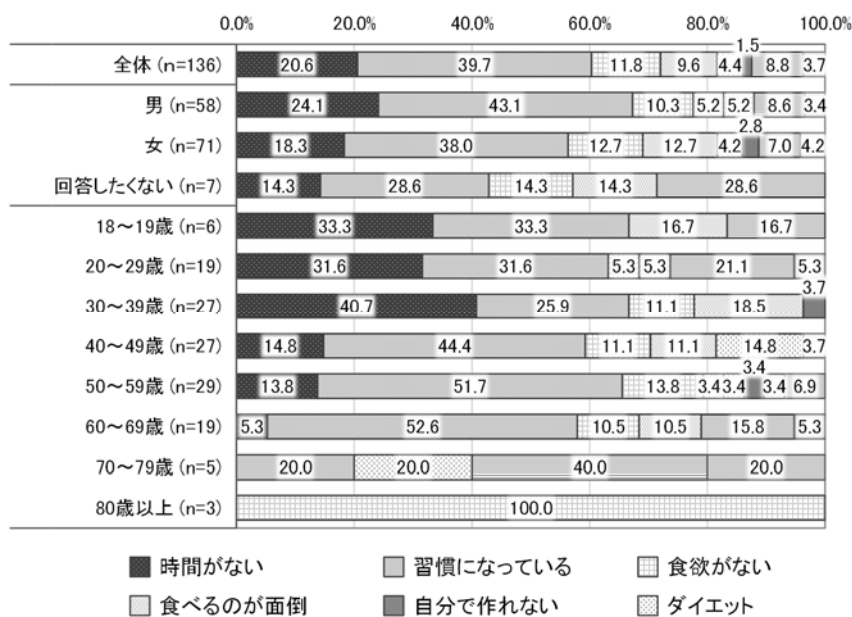
- ▶ 全体では、「必ず食べる」割合が78.9%と最も高い。
- ▶ 性別、年齢別では大きな差異はみられない。



《①-1⁵ 食事を食べない理由は何ですか》

朝食

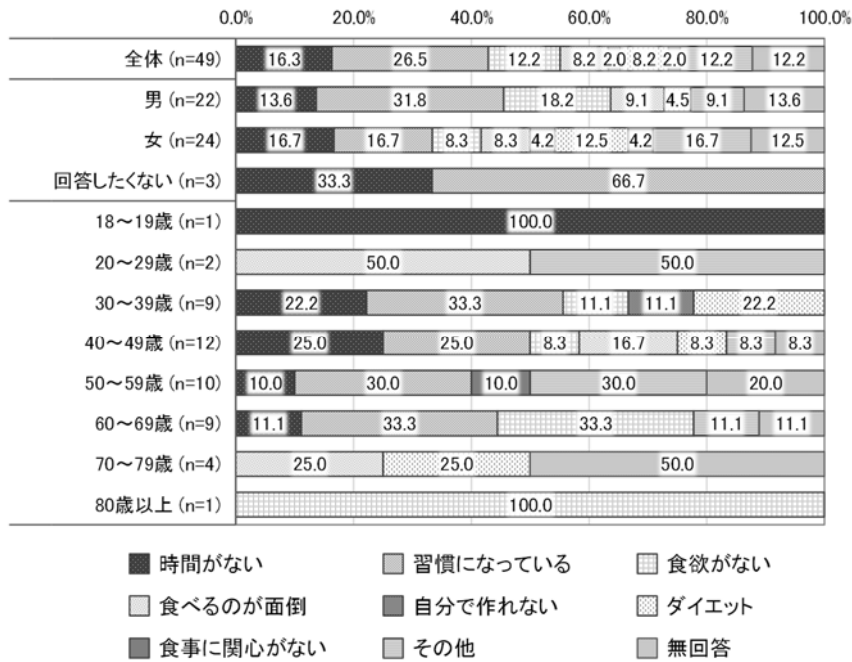
- ▶ 全体では、「習慣になっている」割合が39.7%と最も高い。
- ▶ 性別では、「男性」と「女性」とともに「習慣になっている」割合が最も高い。
- ▶ 年齢別では、年代が若い世代で「時間がない」割合が高く、「80歳以上」では、「食欲がない」割合が高い。



⁵ 前設問①で「食べないことが多い」「食べない」を選んだ方のみ回答。

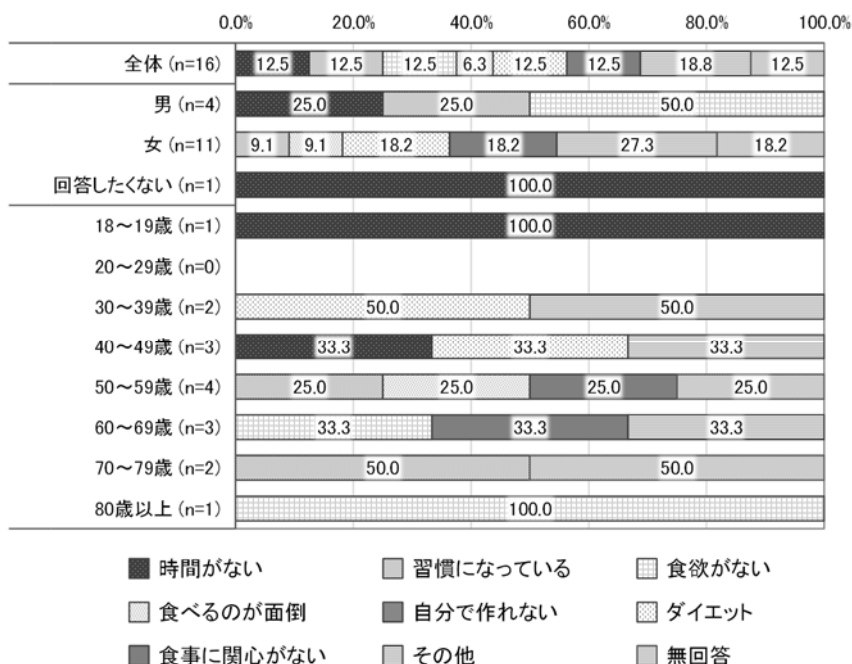
昼食

- 全体では、「習慣になっている」割合が 26.5%と最も高い。
- 性別では、「男性」の方が「女性」よりも「習慣になっている」割合が高い。



夕食

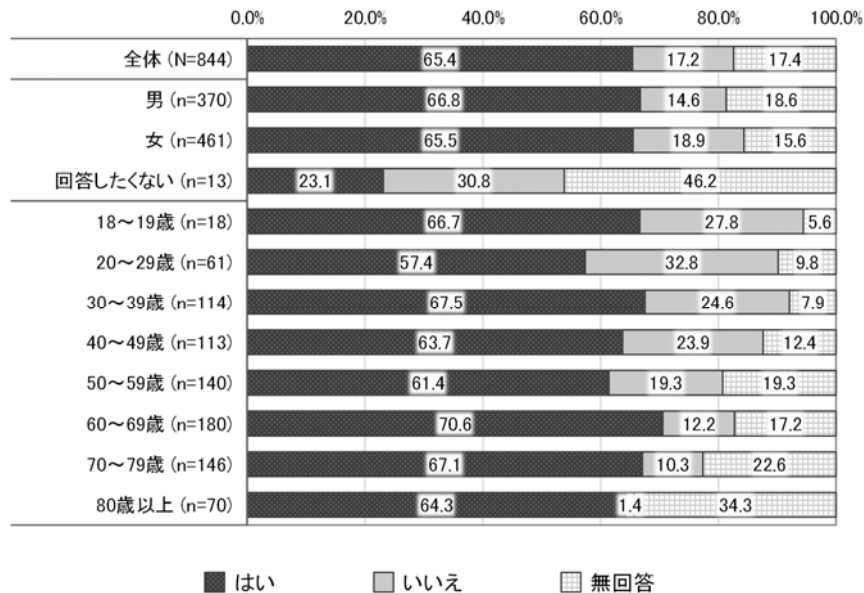
- 全体では、「その他」の割合が 18.8%と最も高い。
- 性別では、「男性」の方が「女性」よりも「時間がない」「食欲がない」の割合が高い傾向にある。
- 年齢別では、年代が若い世代で「ダイエット」の割合が高い。



《② 食事の時刻は一定ですか》

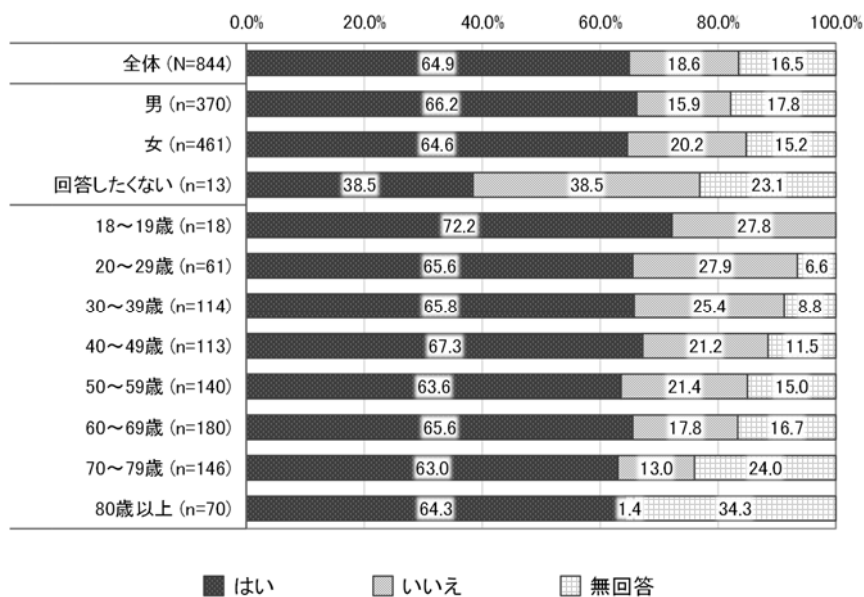
朝食

- 全体では、「はい」の割合が65.4%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、年代が若い世代で「いいえ」の割合が高い傾向にある。



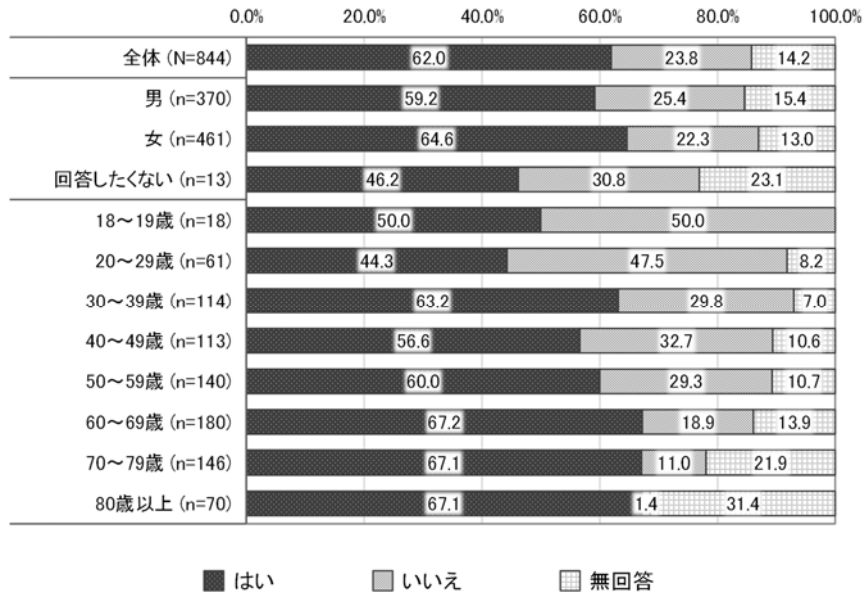
昼食

- 全体では、「はい」の割合が64.9%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、年代が若い世代で「いいえ」の割合が高い傾向にある。



夕食

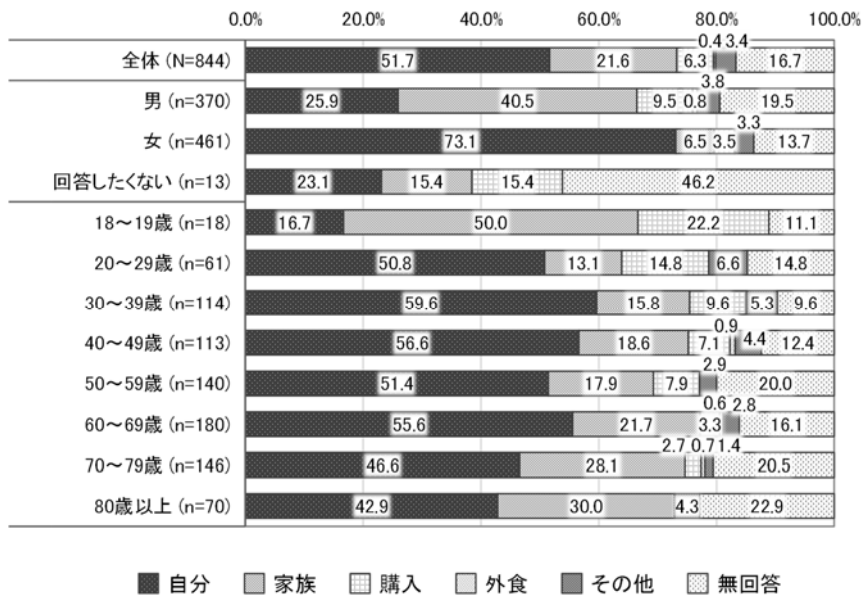
- 全体では、「はい」の割合が62.0%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、年代が若い世代で「いいえ」の割合が高い傾向にある。



《③ 誰が作りますか》

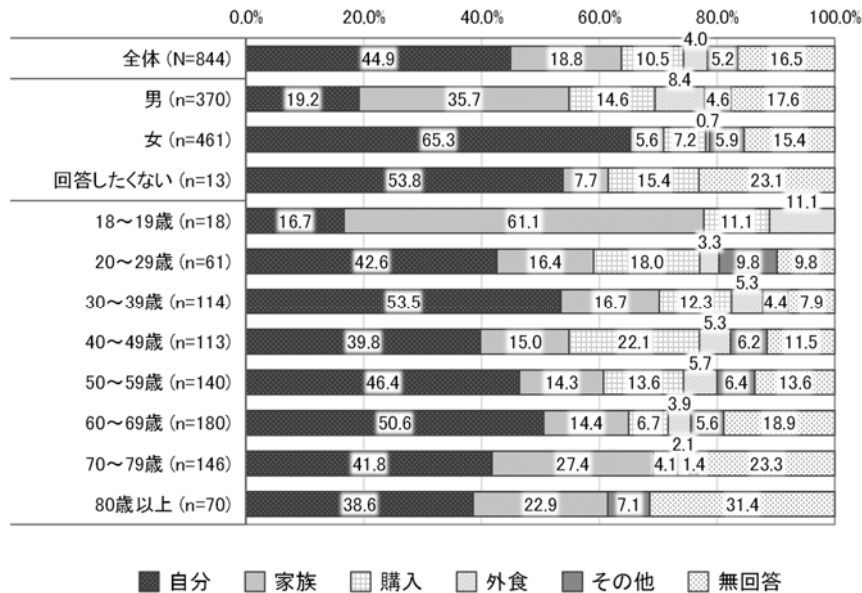
朝食

- 全体では、「自分」の割合が51.7%と最も高い。
- 性別では、「男性」は「家族」の割合が高く、「女性」は「自分」の割合が高い。
- 年齢別では、「購入」の割合が「18~19歳」で最も高い。



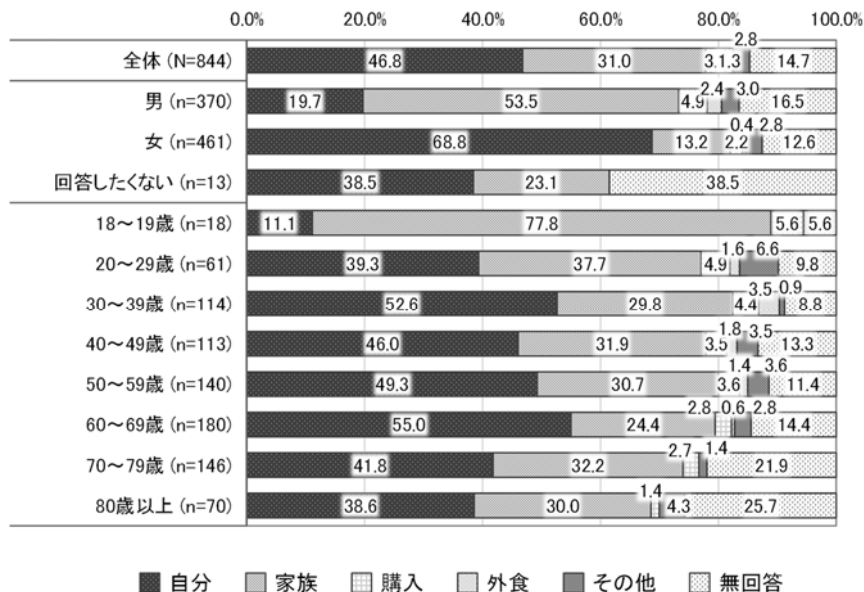
昼食

- 全体では、「自分」の割合が 44.9%と最も高い。
- 性別では、「男性」は「家族」の割合が高く、「女性」は「自分」の割合が高い。
- 年齢別では、「購入」の割合が「40～49 歳」で最も高い。



夕食

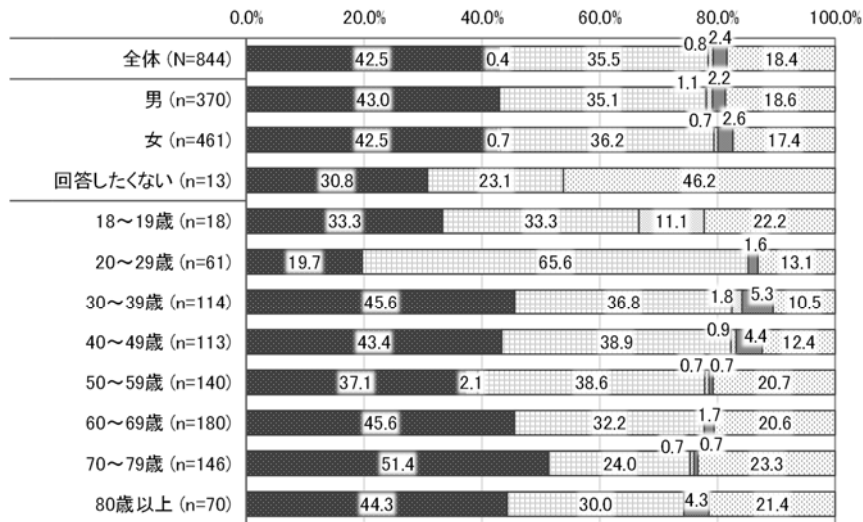
- 全体では、「自分」の割合が 46.8%、次いで、「家族」の割合が 31.0%となっている。
- 性別では、「男性」は「家族」の割合が高く、「女性」は「自分」の割合が高い。
- 年齢別では、「18～19 歳」は「家族」の割合が最も高く、その他の世代では「自分」の割合が最も高い。



《④ 誰と食べますか》

朝食

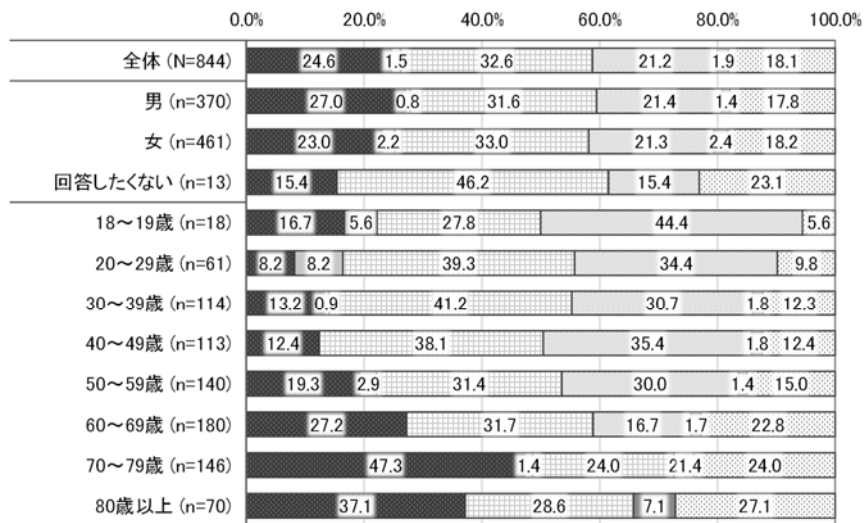
- 全体では、「家族」の割合が 42.5%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「20～29 歳」と「50～59 歳」では「一人で」の割合が最も高く、その他の世代では「家族」の割合が最も高い。「18～19 歳」では「家族」と「一人で」の割合が 33.3%となっている。



■ 家族 ■ 友人 ■ 一人で ■ 職場や学校の人 ■ その他 ■ 無回答

昼食

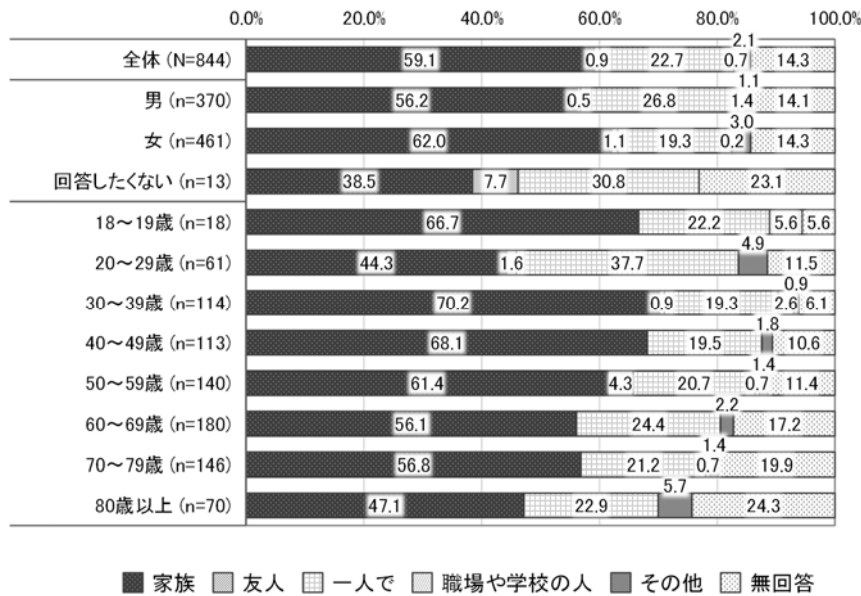
- 全体では、「一人で」の割合が 32.6%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「18～19 歳」で「職場や学校の人」、「70～79 歳」と「80 歳以上」では「家族」の割合が最も高く、その他の世代では「一人で」の割合が最も高い傾向にある。



■ 家族 ■ 友人 ■ 一人で ■ 職場や学校の人 ■ その他 ■ 無回答

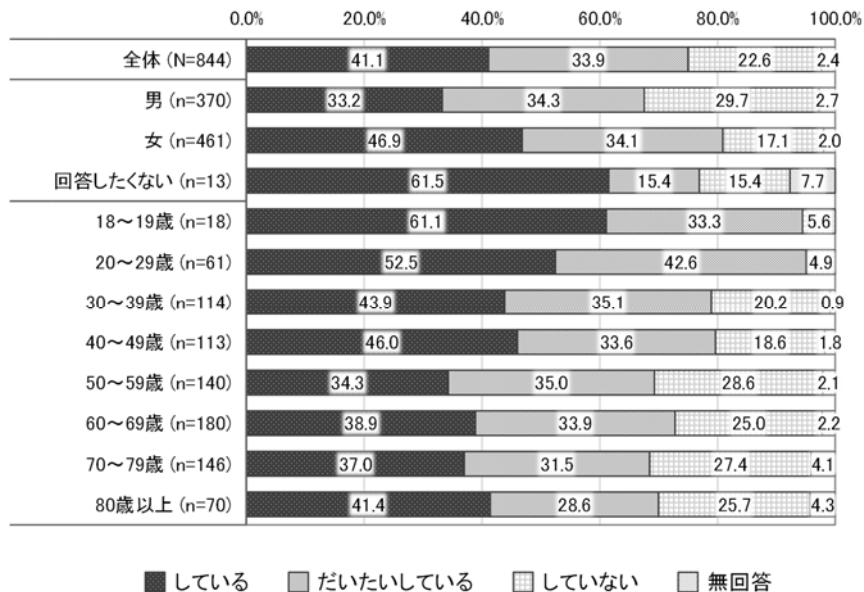
夕食

- ▶ 全体では、「家族」の割合が59.1%と最も高い。
- ▶ 性別では、「一人で」の割合は「男性」の方が高い。
- ▶ 年齢別では、「20～29歳」では「一人で」の割合が高い傾向にある。



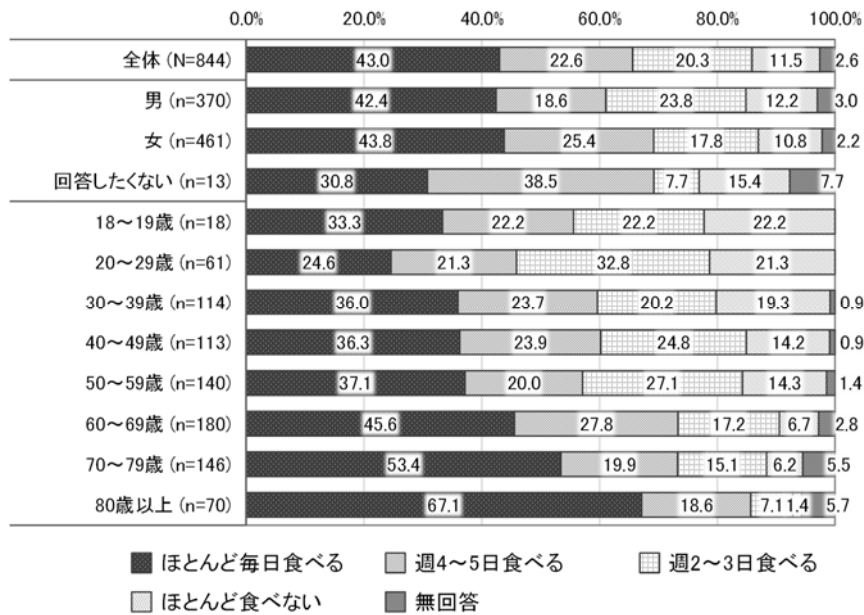
(2) あなたは、食事のときに「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。

- ▶ 全体では、「している」と「だいたいしている」を合わせた割合が75.0%となっている。
- ▶ 性別では、「してない」の割合は「男性」の方が高い。
- ▶ 年齢別では、「50～59歳」以上で「してない」割合が高い傾向にある。



(3) あなたは、1日に2回以上「主食・主菜・副菜」⁶をそろえて食べることが、週に何日ありますか。

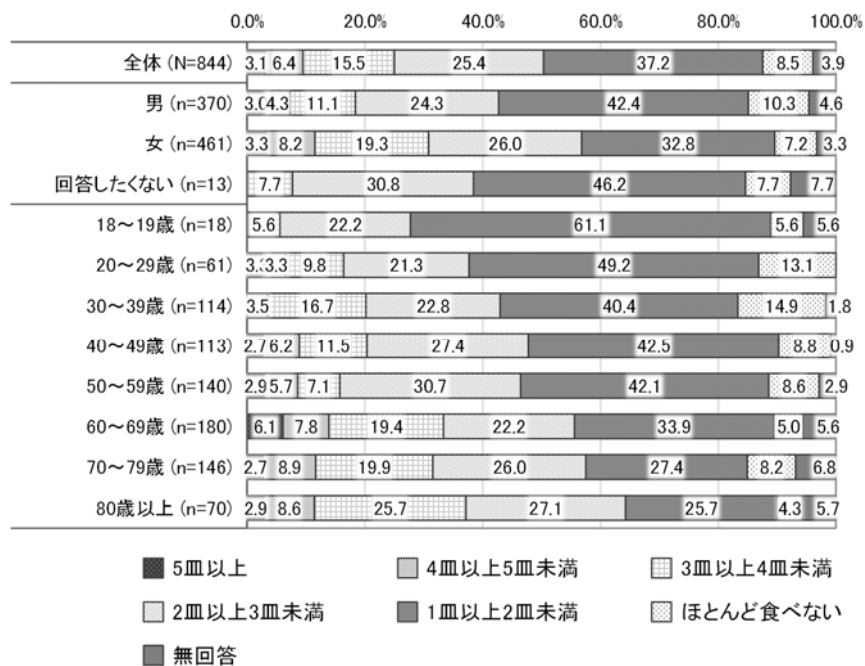
- 全体では、「ほとんど毎日食べる」が43.0%と最も高く、次いで、「週4～5日食べる」(22.6%)、「週2～3日食べる」(20.3%)となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、年代が低くなるにつれて食べる頻度は少ない傾向にある。



⁶ 主食：米、パン、めん類などを使った料理。
 主菜：魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理。
 副菜：野菜、海そう、きのこ、いもなどを使った料理。

(4) あなたは、ふだん野菜を1日に何皿くらい食べていますか。

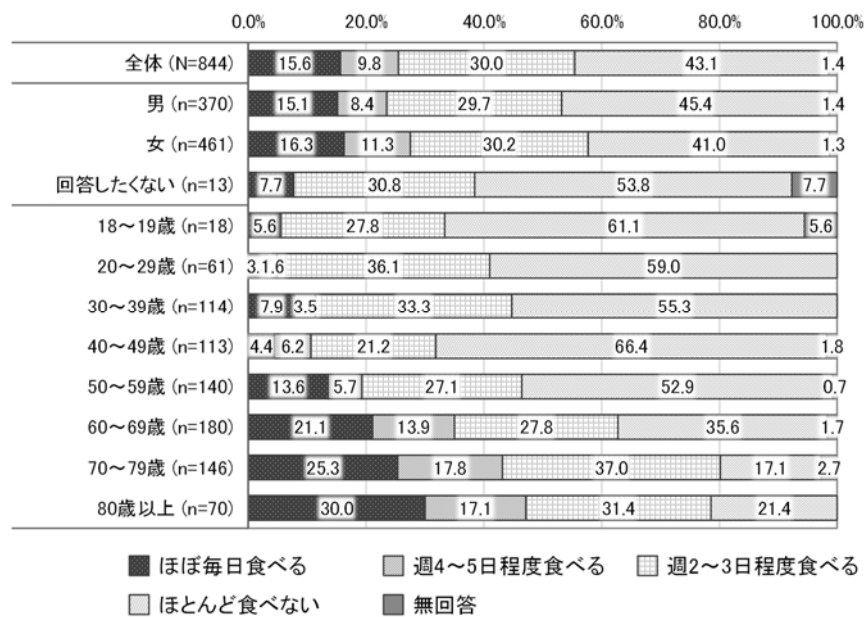
- ▶ 全体では、「1皿以上2皿未満」が37.2%と最も高く、次いで、「2皿以上3皿未満」(25.4%)、「3皿以上4皿未満」(15.5%)となっている。野菜の1日の目標量⁷を摂取している割合は3.1%となっている。
- ▶ 性別では、野菜を摂取している割合は「女性」の方が高い。
- ▶ 年齢別では、野菜の1日の目標量を摂取している割合は、「60～69歳」(6.1%)と最も高く、「18～19歳」では0%となっている。



⁷ 野菜の1日の目標量は5皿分(350g)。小鉢1皿を70gとする。

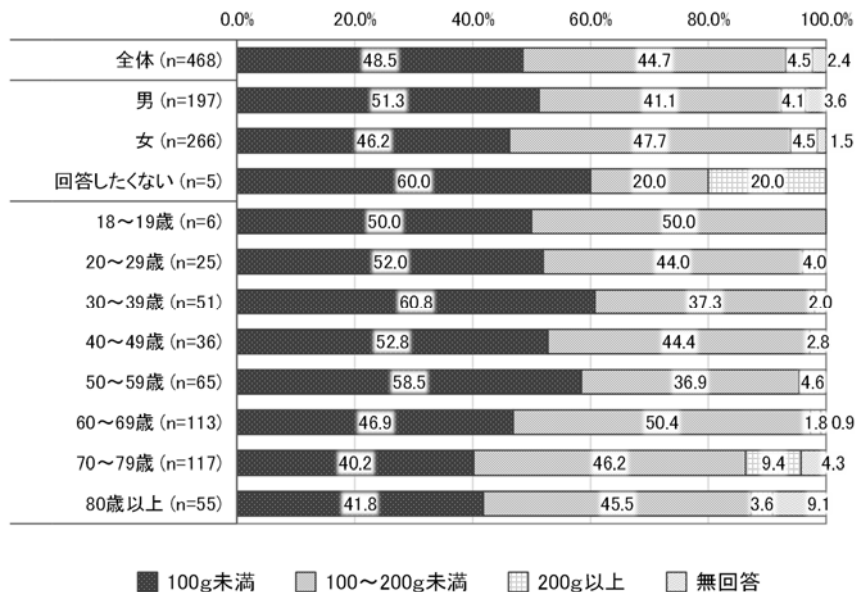
(5) あなたは、ふだん果物を食べていますか。

- ▶ 全体では、「ほとんど食べない」が43.1%と最も高く、次いで、「週2～3日食べる」(30.0%)、「ほとんど毎日食べる」(15.6%)となっている。
- ▶ 性別では、ふだん果物を食べる割合は「女性」の方が高い。また、「ほとんど食べない」割合は「男性」の方が高い。
- ▶ 年齢別では、「ほぼ毎日食べる」割合は、年代が高くなるにつれて高い傾向にある。また、「ほとんど食べない」割合は、「18～19歳」から「50～59歳」で過半数を占める。



(5) -1⁸ 果物を1日にどのくらい食べますか。

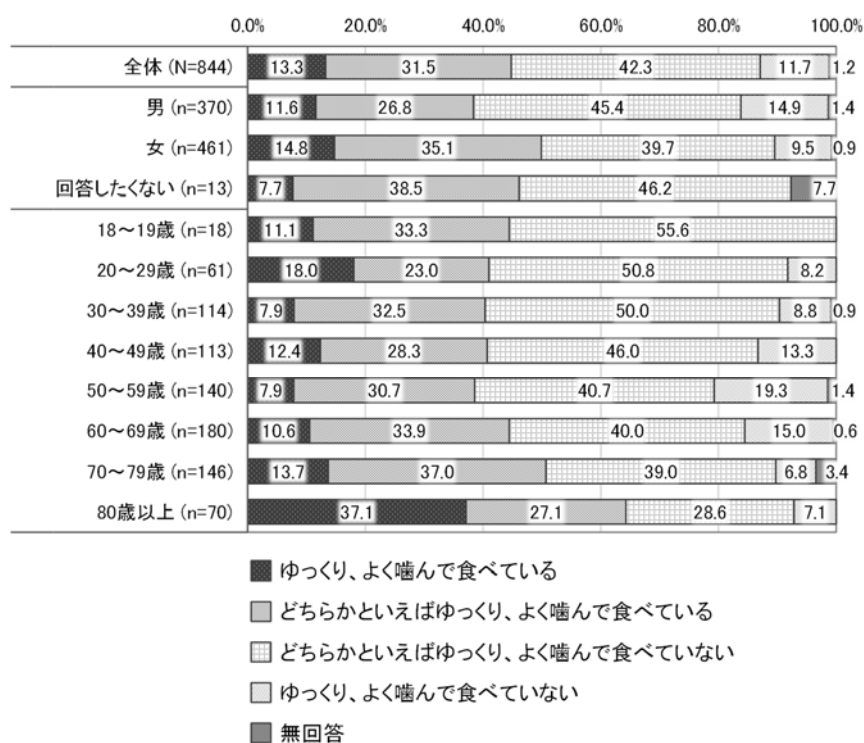
- 全体では、「100g未満」が48.5%と最も高く、次いで、「100～200g未満」(44.7%)となっている。
- 性別では、果物の摂取量は「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「18～19歳」から「50～59歳」では「100g未満」の割合が半数以上を占めている。また、その他の世代では、「100～200g未満」の割合が高い傾向にある。



⁸ (5) で「ほぼ毎日食べる」「週4～5日食べる」「週2～3日食べる」に○をつけた方のみ回答。

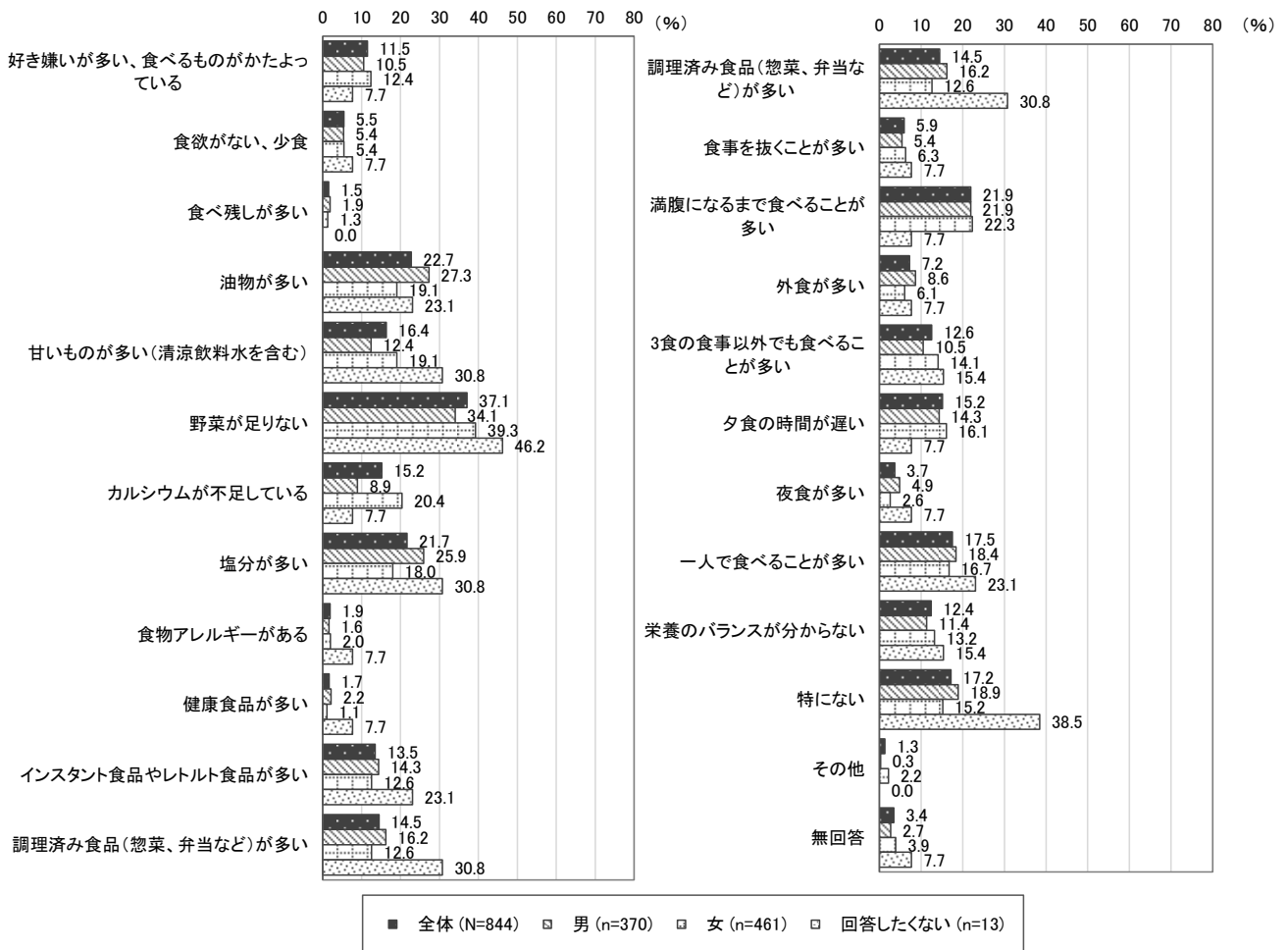
(6) あなたは食事のとき、ゆっくり、よく噛んで食べますか。

- ▶ 全体では、「どちらかといえばゆっくり、よく噛んで食べていない」が42.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえばゆっくり、よく噛んで食べている」(31.5%)となっている。
- ▶ 傾向としては、「どちらかといえば、ゆっくりよく噛んで食べている」「ゆっくり、よく噛んで食べていない」の割合が高くなっている。
- ▶ 性別では、「女性」の方が「どちらかといえばゆっくり、よく噛んで食べている」「ゆっくりよく噛んで食べている」の割合が高い。



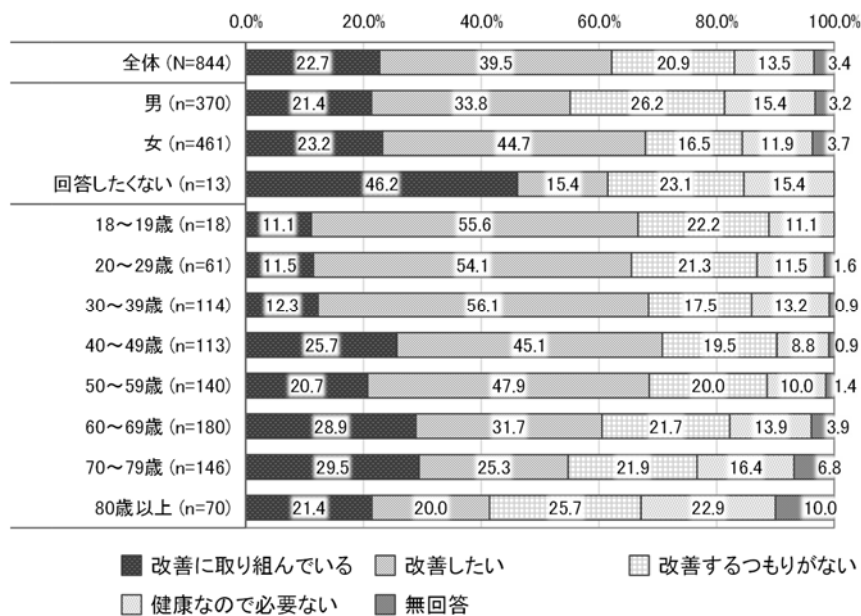
(7) あなたは、自分自身の食生活で気になっていることはありますか。

- ▶ 全体では、「野菜が足りない」が37.1%と最も高く、次いで、「油物が多い」(22.7%)、「満腹になるまで食べることが多い」(21.9%)となっている。
- ▶ 性別では、「カルシウムが不足している」割合は「女性」の方が「男性」の2倍以上高い。



(8) あなたは、ご自身の食生活の改善についてどのように思いますか。

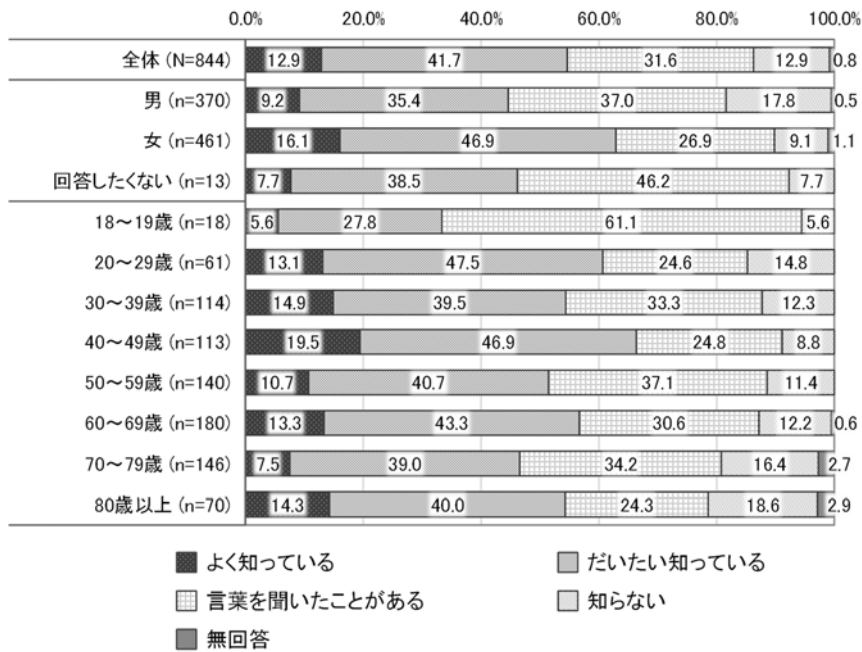
- ▶ 全体では、「改善したい」が39.5%と最も高く、次いで、「改善に取り組んでいる」(22.7%)、「改善するつもりがない」(20.9%)となっている。
- ▶ 性別では、「改善するつもりがない」割合は「男性」の方が「女性」より高く、「女性」は「改善したい」割合が最も高い。
- ▶ 年齢別では、「改善に取り組んでいる」割合は年代が高くなるにつれて高い傾向にあり、「改善したい」割合は年代が若くなるにつれて高い傾向にある。



3. 食育について

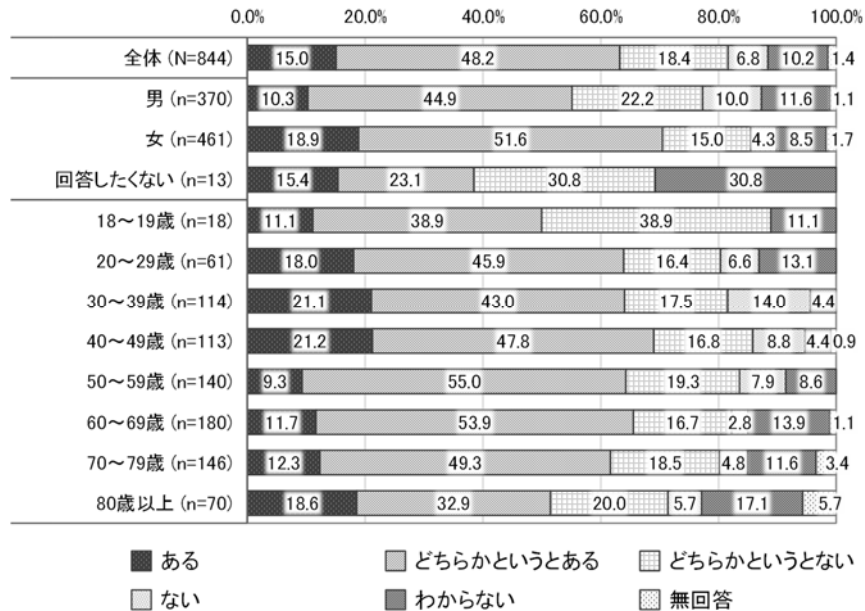
(1) あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていますか。

- ▶ 全体では、「だいたい知っている」が41.7%と最も高く、次いで、「言葉を聞いたことがある」(31.6%)、「よく知っている」(12.9%)、「知らない」(12.9%)となっている。
- ▶ 性別では、「よく知っている」「だいたい知っている」割合は、「女性」の方が高い。
- ▶ 年齢別では、「よく知っている」「だいたい知っている」割合は「40～49歳」が最も高い。また、「知らない」割合は、「70～79歳」以上で高い傾向にある。



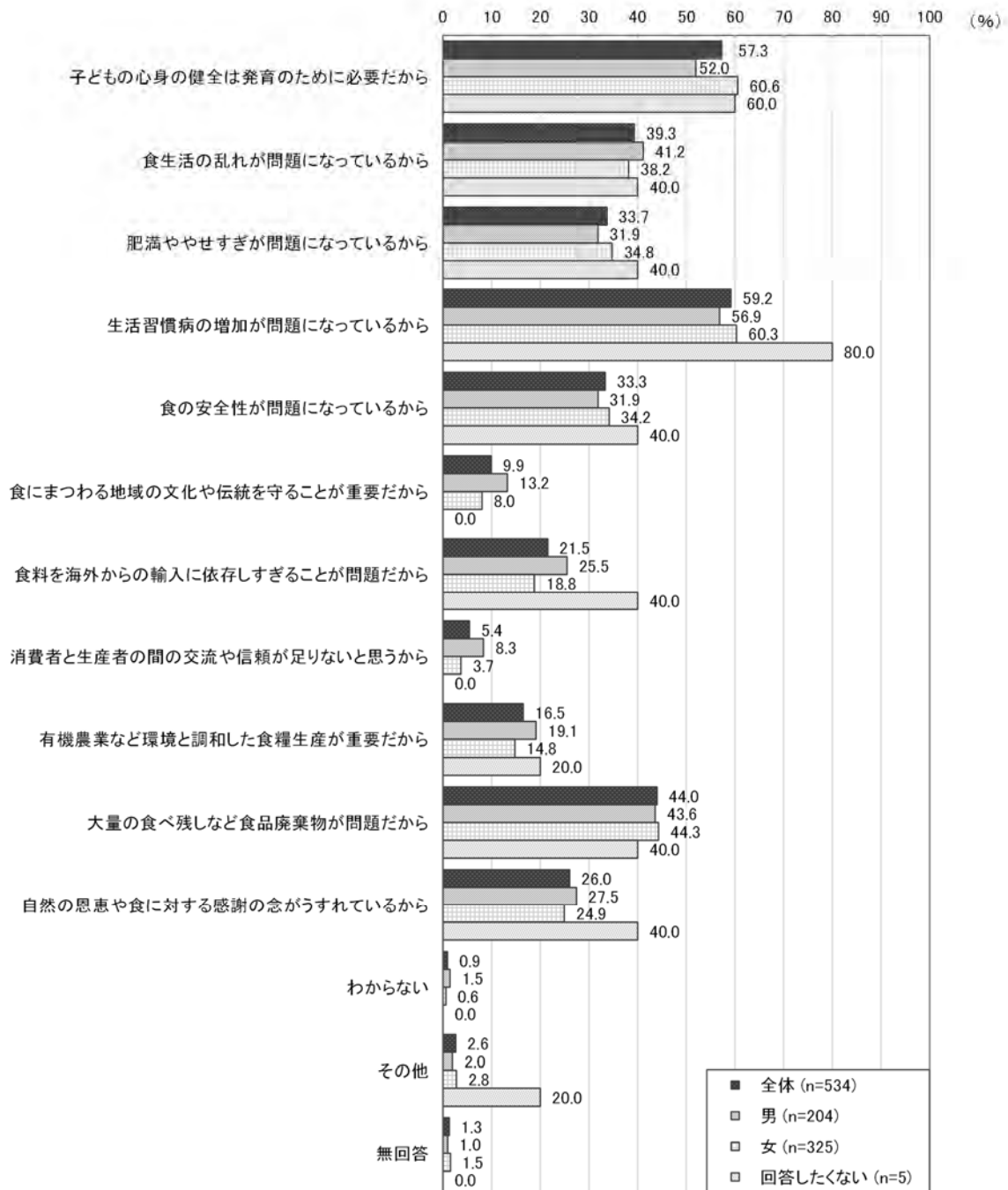
(2) あなたは、食育に関心がありますか。

- 全体では、「どちらかというところある」が48.2%と最も高く、次いで、「どちらかというところない」(18.4%)、「ある」(15.0%)となっている。
- 性別では、「ある」「どちらかというところある」割合は、「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「どちらかというところない」「ない」割合は「18～19歳」が最も高い。



(2) -1⁹ 関心がある理由は何ですか。

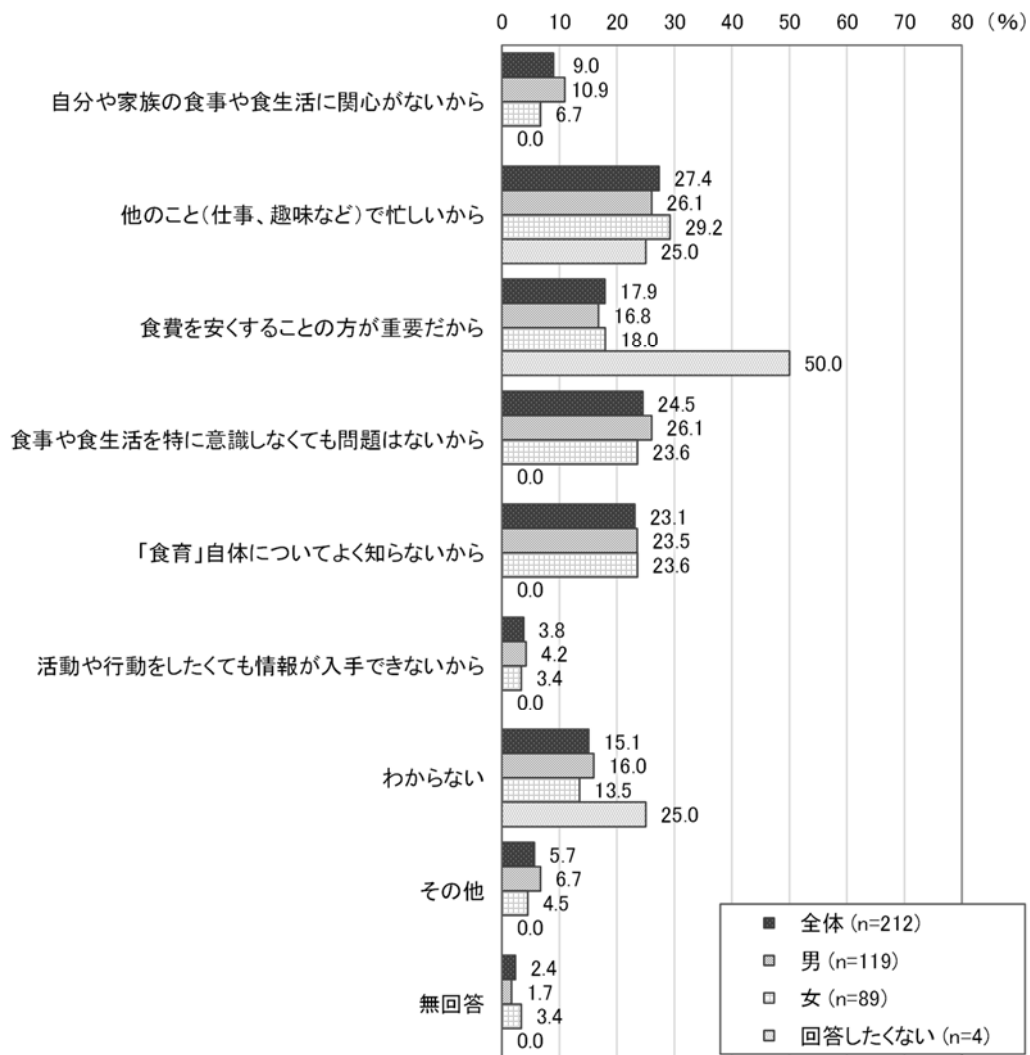
- ▶ 全体では、「生活習慣病の増加が問題になっているから」が59.2%と最も高く、次いで、「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」(57.3%)、「大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから」(44.0%)となっている。
- ▶ 性別では、大きな差異はみられない。



⁹ (2) で「ある」「どちらかというところ」に○をつけた方のみ回答。

(2) -2¹⁰ 関心がない理由は何ですか。

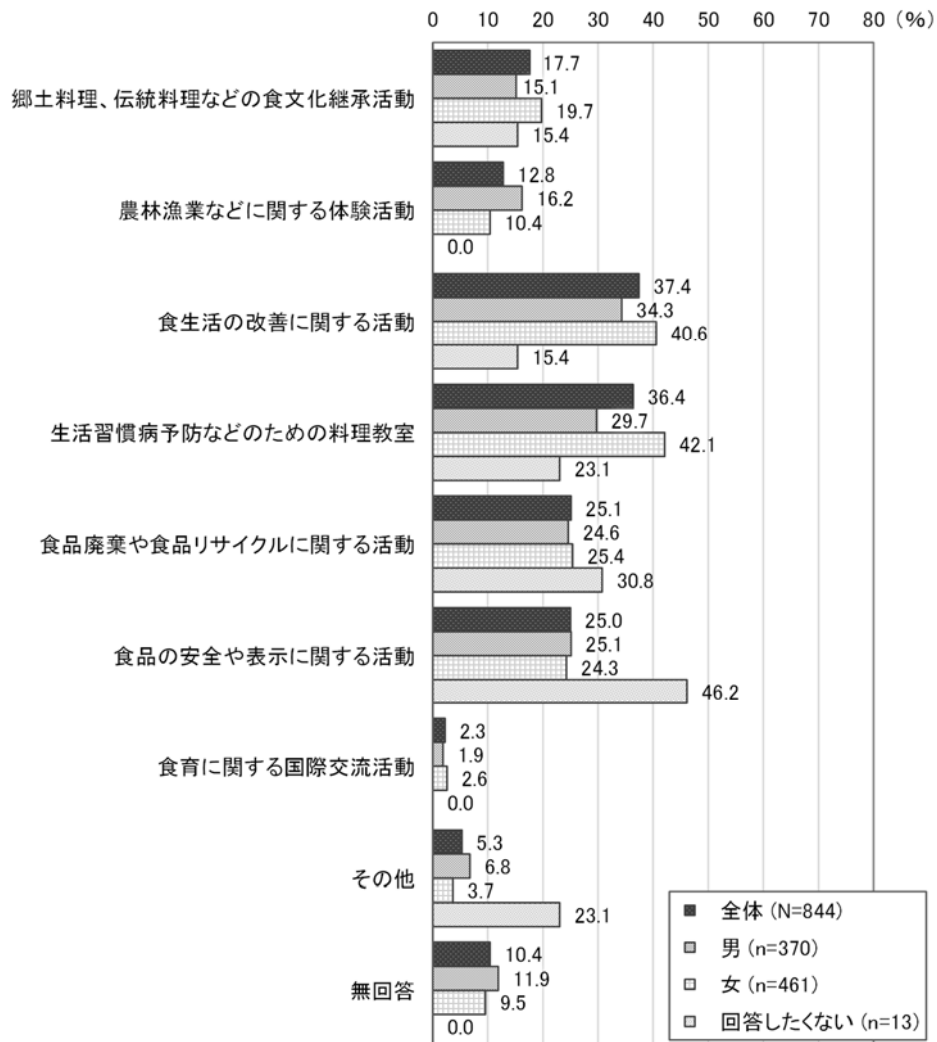
- ▶ 全体では、「他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから」が27.4%と最も高く、次いで、「食事や食生活を特に意識しなくても問題はないから」（24.5%）、「『食育』自体についてよく知らないから」（23.1%）となっている。
- ▶ 性別では、「他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから」の割合は「女性」の方が高く、「食事や食生活を特に意識しなくても問題はないから」の割合は、「男性」の方が高い。



¹⁰ (2) で「どちらかというもない」「ない」に○をつけた方のみ回答。

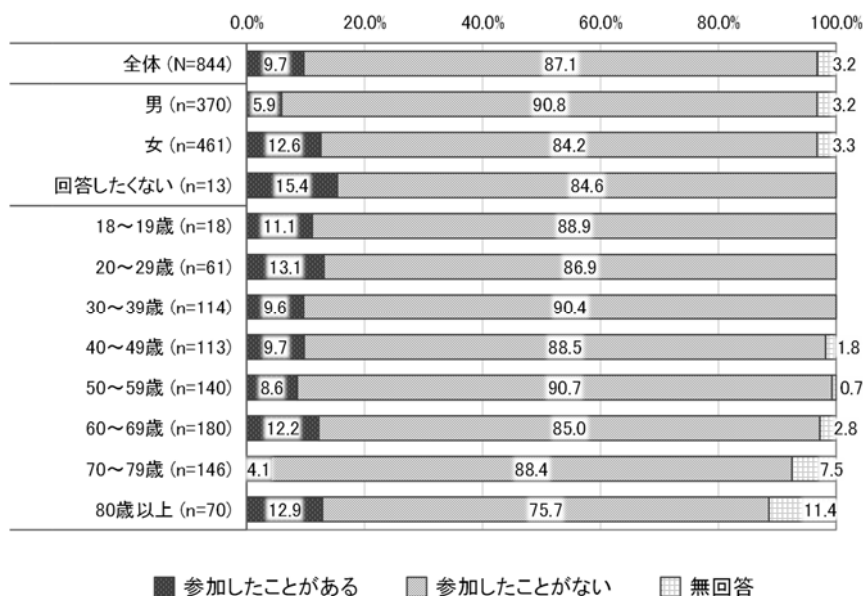
(3) あなたが「食育」の取り組みとして実践するとしたら何に関心がありますか。

- ▶ 全体では、「食生活の改善に関する活動」が37.4%と最も高く、次いで、「生活習慣病予防などのための料理教室」(36.4%)、「食品廃棄や食品リサイクルに関する活動」(25.1%)となっている。
- ▶ 性別では、「生活習慣病予防などのための料理教室」の割合は、「女性」の方が12.4ポイント高い。



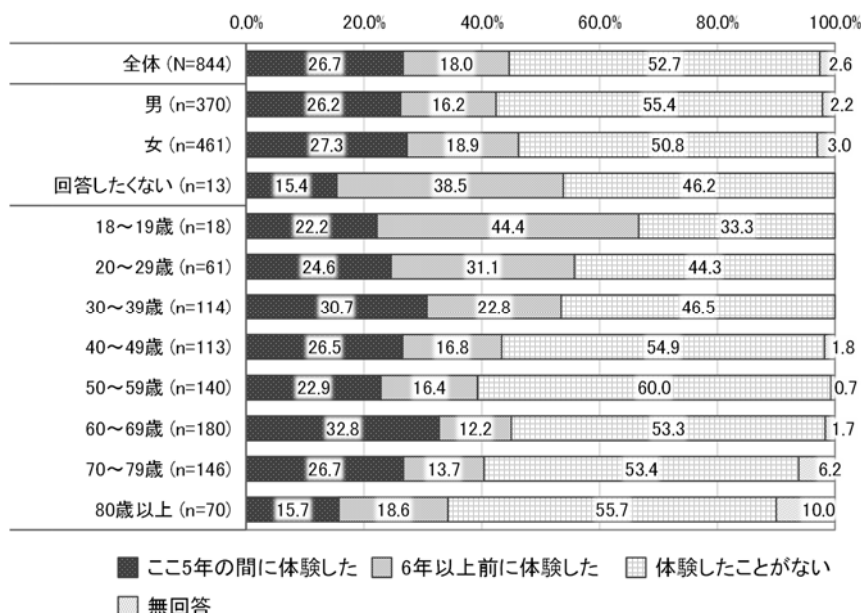
(4) あなたは、問20にあるような活動に参加したことがありますか。(※上記項目の活動)

- 全体では、「参加したことがない」が87.1%となっている。
- 性別では、「参加したことがない」割合は、「男性」の方が高い。
- 年齢別では、「参加したことがない」割合は「50～59歳」が最も高い。



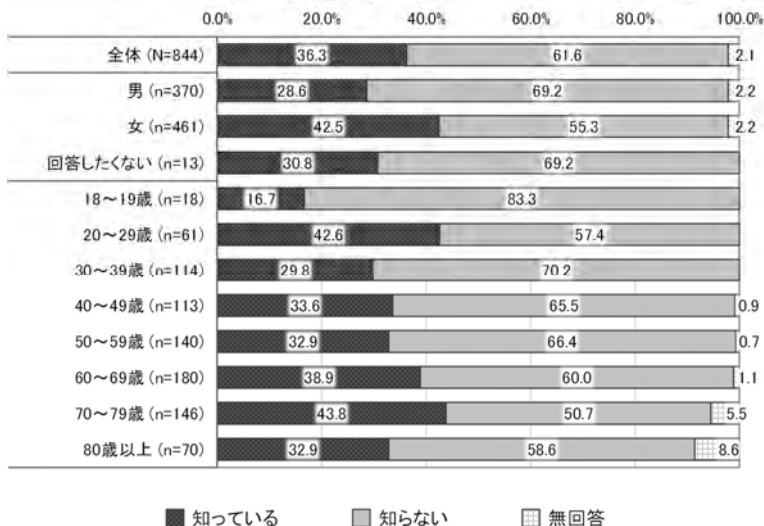
(5) あなたは、農林漁業体験（農業・家庭菜園を含む）をしたことがありますか。

- 全体では、「体験したことがない」が52.7%と最も高く、次いで、「ここ5年の間に体験した」(26.7%)、「6年以上前に体験した」(18.0%)となっている。
- 年齢別では、「ここ5年の間に体験した」と「6年以上前に体験した」割合は年代が高くなるにつれて低い傾向がある。



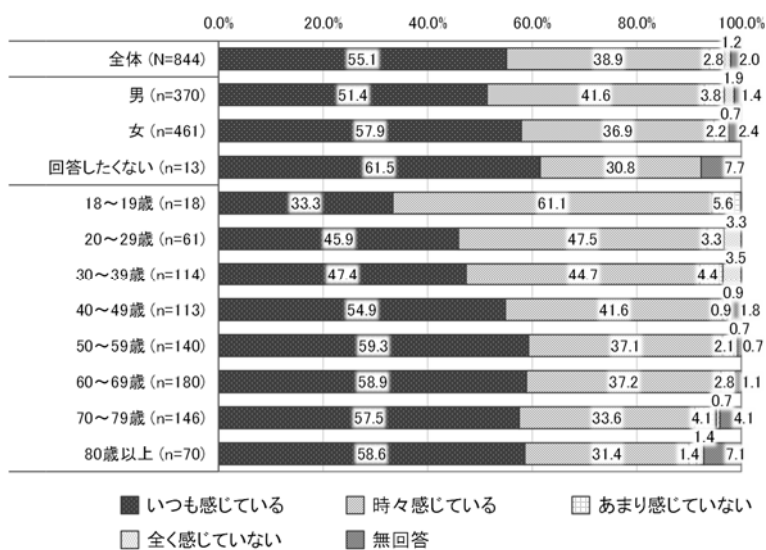
(6) あなたは、食塩摂取目標量¹¹が成人の場合、男性が7.5g未満、女性が6.5g未満であることを知っていますか。

- 全体では、「知らない」が61.6%と最も高い。
- 性別では、「知っている」割合は「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「知らない」割合は「18～19歳」が最も高い。



(7) あなたは、食品産業や家庭において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日頃から「もったいない」と感じることはありますか。

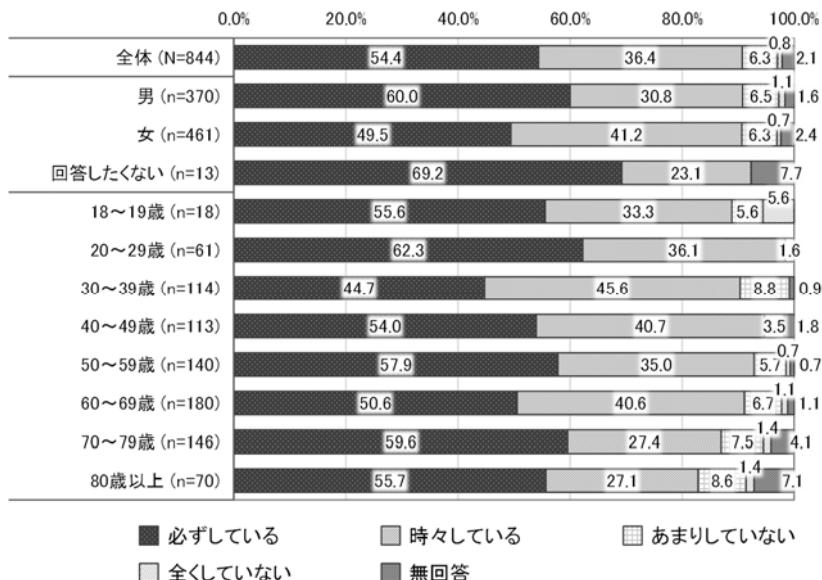
- 全体では、「いつも感じている」が55.1%と最も高い。
- 性別では、「いつも感じている」割合は、「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「いつも感じている」割合は、年代が高くなるにつれて高い傾向にある。また、「あまり感じていない」「全く感じていない」割合は「30～39歳」が最も高い。



¹¹ 食塩摂取量の例：みそ汁1杯=1.5～2g、インスタントラーメン1食=5～6g、食パン(6枚切り1枚)=0.8g、たくあん1切れ=0.3g、梅干し1個=2.2gの塩分が含まれる

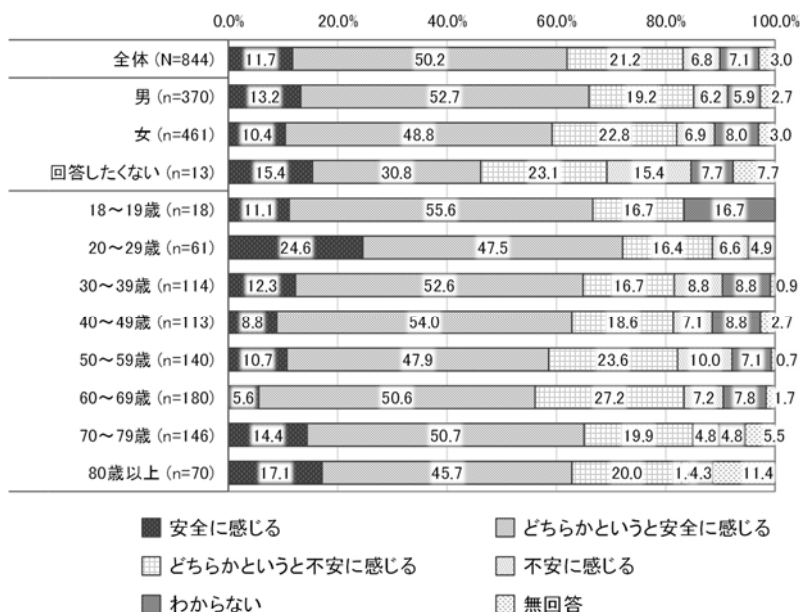
(8) あなたは、食べ残しを減らす努力をしていますか。

- 全体では、「必ずしている」が54.4%と最も高い。
- 性別では、「必ずしている」割合は、「男性」の方が高い。
- 年齢別では、「あまりしていない」「全くしていない」割合は「18～19歳」が最も高い。



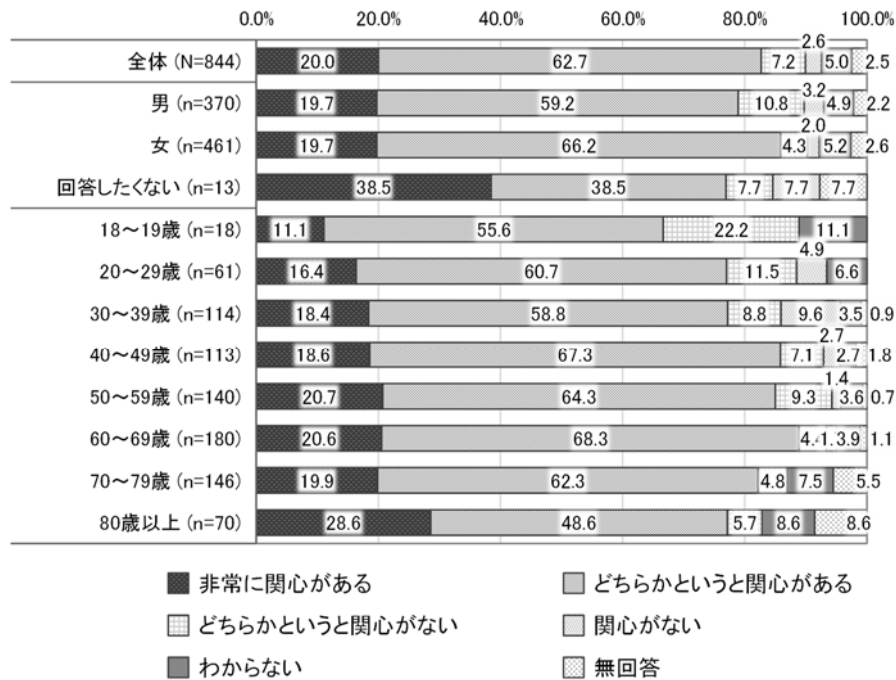
(9) あなたは、「食の安全性」についてどのように感じていますか。

- 全体では、「どちらかという安全を感じる」が50.2%と最も高く、次いで、「どちらかという不安を感じる」(21.2%)、「安全を感じる」(11.7%)となっている。
- 性別では、「どちらかという不安を感じる」「不安を感じる」割合は、「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「どちらかという不安を感じる」「不安を感じる」割合は、「50～59歳」から「60～69歳」で高い傾向にある。



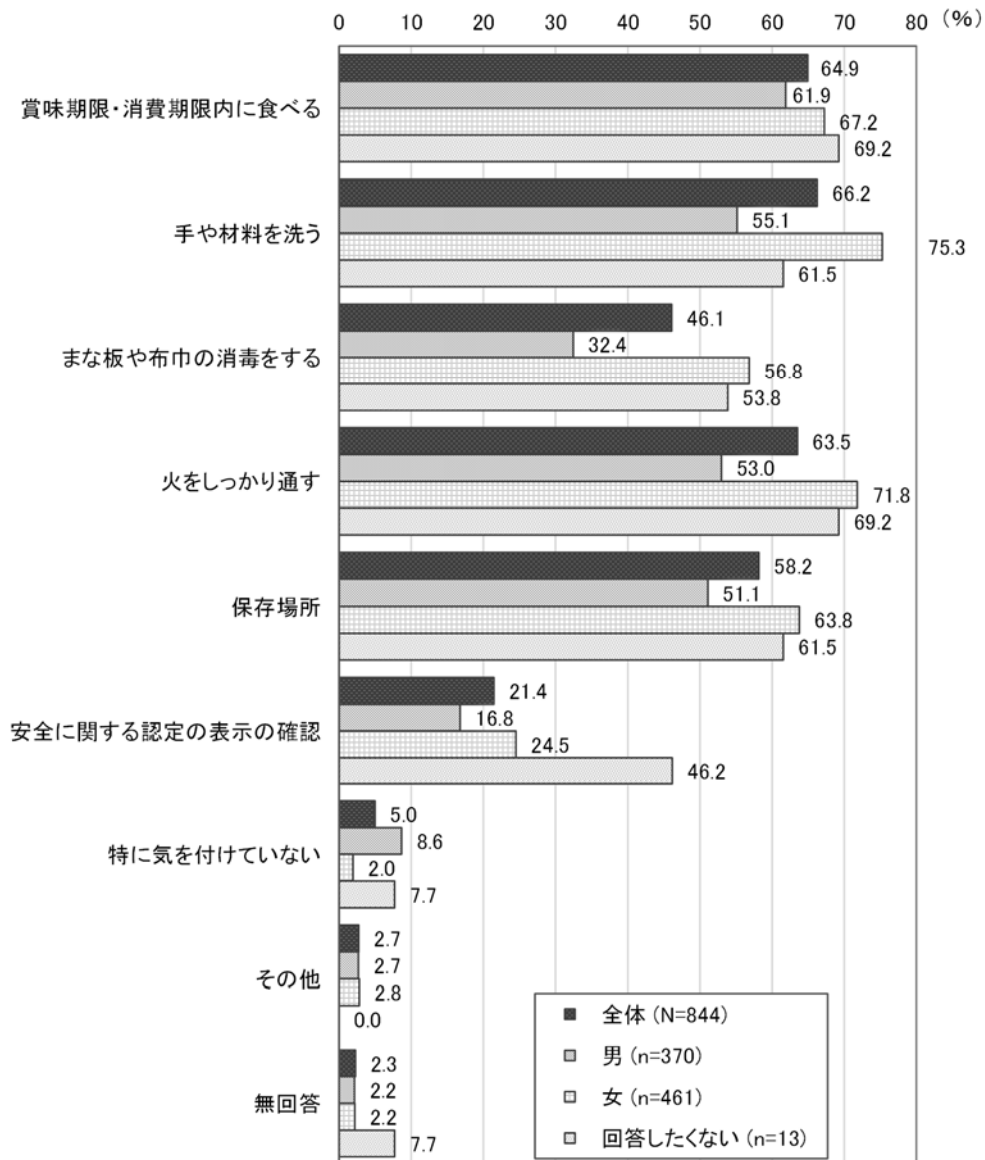
(10) あなたは、「食の安全性」について関心がありますか。

- 全体では、「どちらかというに関心がある」が62.7%と最も高く、次いで、「非常に関心がある」(20.0%)、「どちらかというに関心がない」(7.2%)となっている。
- 性別では、「どちらかというに関心がある」割合は、「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「非常に関心がある」割合は、年代が高くなるにつれて高い傾向にある。



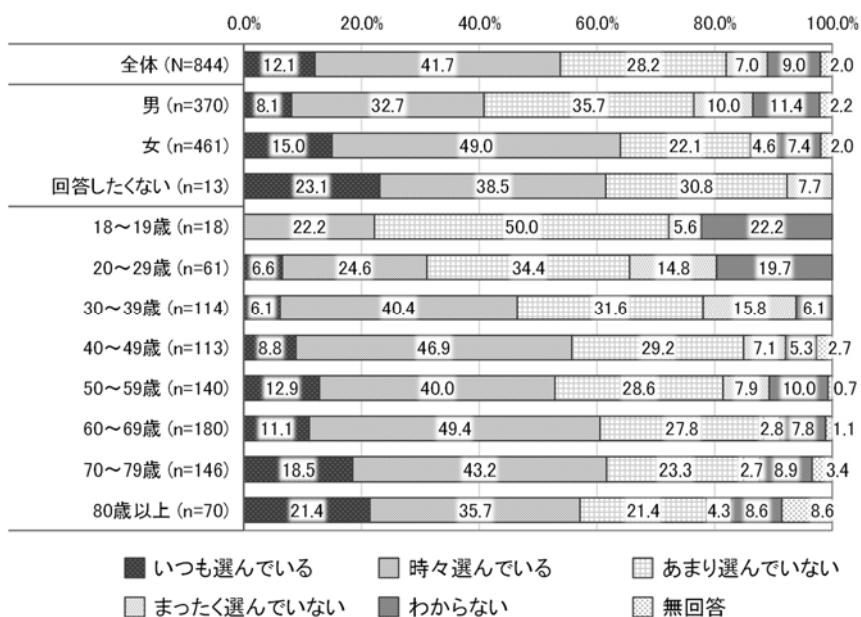
(11) あなたは、食の安全に関して気をつけていることがありますか。

- ▶ 全体では、「手や材料を洗う」が66.2%と最も高く、次いで、「賞味期限・消費期限内に食べる」(64.9%)、「火をしっかりと通す」(63.5%)となっている。
- ▶ 性別では、食の安全に関して気をつけている割合は、「女性」の方が高い傾向にある。



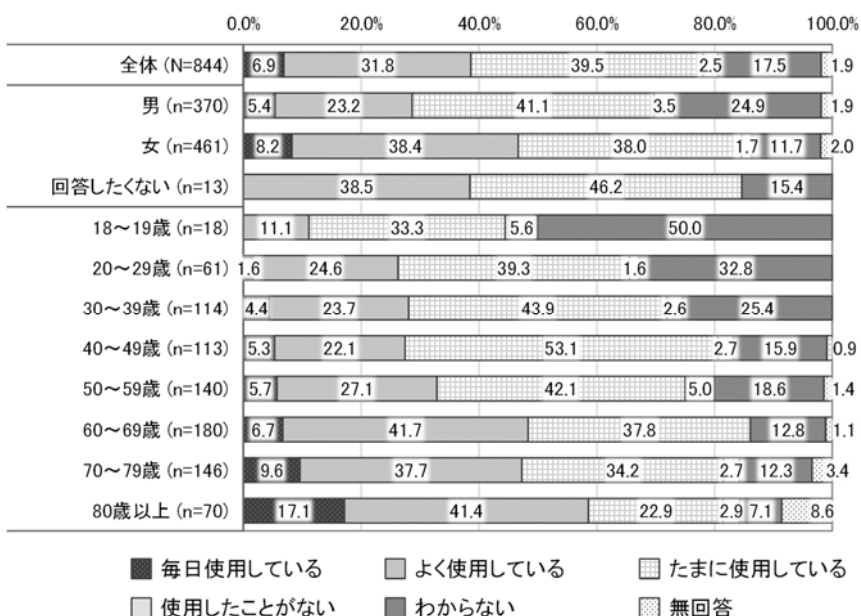
(12) あなたは、日頃から環境に配慮した農林水産物・食品（農薬や化学肥料に頼らず生産された有機農産物や、過剰包装でなくごみが少ない商品など）を選んでいきますか。

- ▶ 全体では、「時々選んでいる」が41.7%と最も高く、次いで、「あまり選んでいない」(28.2%)、「いつも選んでいる」(12.1%)となっている。
- ▶ 性別では、「いつも選んでいる」と「時々選んでいる」割合は「女性」のほうが高い。



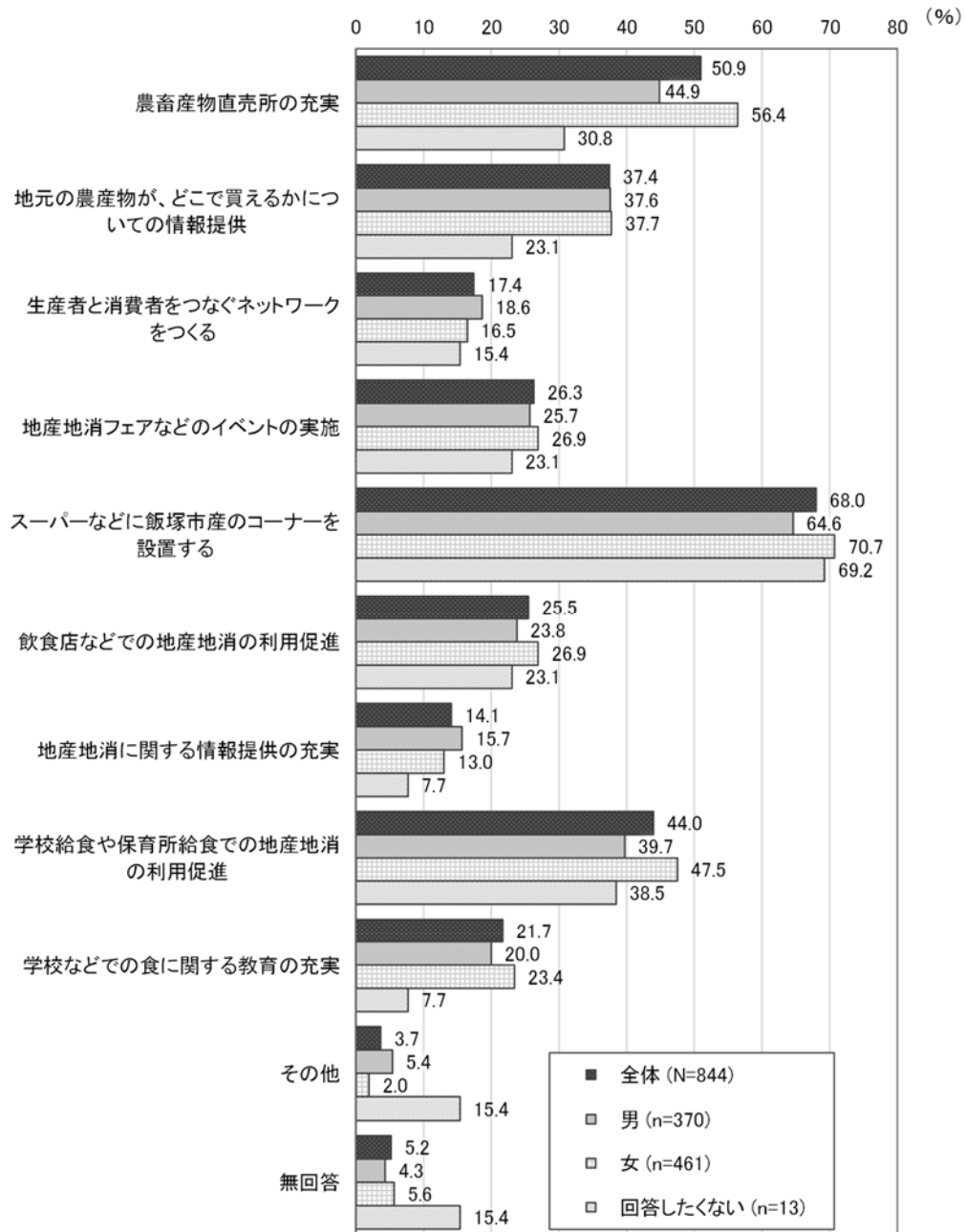
(13) あなたは、地元でとれた農畜産物を使用していますか。

- ▶ 全体では、「たまに使用している」が39.5%と最も高く、次いで、「よく使用している」(31.8%)、「わからない」(17.5%)となっている。
- ▶ 性別では、使用している割合は、「女性」の方が高い。
- ▶ 年齢別では、使用している割合は年代が高くなるにつれて高い。



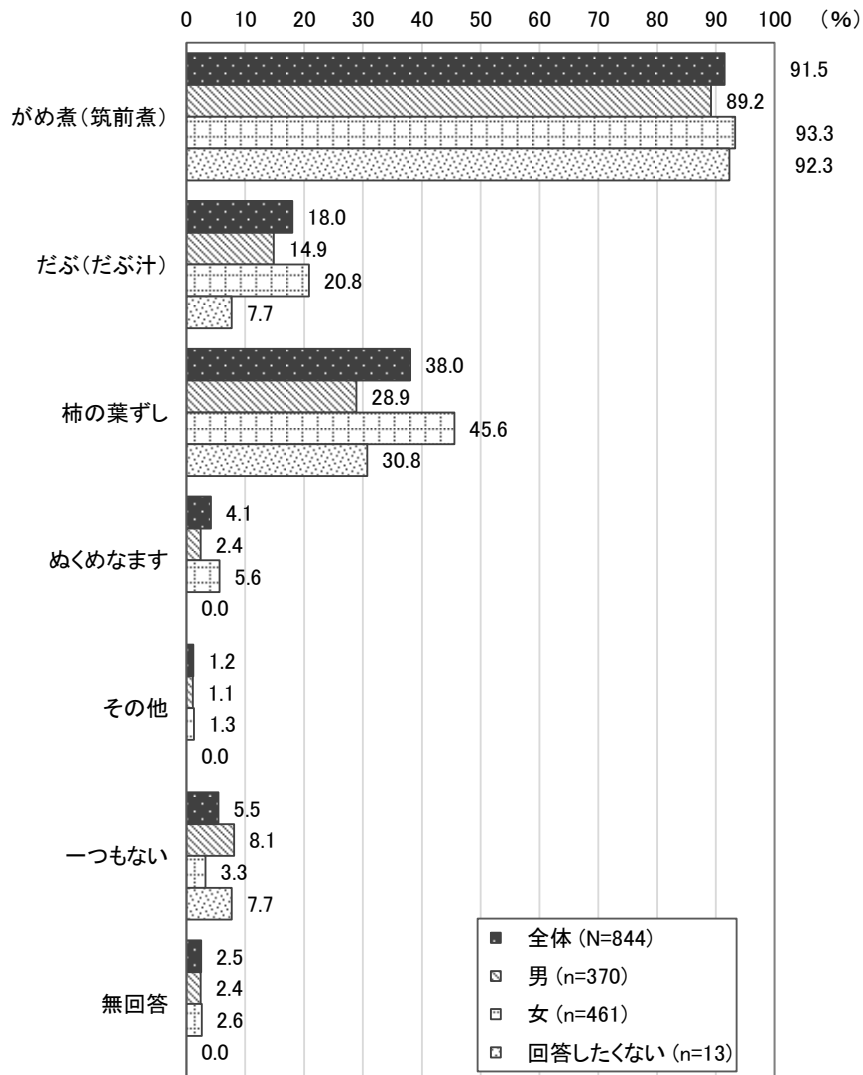
(14) あなたは、地産地消を推進するためにどのような方策が効果的だと思いますか。

- ▶ 全体では、「スーパーなどに飯塚市産のコーナーを設置する」が68.0%と最も高く、次いで、「農畜産物直売所の充実」(50.9%)、「学校給食や保育所給食での地産地消の利用促進」(44.0%)となっている。



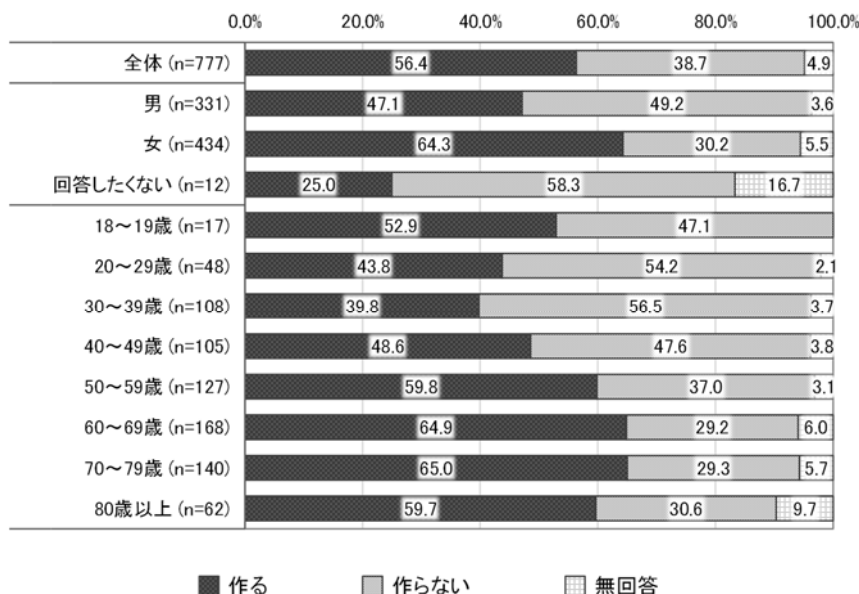
(15) あなたは、次の地元の郷土料理を知っていますか。

- 全体では、「がめ煮（筑前煮）」が91.5%と最も高く、次いで、「柿の葉ずし」（38.0%）、「だぶ（だぶ汁）」（18.0%）となっている。
- 性別では、地元の郷土料理を知っている割合は、「女性」の方が高い。



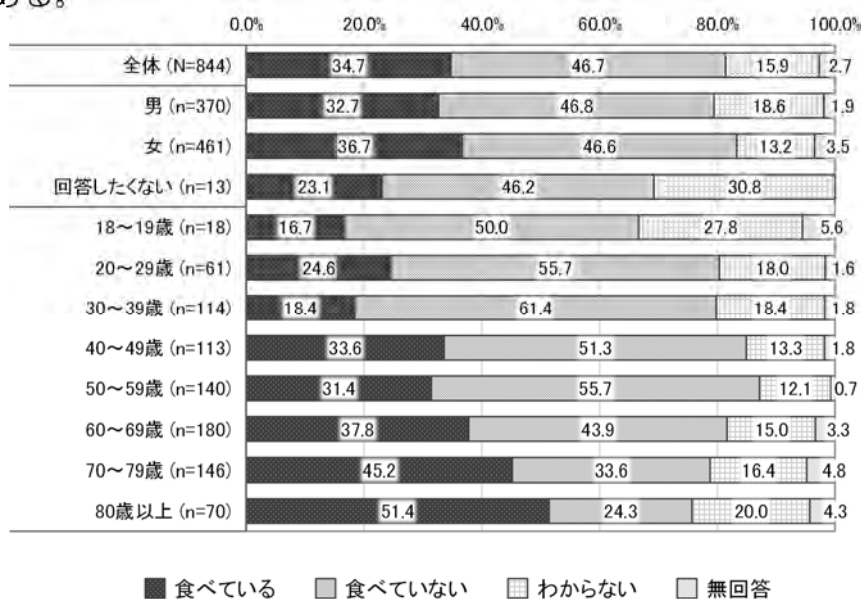
(15) -1¹² あなたの家庭では、地元の郷土料理・伝統料理を作りますか。

- 全体では、「作る」が56.4%と最も高い。
- 性別では、「作る」割合は「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「作らない」の割合は、年代が若いほど高い傾向にある。



(16) あなたは、月に1回以上、郷土料理や伝統料理を食べていますか（地元限定せず、日本全国の郷土料理や伝統料理を含みます）。

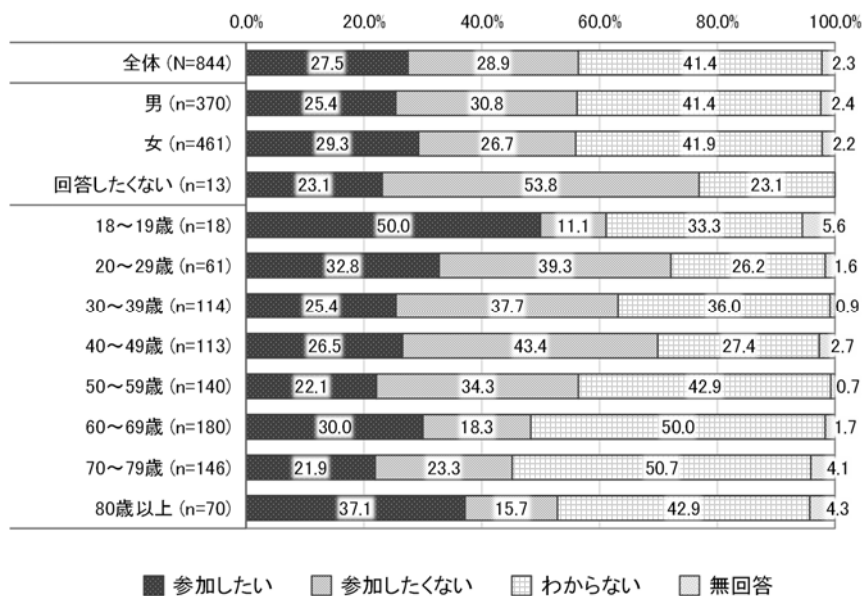
- 全体では、「食べていない」が46.7%と最も高く、次いで、「食べている」(34.7%)、「わからない」(15.9%)となっている。
- 年齢別では、「食べていない」の割合は、年代が若くなるにつれて高い傾向にある。



¹² (15) で「がめ煮（筑前煮）」「だぶ（だぶ汁）」「柿の葉ずし」「ぬくめなます」「その他」に○をつけた方のみ回答。

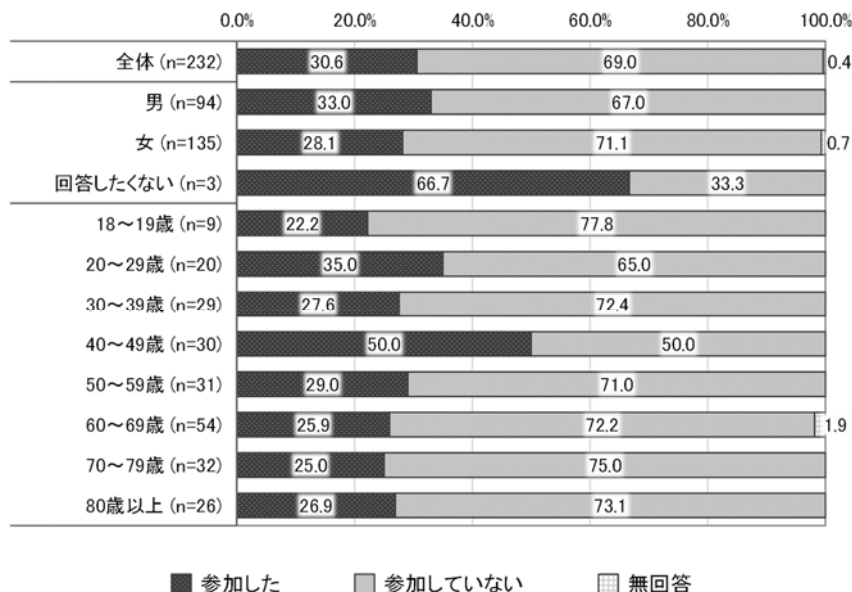
(17) あなたは、地域や所属コミュニティ（職場などを含む）での食事会などの機会があれば参加したいと思いますか。

- 全体では、「わからない」が41.4%と最も高く、次いで、「参加したくない」(28.9%)、「参加したい」(27.5%)となっている。
- 性別では、「参加したい」割合は、「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「参加したい」割合は、「18～19歳」が最も高い。



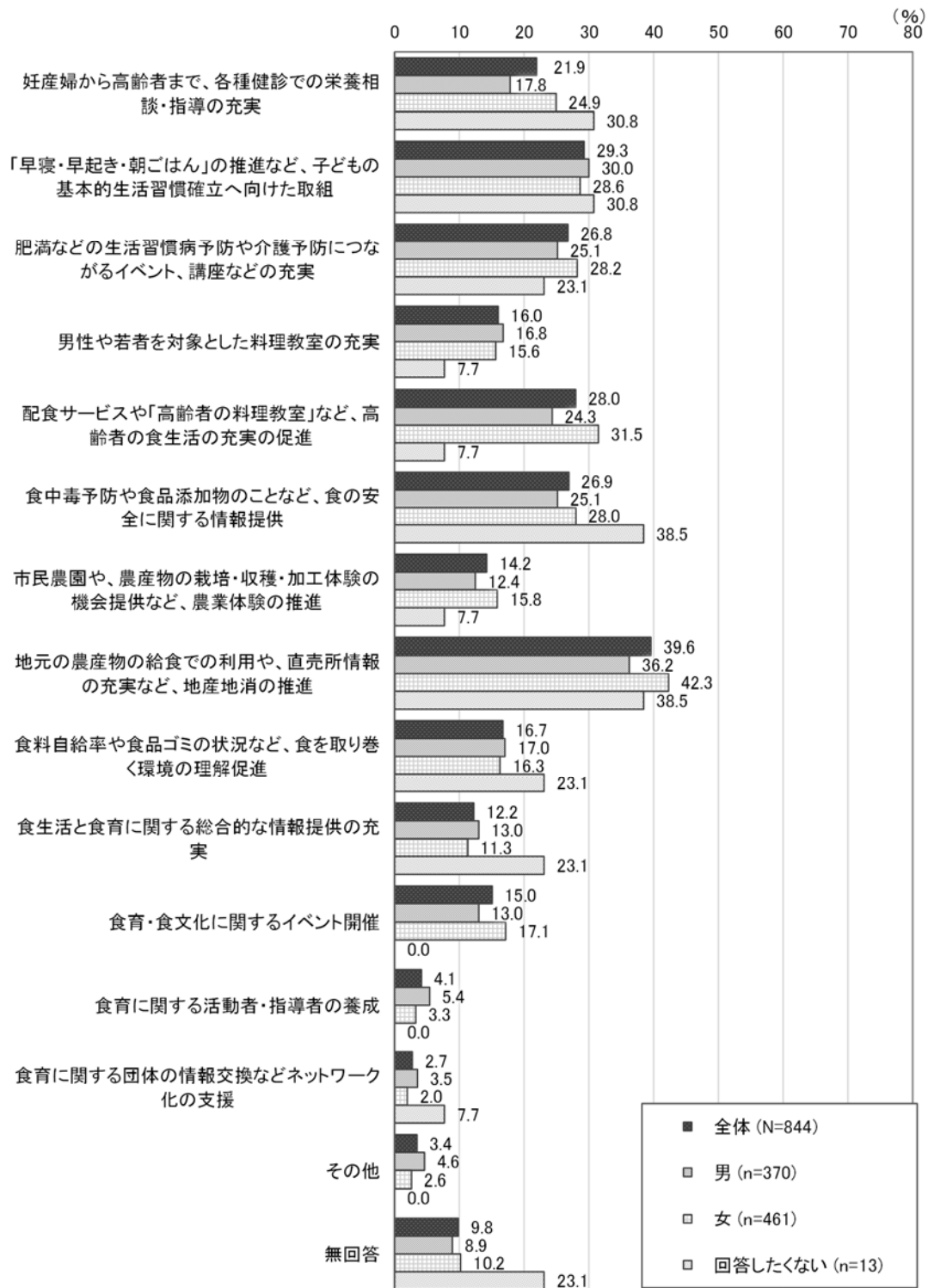
(18) 過去1年間に地域や所属コミュニティでの食事会などに参加しましたか。

- 全体では、「参加していない」が69.0%となっている。
- 年齢別では、「参加した」割合は「40～49歳」が最も高い。



(19) あなたは、健全で豊かな食生活の実現に向けて、食育を推進するために、市にどのようなことに重点的に取り組んで欲しいですか。

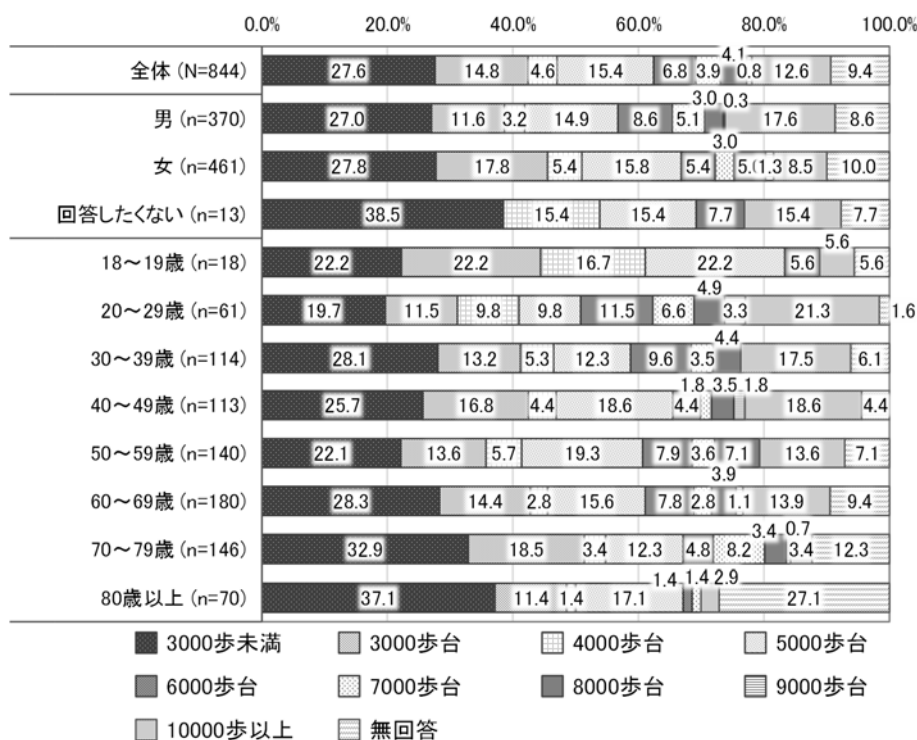
- 全体では、「地元の農産物の給食での利用や、直売所情報の充実など、地産地消の推進」が39.6%と最も高く、次いで、「『早寝・早起き・朝ごはん』の推進など、子どもの基本的な生活習慣確立へ向けた取組」(29.3%)、「配食サービスや『高齢者の料理教室』など、高齢者の食生活の充実の促進」(28.0%)となっている。



4. あなたの運動習慣・身体活動について

(1) あなたは、1日(24時間)で何歩¹³くらい歩いていると思いますか。

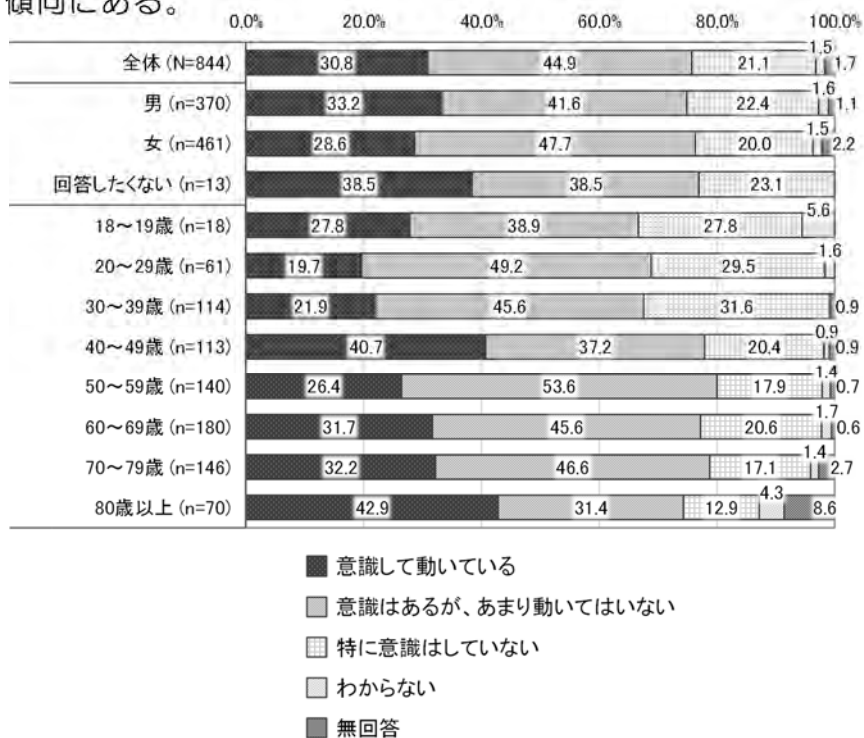
- 全体では、「3,000歩未満」が27.6%と最も高く、次いで、「5,000歩台」(15.4%)、「3,000歩台」(14.8%)となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、年代が高くなるにつれて、歩数が少ない傾向にある。



¹³ 1,000歩は10分程度にあたり、距離では600~700mが目安とする。

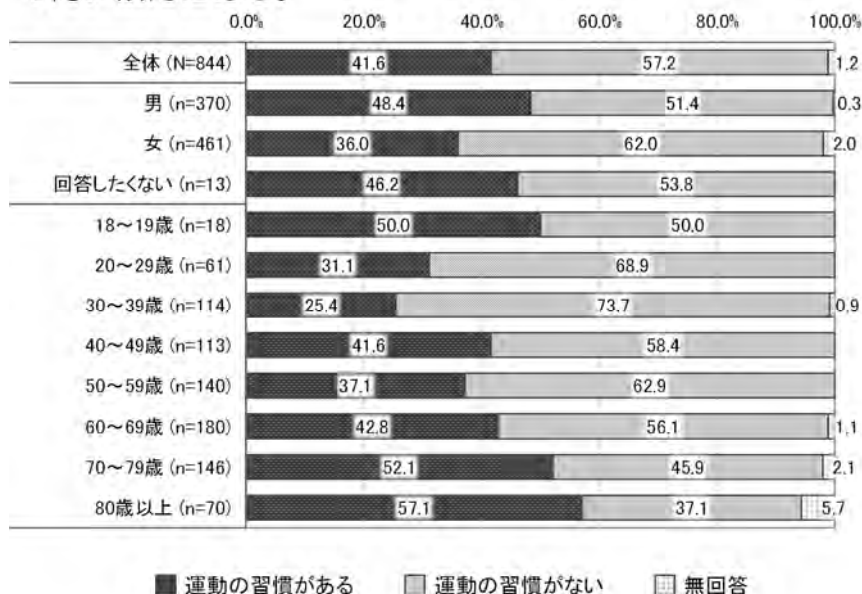
(2) あなたは、生活の中で（運動以外で）からだを動かすことを意識していますか。

- 全体では、意識している割合は約7割以上を占め、「特に意識はしていない」は21.1%となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、年代が若くなるにつれて「特に意識はしていない」割合は高い傾向にある。



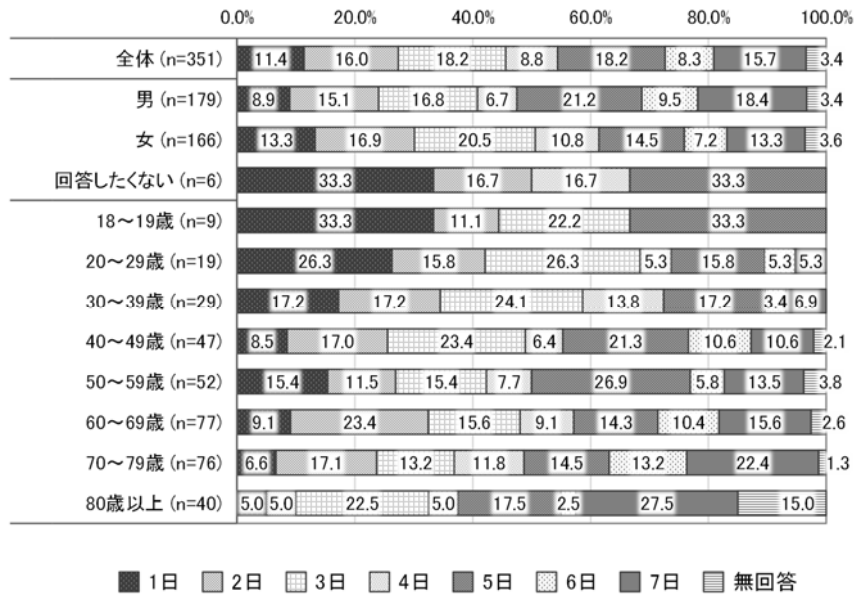
(3) あなたは、運動の習慣がありますか。

- 全体では、「運動の習慣がない」が57.2%と高い。
- 性別では、「運動の習慣がない」割合は「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「運動の習慣がない」割合は「20～29歳」から「60～69歳」で高い傾向にある。



(3) -1¹⁴ 1週間に何日程度運動しますか。

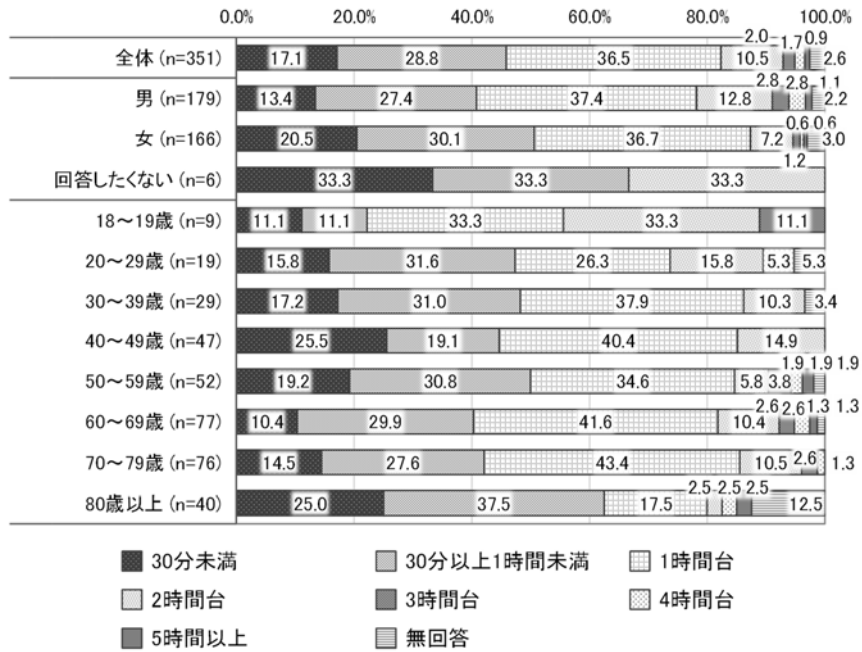
- 全体では、「3日」「5日」が18.2%と最も高く、次いで、「2日」(16.0%)、「7日」(15.7%)となっている。
- 性別では、「4日」以上の割合は「男性」の方が高い。
- 年齢別では、週の半数以下である「3日」以内の割合は「18～19歳」から「30～39歳」にかけて高い傾向にある。



¹⁴ (3) で「運動の習慣がある」に○をつけた方のみ回答。

(3) -2¹⁵ 運動を行う1日の平均運動時間はどのくらいですか。

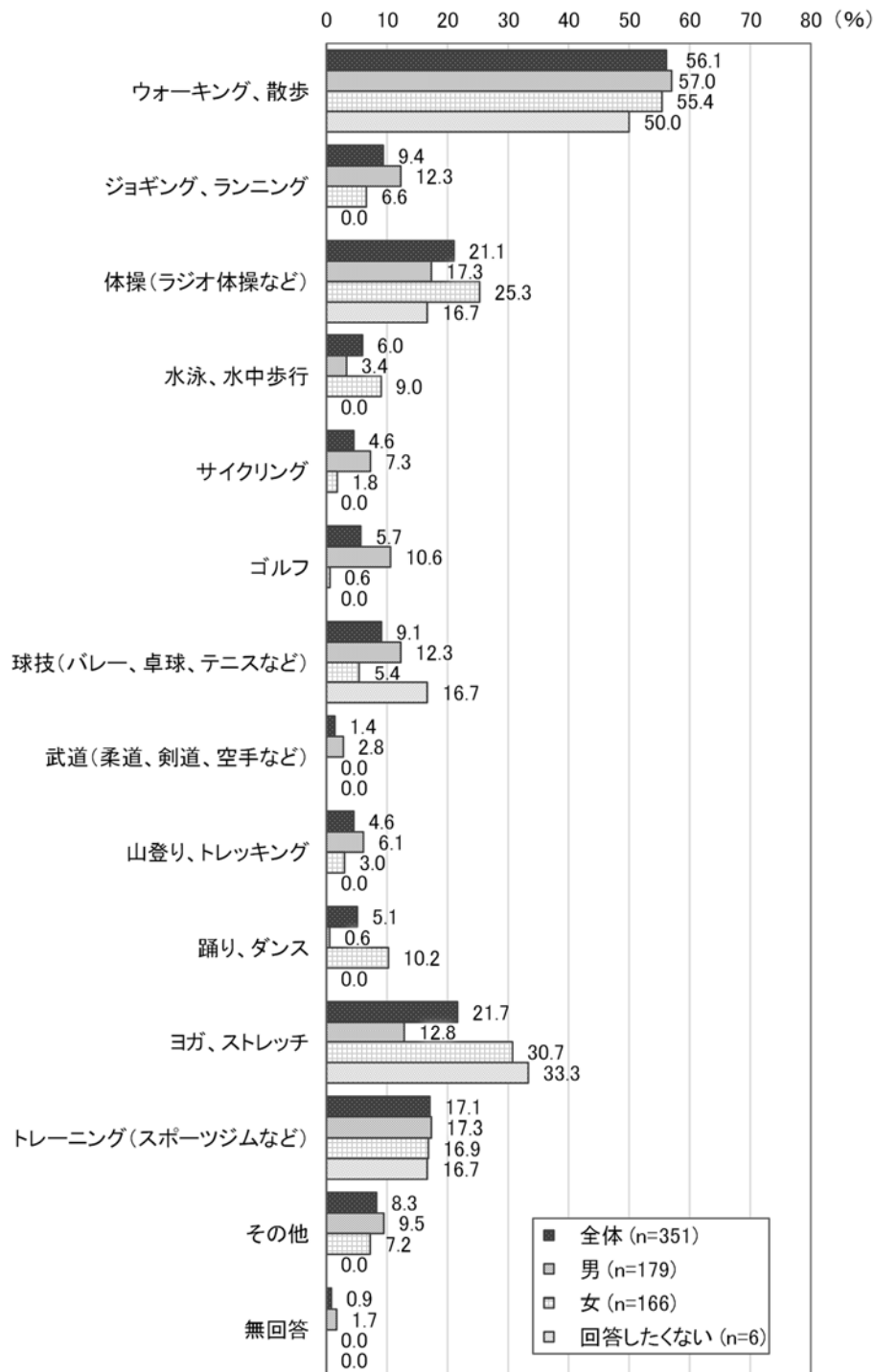
- 全体では、「1時間台」が36.5%と最も高く、次いで、「30分以上1時間未満」(28.8%)、「30分未満」(17.1%)となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、年代が若い人ほど運動時間が長い傾向にある。



¹⁵ (3) で「運動の習慣がある」に○をつけた方のみ回答。

(3) -3¹⁶ 主にどのような運動をしていますか。

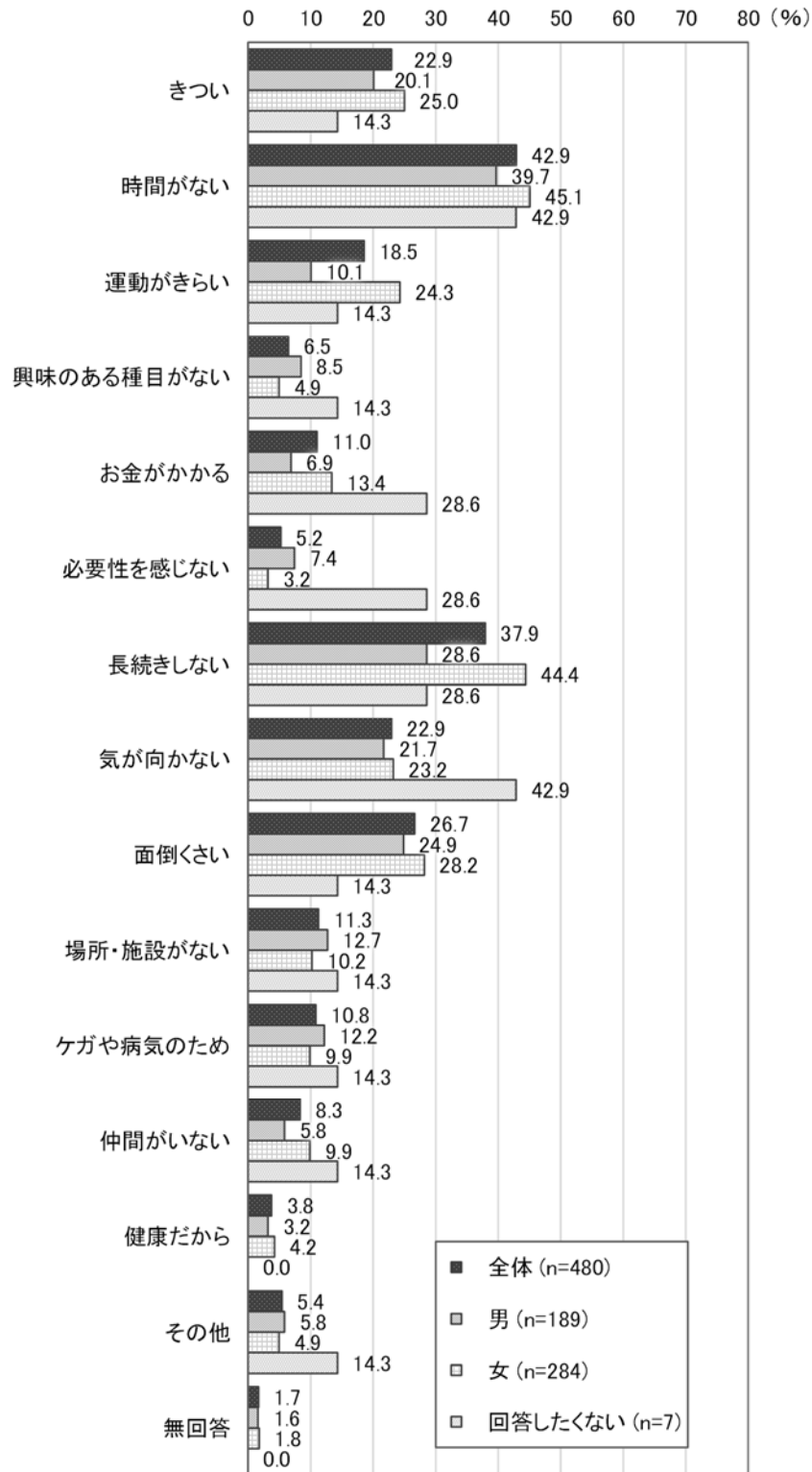
- ▶ 全体では、「ウォーキング、散歩」が56.1%と最も高く、次いで、「ヨガ、ストレッチ」(21.7%)、「体操(ラジオ体操など)」(21.1%)となっている。
- ▶ 性別では、第1位は全体と同様だが、男性の第2位は「体操(ラジオ体操など)」と「トレーニング(スポーツジムなど)」となっている。



¹⁶ (3) で「運動の習慣がある」に○をつけた方のみ回答。

(3) -4¹⁷ 運動習慣がない理由はなんですか。

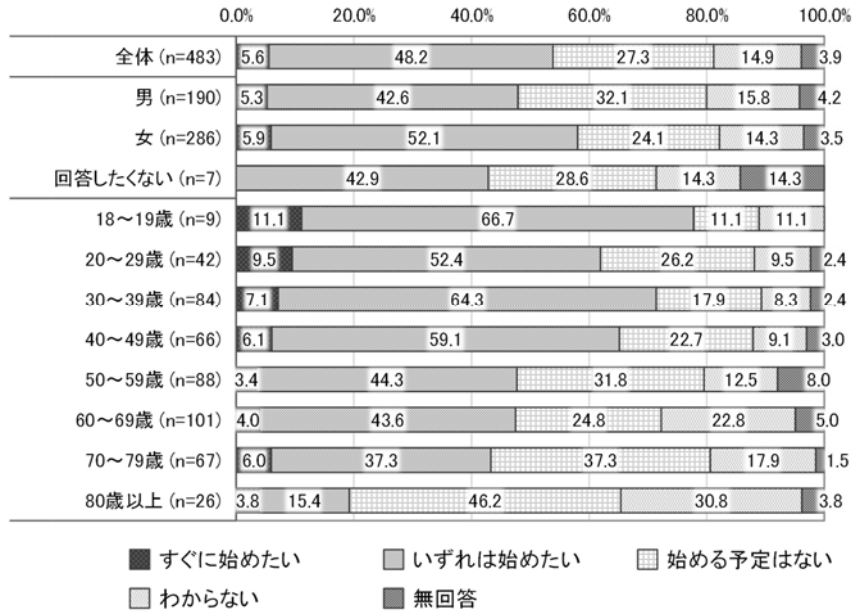
- 全体では、「時間がない」が42.9%と最も高く、次いで、「長続きしない」(37.9%)、「面倒くさい」(26.7%)となっている。
- 性別では、全体と同様の順位となっている。



¹⁷ (3) で「運動の習慣がない」に○をつけた方のみ回答。

(3) -5¹⁸ 今後、運動を始める予定はありますか。

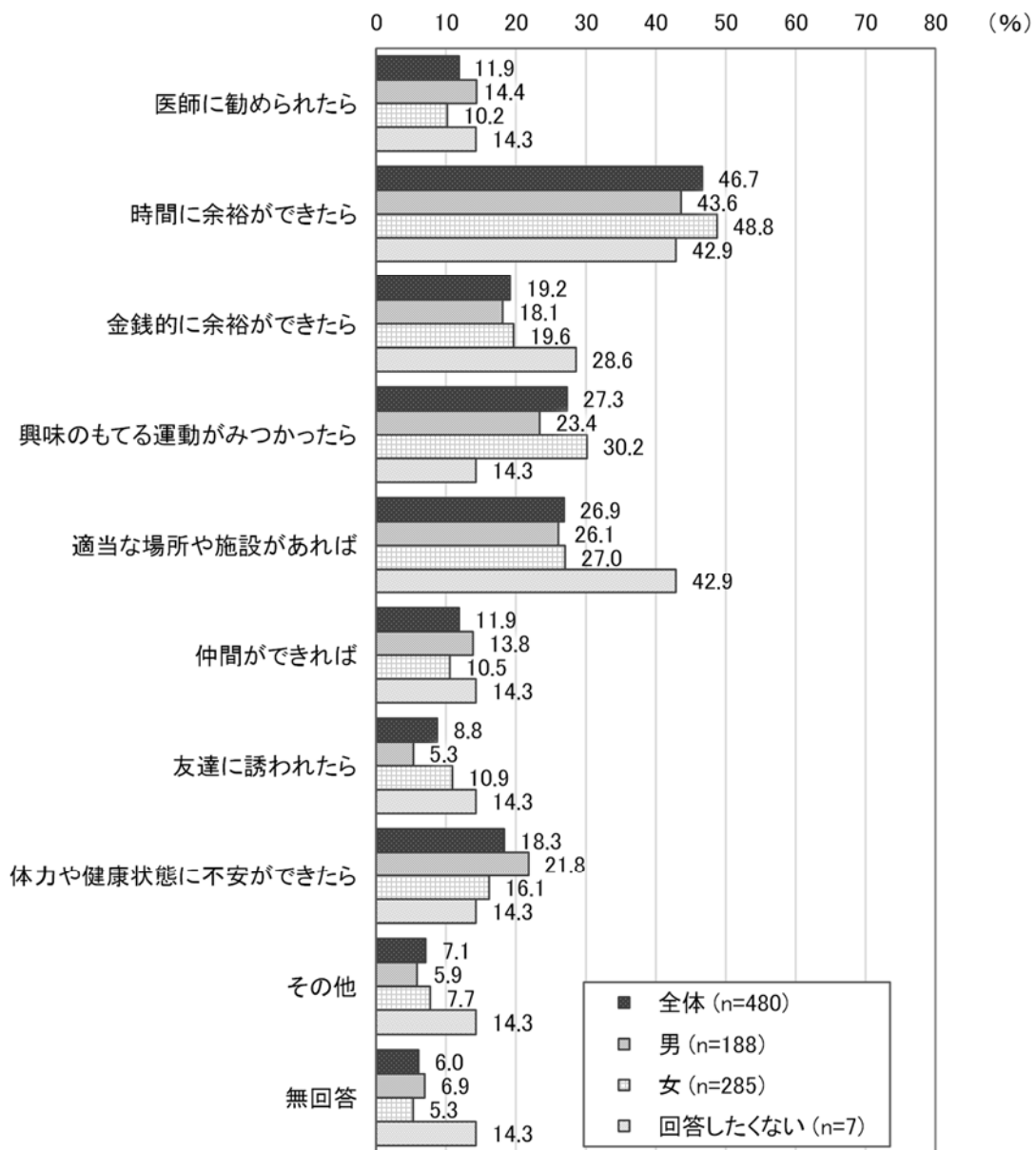
- 全体では、「いずれは始めたい」が48.2%と最も高く、次いで、「始める予定はない」(27.3%)、「わからない」(14.9%)となっている。
- 性別では、「始める予定はない」割合は、「男性」の方が高い。
- 年齢別では、始める意思があり、検討する割合は年代が若くなるにつれて高い傾向にある。



¹⁸ (3) で「運動の習慣がない」に○をつけた方のみ回答。

(3) -6¹⁹ どんなきっかけがあれば、運動を始められそうですか。

- 全体では、「時間に余裕ができたら」が46.7%と最も高く、次いで、「興味のもてる運動が見つかったら」(27.3%)、「適切な場所や施設があれば」(26.9%)となっている。
- 性別での大きな差異はみられない。

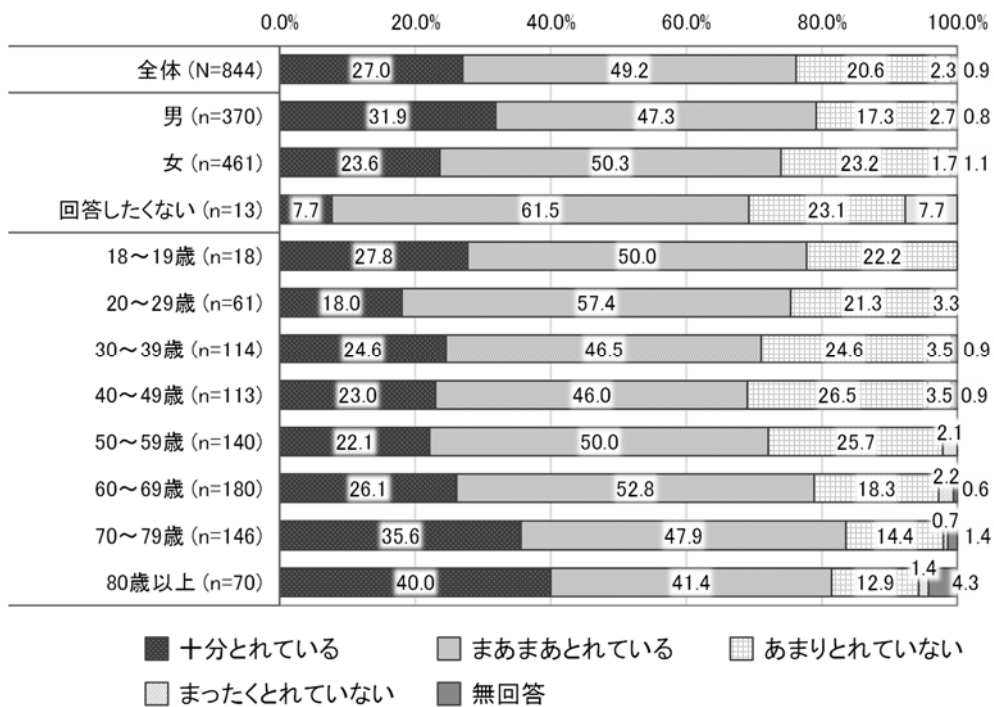


¹⁹ (3) で「運動の習慣がない」に○をつけた方のみ回答。

5. あなたの休養やこころの健康について

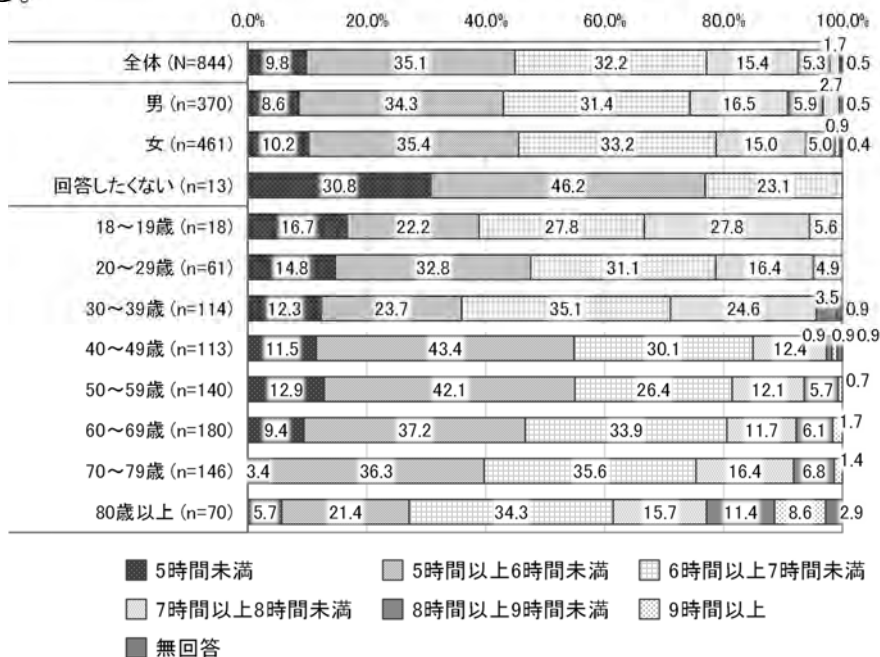
(1) あなたは、この1ヶ月に睡眠による休養が十分とれていますか。

- 全体では、「まあまあとれている」が49.2%と最も高く、次いで、「十分とれている」(27.0%)、「あまりとれていない」(20.6%)となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「あまりとれていない」「まったくとれていない」割合は「40～49歳」が高くなっている。



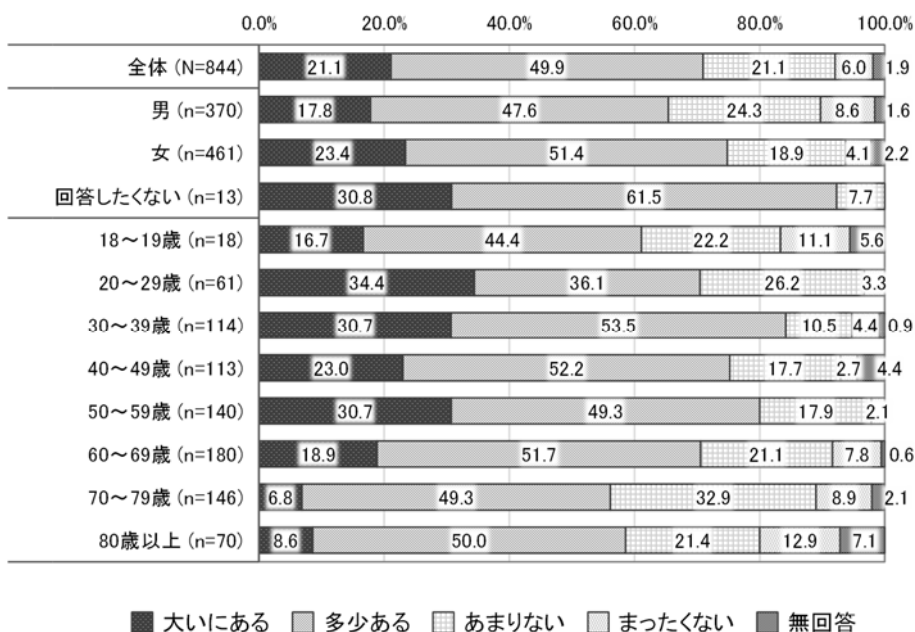
(2) あなたの1日の平均睡眠時間（昼寝も含む）は何時間ですか。

- 全体では、「5時間以上6時間未満」が35.1%と最も高く、次いで、「6時間以上7時間未満」(32.2%)、「7時間以上8時間未満」(15.4%)となっている。
- 性別では、1日の平均睡眠時間は「女性」の方が短い。
- 年齢別では、「5時間未満」の割合は、年代が若くなるにつれて高い傾向にある。



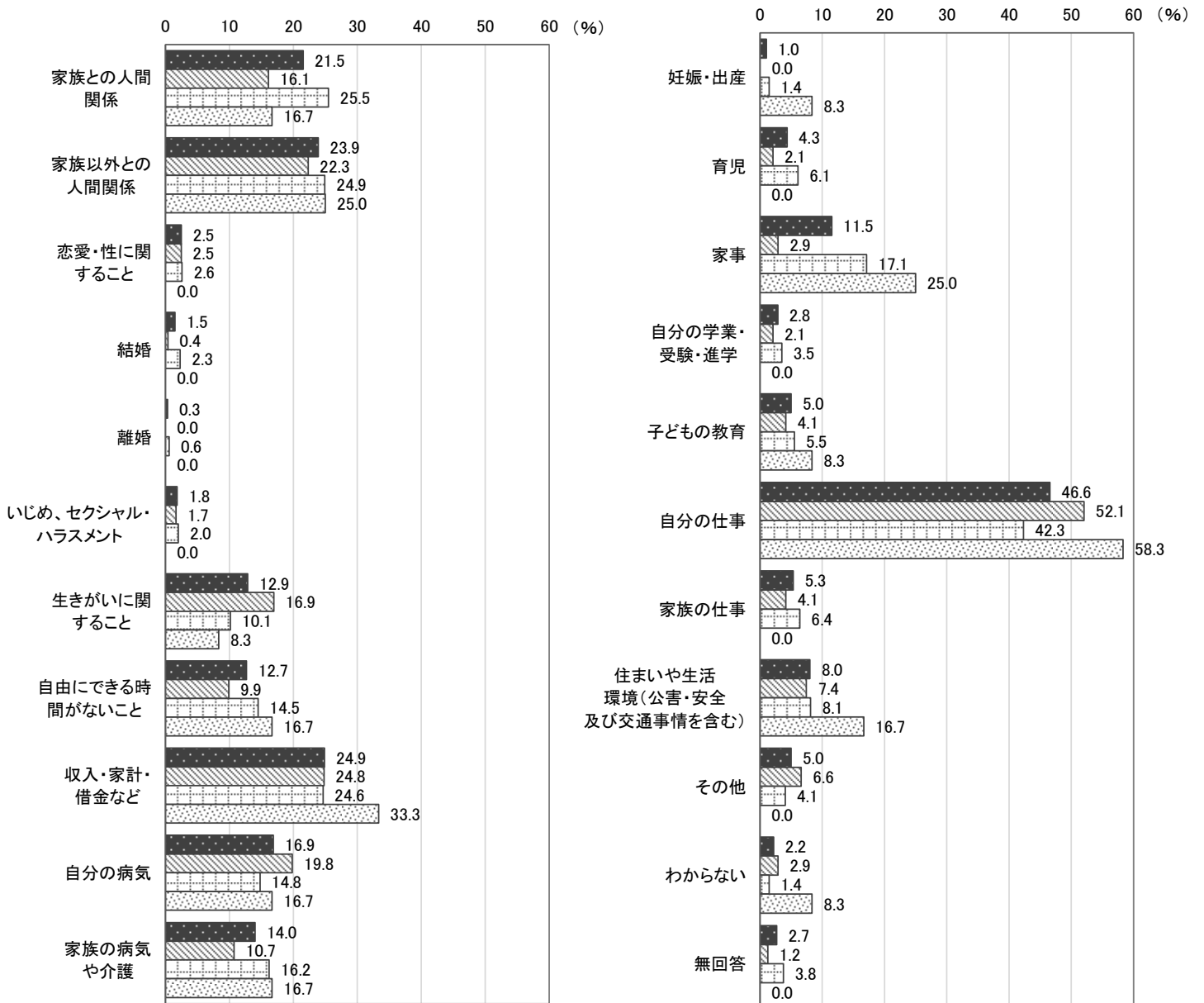
(3) あなたはこの1カ月に精神的疲れやストレスを感じることがありますか。

- 全体では、「多少ある」が49.9%と最も高く、次いで「大いにある」「あまりない」(21.1%)、「まったくない」(6.0%)となっている。
- 性別では、「大いにある」割合は「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「大いにある」割合は「20~29歳」が最も高い。



(3) -1²⁰ あなたはどのようなことにストレスを感じていますか。

- ▶ 全体では、「自分の仕事」が46.6%と最も高く、次いで、「収入・家計・借金など」(24.9%)、「家族以外との人間関係」(23.9%)、となっている。
- ▶ 性別では、「女性」は「家事」「育児」等の割合が「男性」よりもはるかに高い。

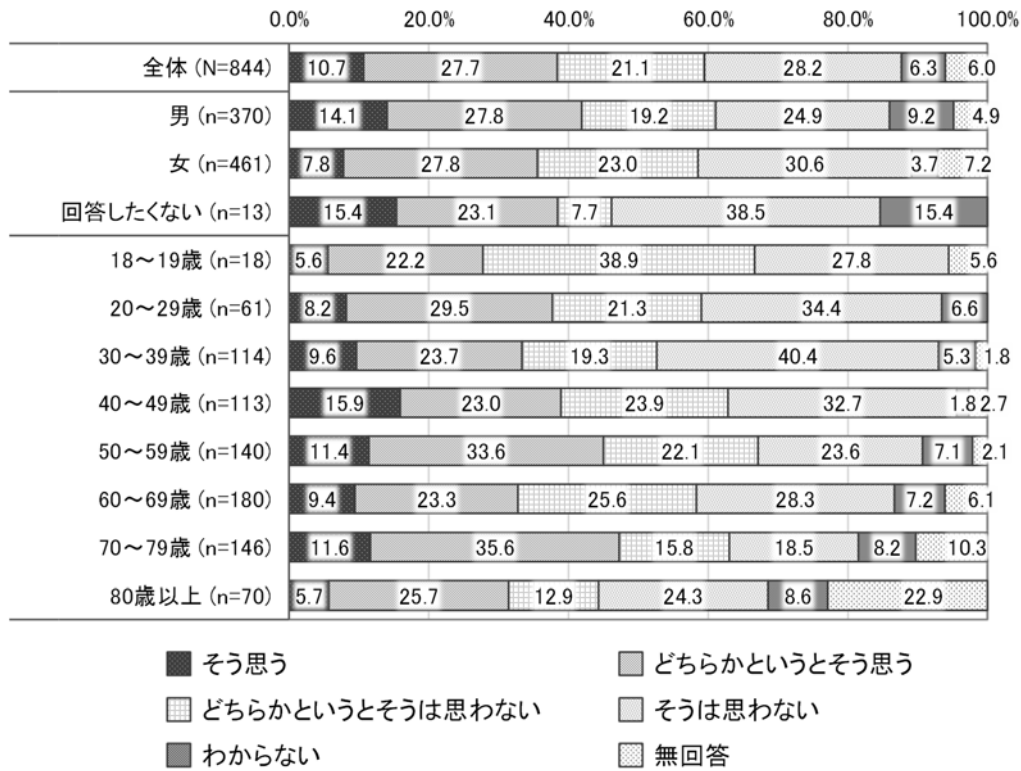


■ 全体 (N=599) □ 男 (n=242) □ 女 (n=345) □ 回答したくない (n=12)

²⁰ (3) で「大いにある」「多少ある」に○をつけた方のみ回答。

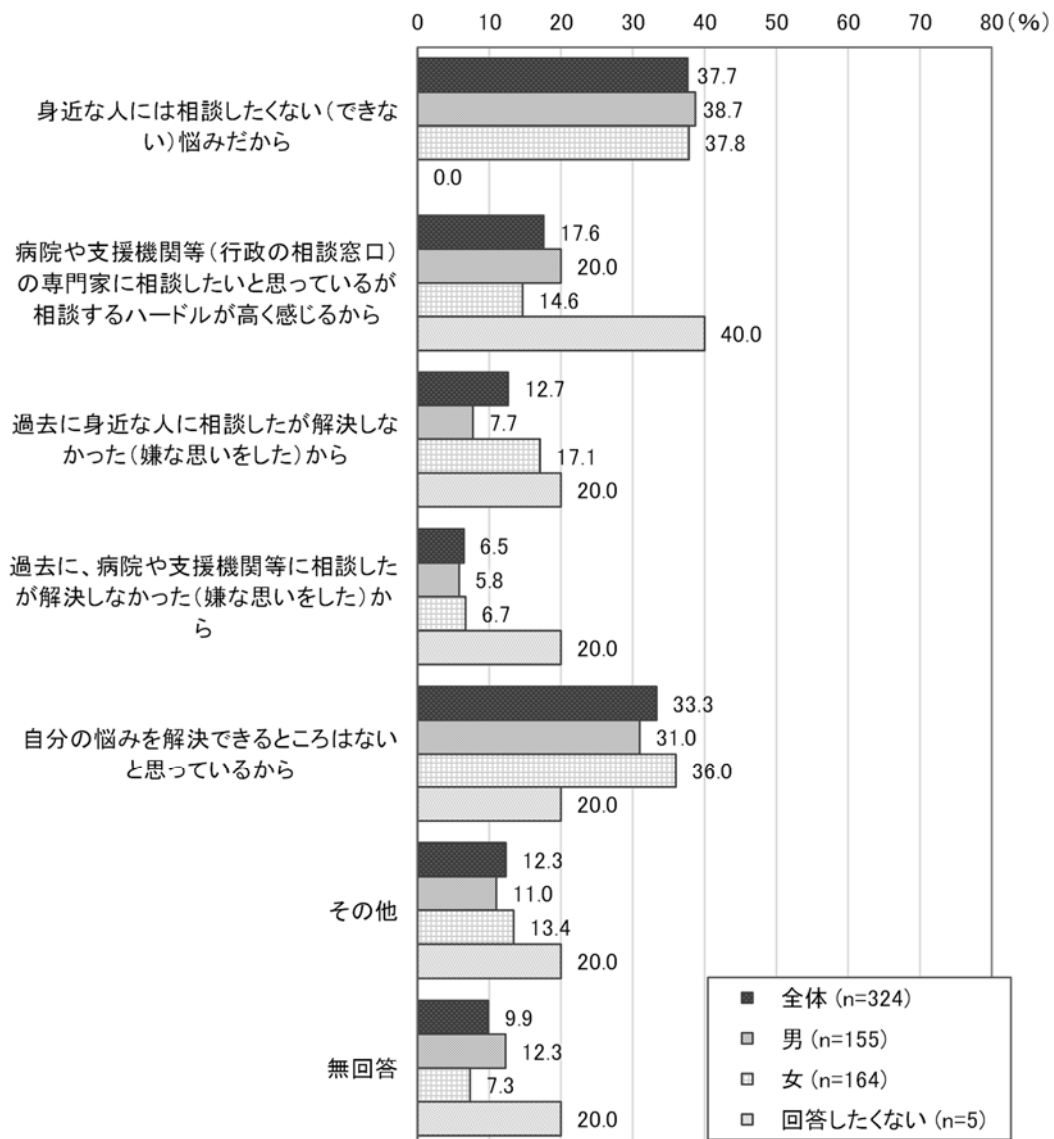
(4) 誰かに悩みを相談したり助けを求めたりすることにためらいを感じますか。

- ▶ 全体では、「そうは思わない」が28.2%と最も高く、次いで「どちらかというと思う」(27.7%)、「どちらかというと思わない」(21.1%)となっている。



(4) -1²¹ 誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由は何ですか。

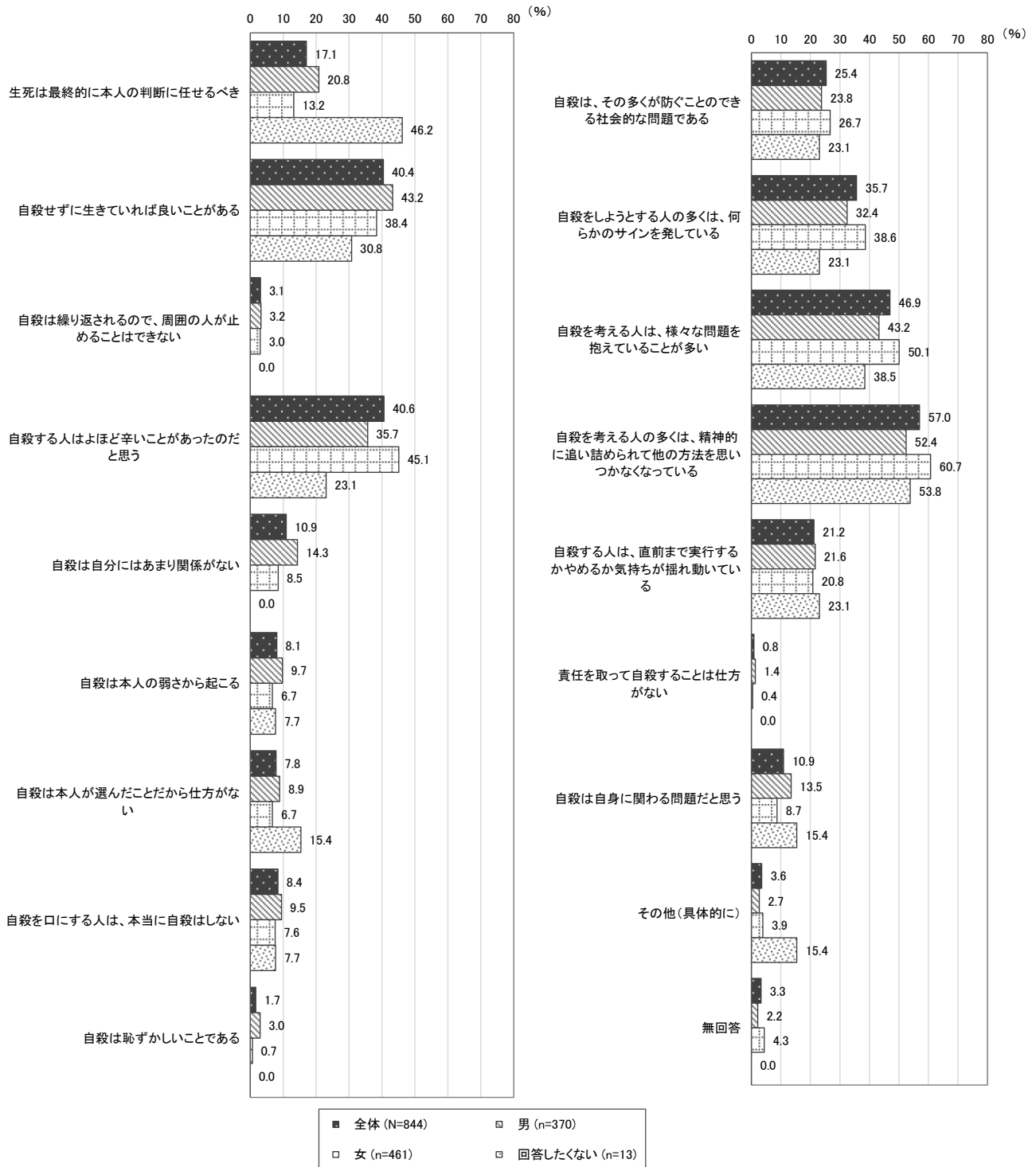
- ▶ 全体では、「身近な人には相談したくない(できない) 悩みだから」が37.7%と最も高く、次いで、「自分の悩みを解決できるところはないと思っているから」(33.3%)、「病院や支援機関等(行政の相談窓口)の専門家に相談したいと思っているが相談するハードルが高く感じるから」(17.6%)となっている。



²¹ (4) で「そう思う」「どちらかというと思う」に○をつけた方のみ回答。

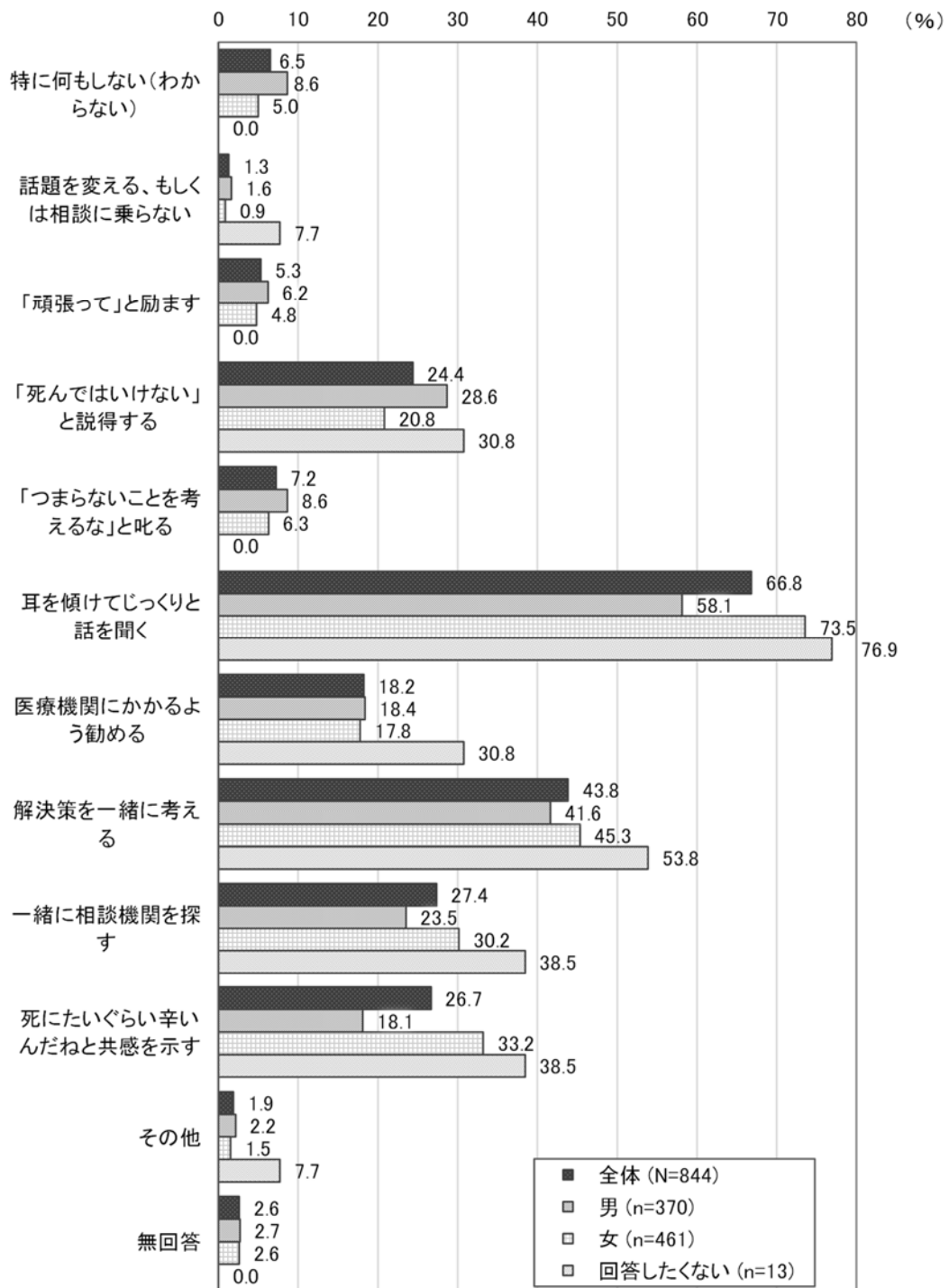
(5) あなたは、「自殺」についてどのように思いますか。

- 全体では、「自殺を考える人の多くは、精神的に追い詰められて他の方法を思いつかなくなっている」が57.0%と最も高く、次いで、「自殺を考える人は、様々な問題を抱えていることが多い」(46.9%)、「自殺する人はよほど辛いことがあったのだと思う」(40.6%)となっている。



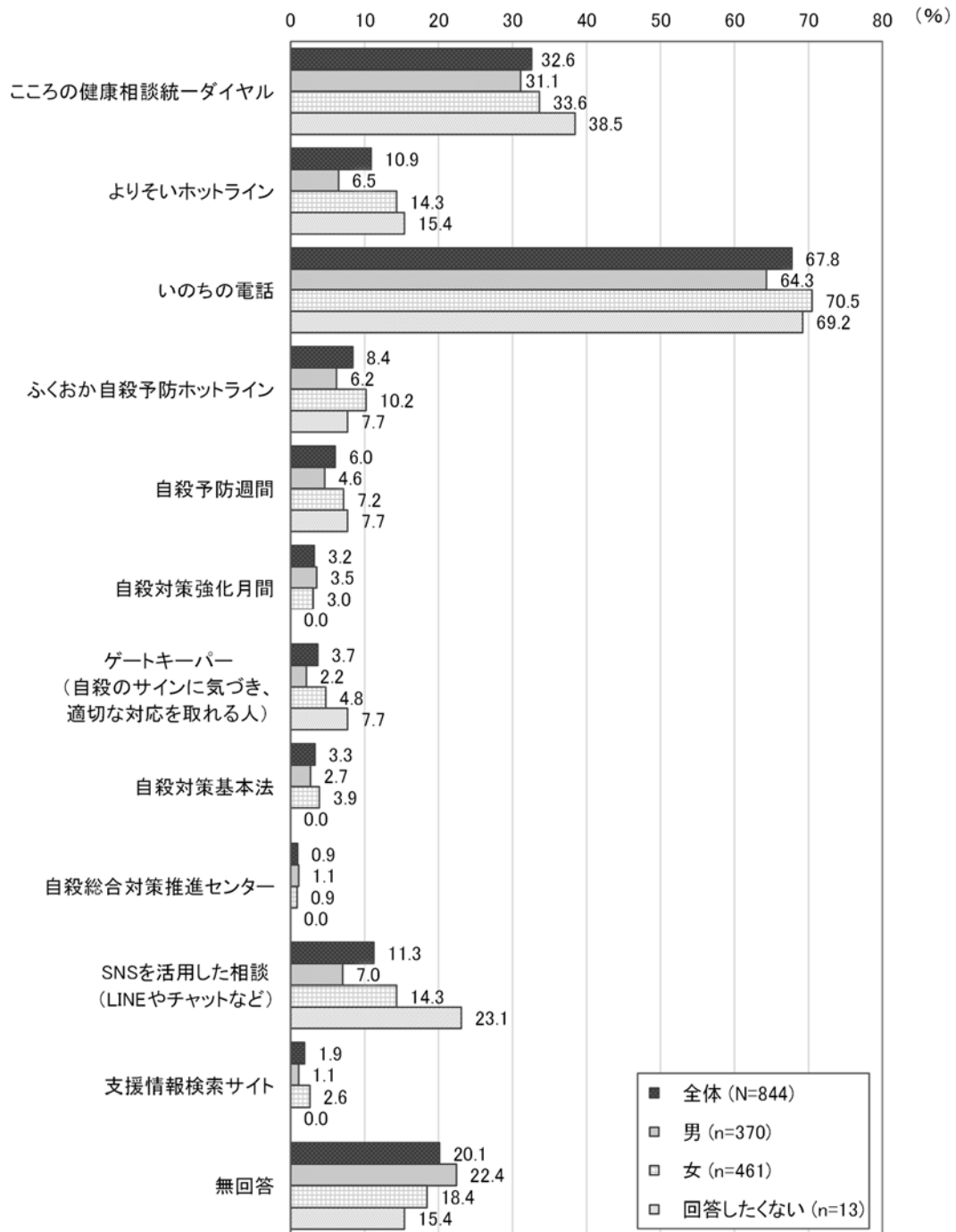
(6) もし身近な人から「死にたい」と打ち明けられた時、あなたはどのように対応しますか。

- ▶ 全体では、「耳を傾けてじっくりと話を聞く」が66.8%と最も高く、次いで、「解決策を一緒に考える」(43.8%)、「一緒に相談機関を探す」(27.4%)となっている。
- ▶ 性別では、全体と同様の順位となっているが、「男性」の第3位は「『死んではいけない』と説得する」となっている。



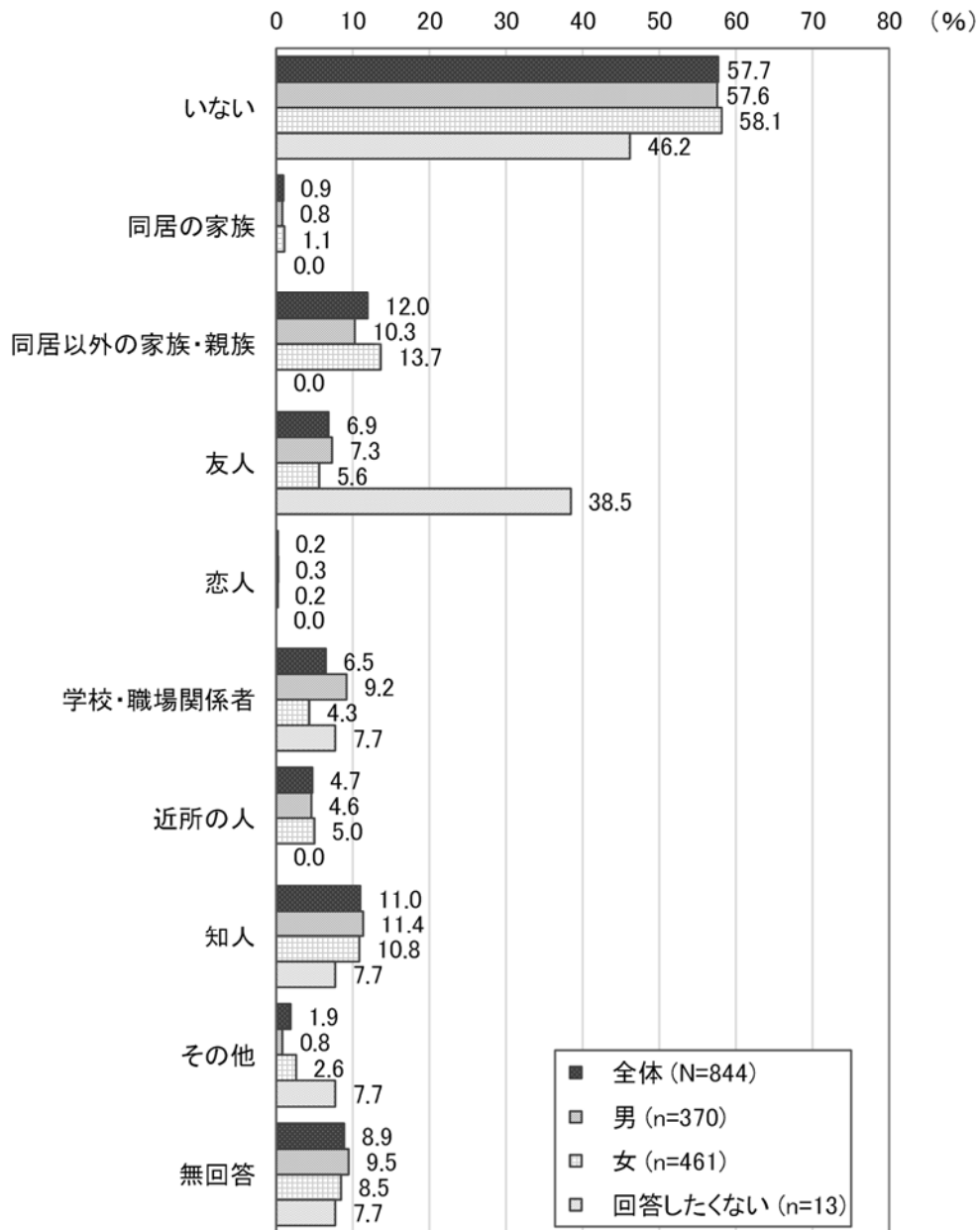
(7) あなたは、自殺対策に関する以下のことを知っていますか。

- 全体では、「いのちの電話」が67.8%と最も高く、次いで、「こころの健康相談統一ダイヤル」(32.6%)、「SNSを活用した相談(LINEやチャットなど)」(11.3%)となっている。
- 性別では、「女性」の方が相談先を知っている割合が高い傾向にある。



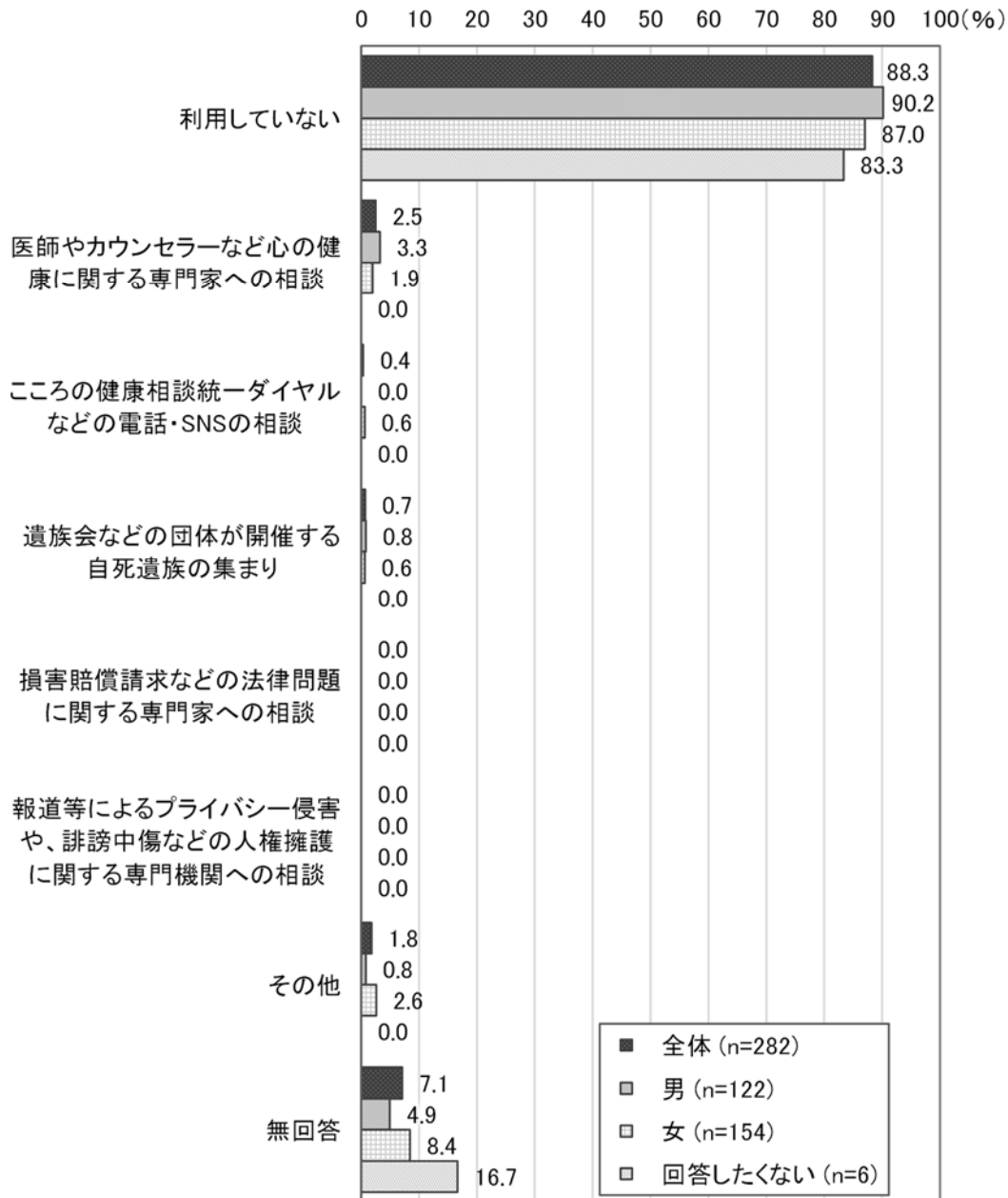
(8) あなたの周りで自殺(自死)をした方はいらっしゃいますか。

- 全体では、「いない」が57.7%と最も高く、次いで、「同居以外の家族・親族」(12.0%)、「知人」(11.0%)となっている。



(8) -1²² 自殺（自死）で身近な方を亡くしたとき、ご自身が公的な相談機関や民間団体の支援を利用しましたか。

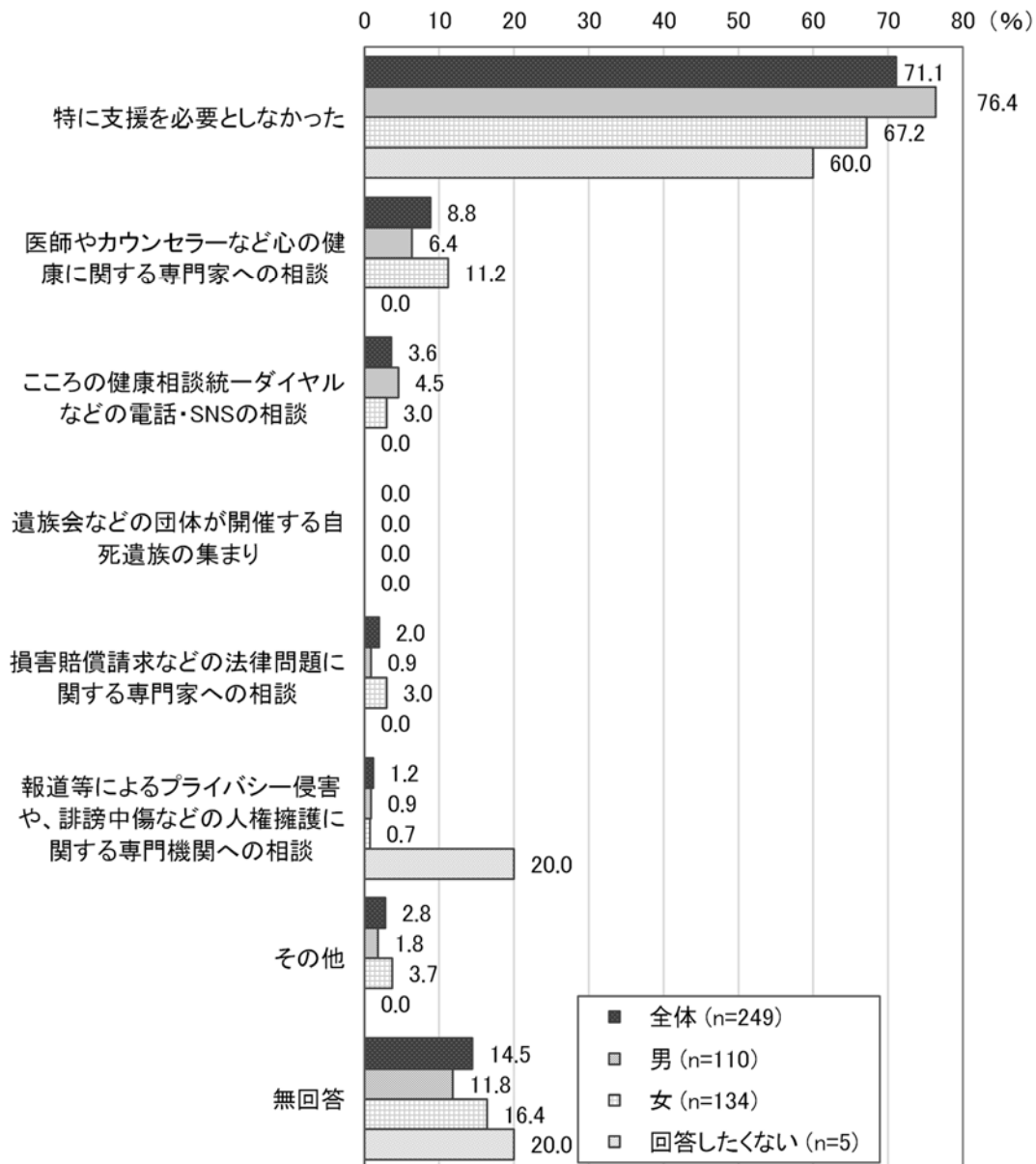
- 全体では、「利用していない」が88.3%と最も高く、次いで、「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家への相談」(2.5%)、「その他」(1.8%)となっている。



²² (8) で「いない」以外に○をつけた方のみ回答。

(8) -2²³ もしその時知っていたら利用したかった支援内容はどれですか。
 (当時、支援を必要としなかった方は「1. 特に支援を必要としなかった」
 を回答してください)

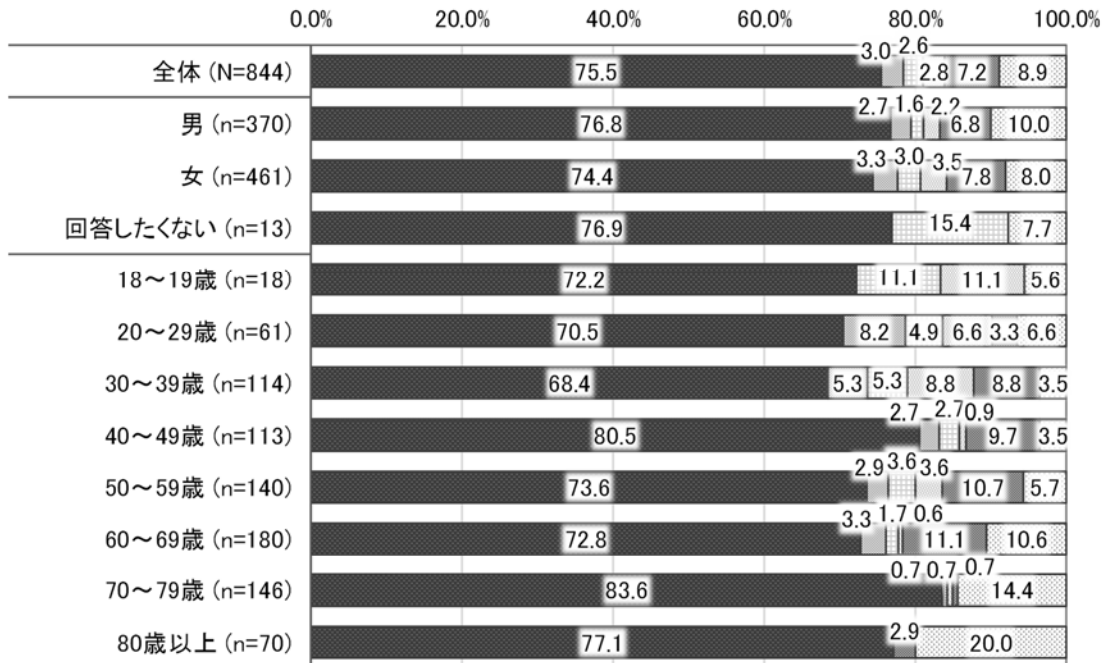
- ▶ 全体では、「特に支援を必要としなかった」が71.1%と最も高く、次いで、「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家への相談」(8.8%)、「こころの健康相談統一ダイヤルなどの電話・SNSの相談」(3.6%)となっている。



²³ (8) -1 で「利用していない」に○をつけた方のみ回答。

(9) あなたはこれまでに、本気で自殺をしたいと考えたことはありますか。

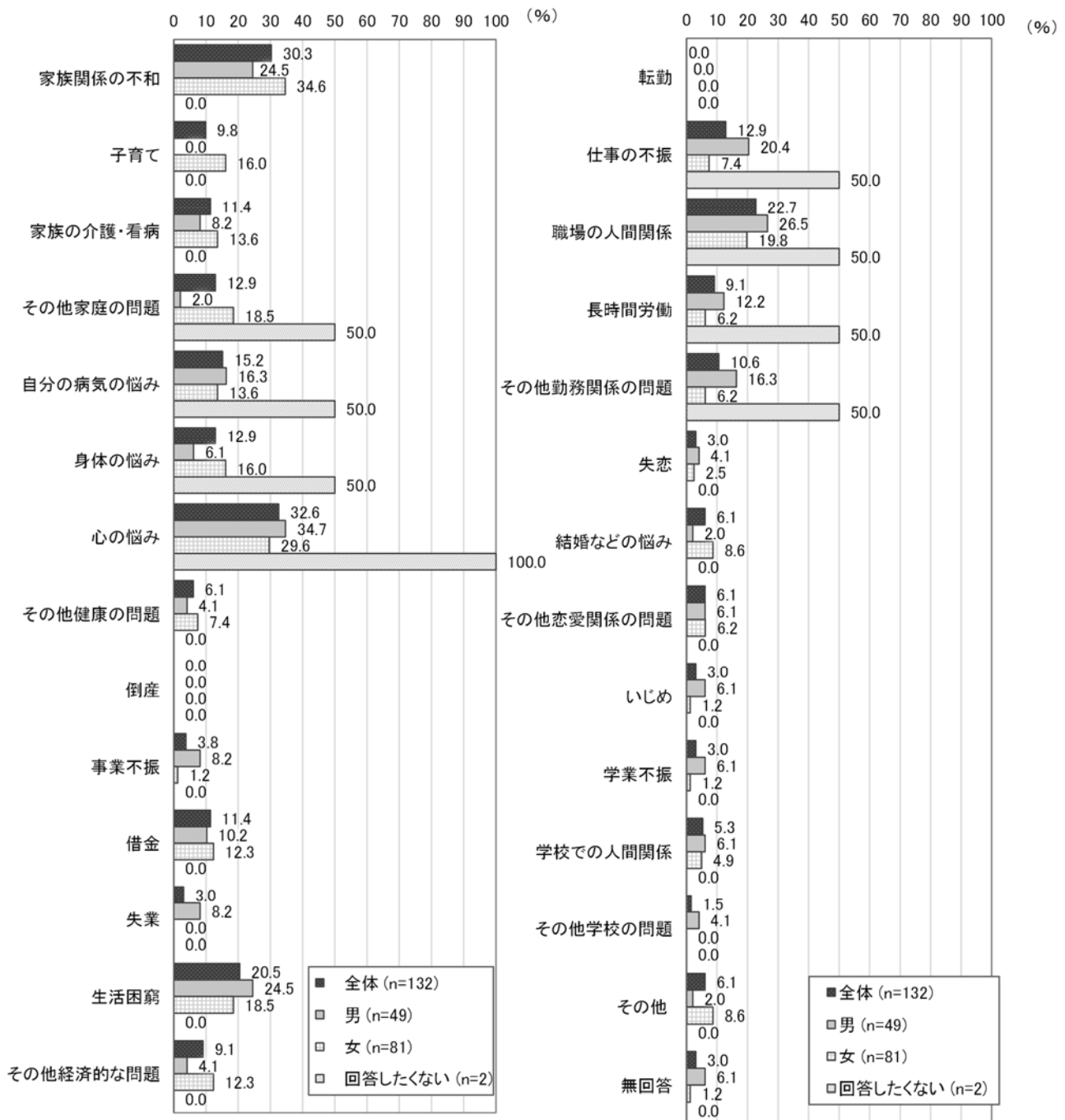
- 全体では、「ない」が75.5%と最も高く、次いで、「10年以上前にある」(7.2%)、「この1年以内にある」(3.0%)となっている。



ない
 ここ5年くらいの間にある
 10年以上前にある
 この1年以内にある
 5年～10年前にある
 無回答

(9) - 1²⁴ あなたはどのようなことにストレスを感じていますか。

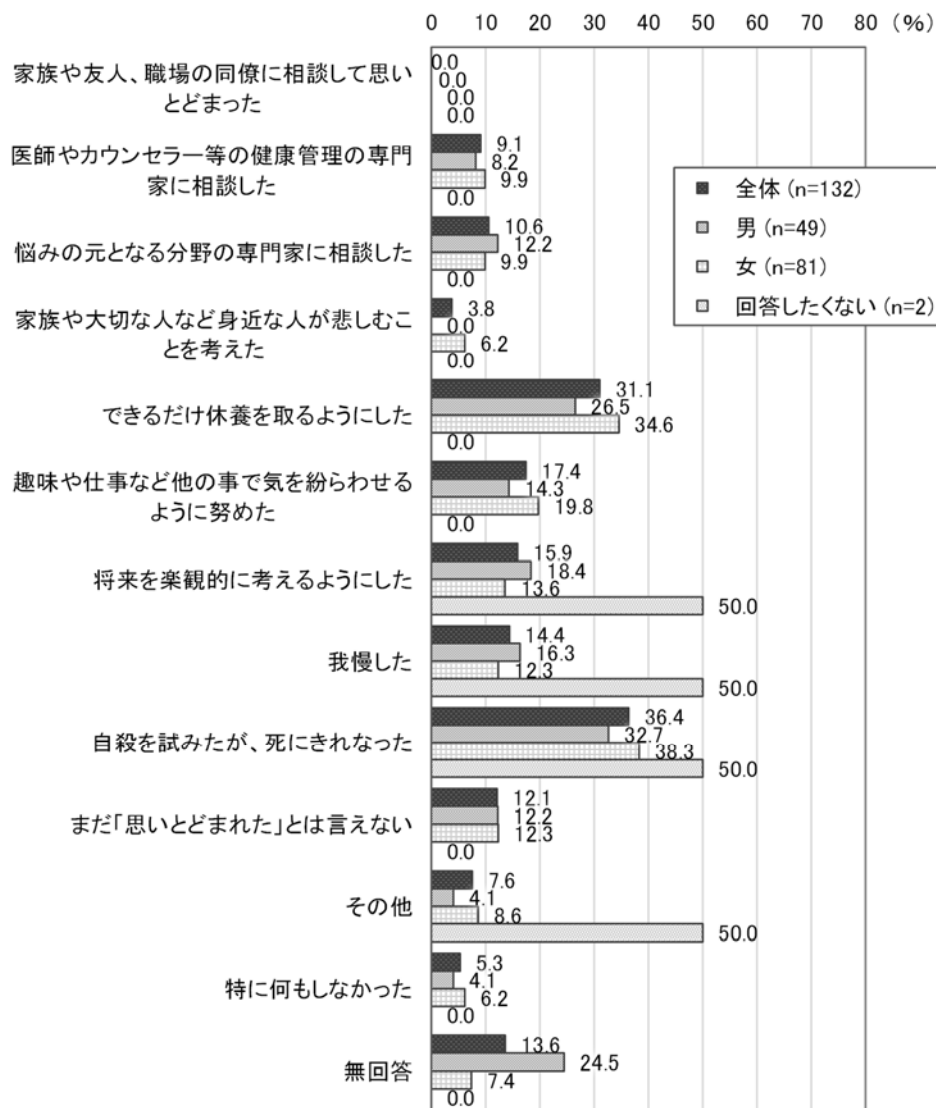
- ▶ 全体では、「心の悩み」が32.6%と最も高く、次いで、「家族関係の不和」(30.3%)、「職場の人間関係」(22.7%)となっている。
- ▶ 性別では、男性の第1位は全体と同様だが、第2位が「職場の人間関係」が26.5%と最も高く、女性は、「家族関係の不和」が34.6%と最も高い。



²⁴ (9) で「ない」以外に○をつけた方のみ回答。

(9) -2²⁵ 自殺をしたいという考えを思いとどまった理由は何ですか。

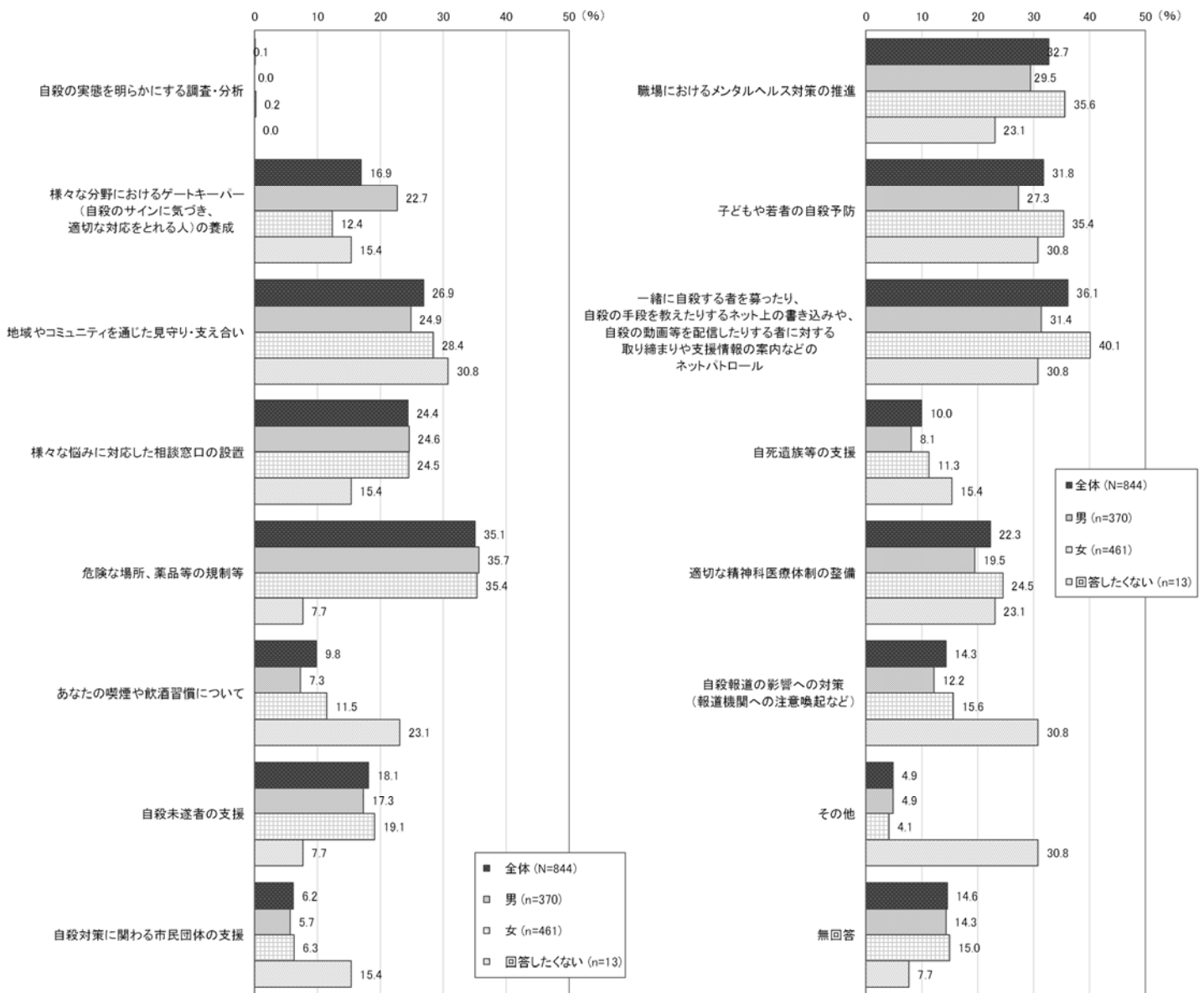
- ▶ 全体では、「自殺を試みたが、死にきれなかった」が36.4%と最も高く、次いで、「できるだけ休養を取るようにした」(31.1%)、「趣味や仕事など他の事で気を紛らわせるように努めた」(17.4%)となっている。
- ▶ 性別では、「女性」の方が「男性」に比べて、「できるだけ休養を取るようにした」割合が高く、「男性」は「女性」に比べて、「将来を楽観的に考えるようにした」割合が高い。



²⁵ (9) で「ない」以外に○をつけた方のみ回答。

(10) 今後求められるものとして、どのような自殺対策が有用であると思いますか。以下の中であてはまるもの全てに○をつけてください。

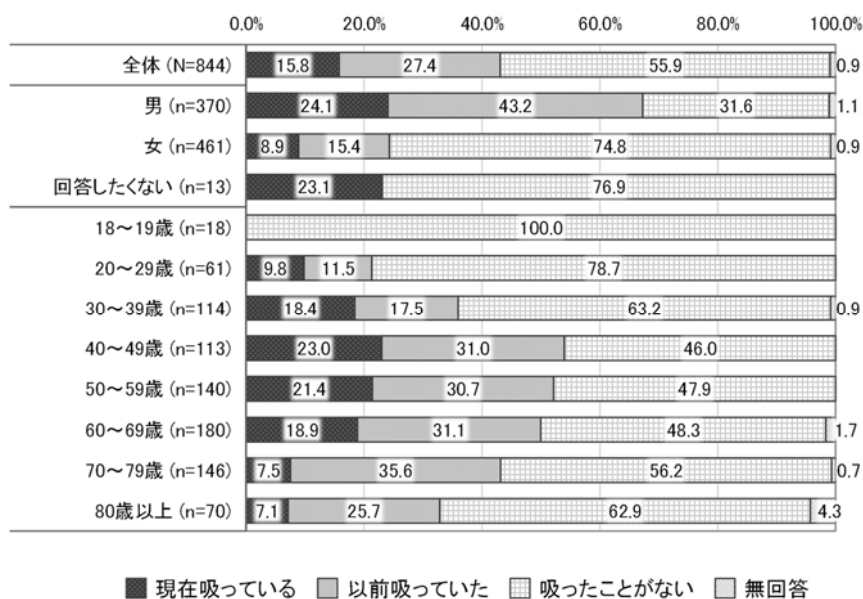
- ▶ 全体では、「一緒に自殺する者を募ったり、自殺の手段を教えたりするネット上の書き込みや、自殺の動画等を配信したりする者に対する取り締まりや支援情報の案内などのネットパトロール」が36.1%と最も高く、次いで、「危険な場所、薬品等の規制」(35.1%)、「職場におけるメンタルヘルス対策の推進」(32.7%)となっている。
- ▶ 性別では、「女性」より「男性」の方が「様々な分野におけるゲートキーパー（自殺のサインに気づき、適切な対応をとれる人）の養成」が10ポイント多く、「一緒に自殺する者を募ったり、自殺の手段を教えたりするネット上の書き込みや、自殺の動画等を配信したりする者に対する取り締まりや支援情報の案内などのネットパトロール」が8.7ポイント多くなっている。



6. あなたの喫煙や飲酒習慣について

(1) あなたは、現在たばこを吸っていますか。

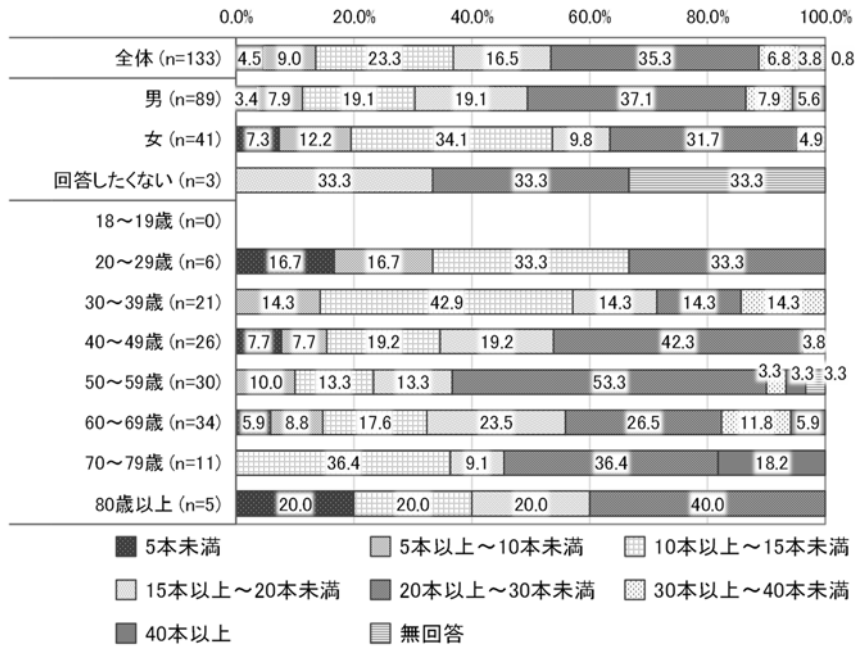
- 全体では、「吸ったことがない」が55.9%と最も高く、次いで、「以前吸っていた」(27.4%)、「現在吸っている」(15.8%)となっている。
- 性別では、「現在吸っている」または「以前吸っていた」割合は、「男性」の方が高い。
- 年齢別では、「現在吸っている」と「以前吸っていた」割合は、「40～49歳」から「60～69歳」で過半数を占めている。



(1) -1²⁶ 1日平均何本ぐらい吸いますか。また何歳から吸っていますか。

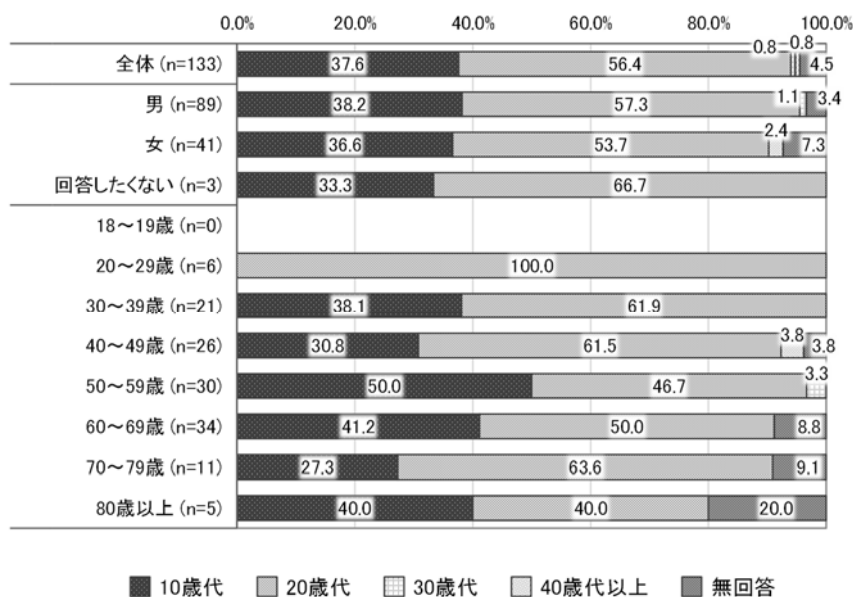
《1日に吸っている平均本数》

- 全体では、「20本以上 30本未満」が35.3%と最も高く、1日10本以上吸う割合は8割を超えている。
- 性別では、1日の平均本数は「男性」の方が多い。
- 年齢別では、1日に20本以上吸う割合は「50～59歳」が最も高い。



《吸い始めた年齢》

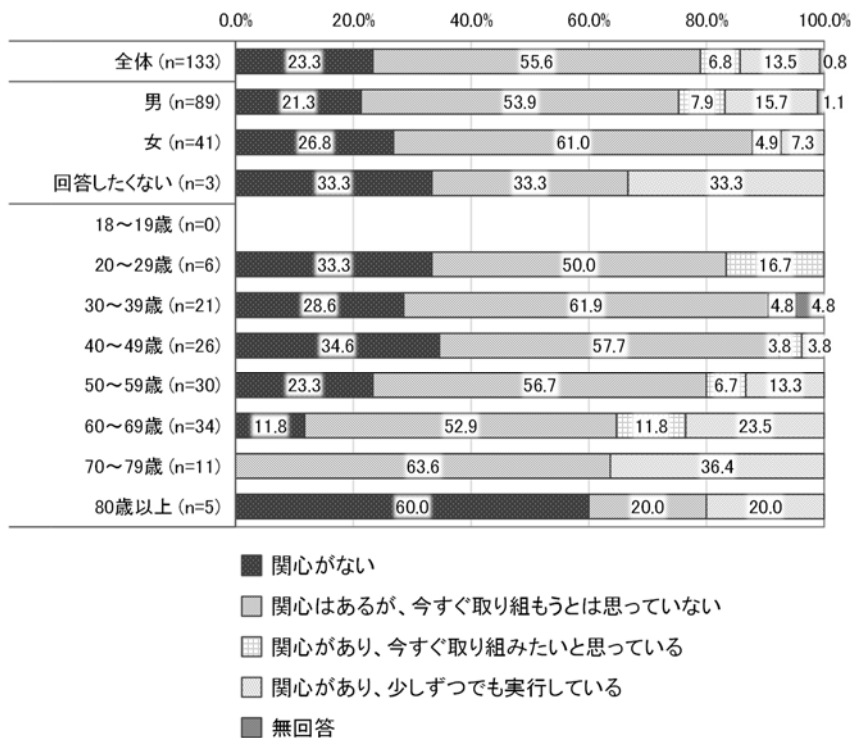
- 全体では、「20歳代」が56.4%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「10歳代」の割合は「50～59歳」が最も高い。



²⁶ (1) で「現在吸っている」に○をつけた方のみ回答。

(1) -2²⁷ あなたは、禁煙についてどう思っていますか。

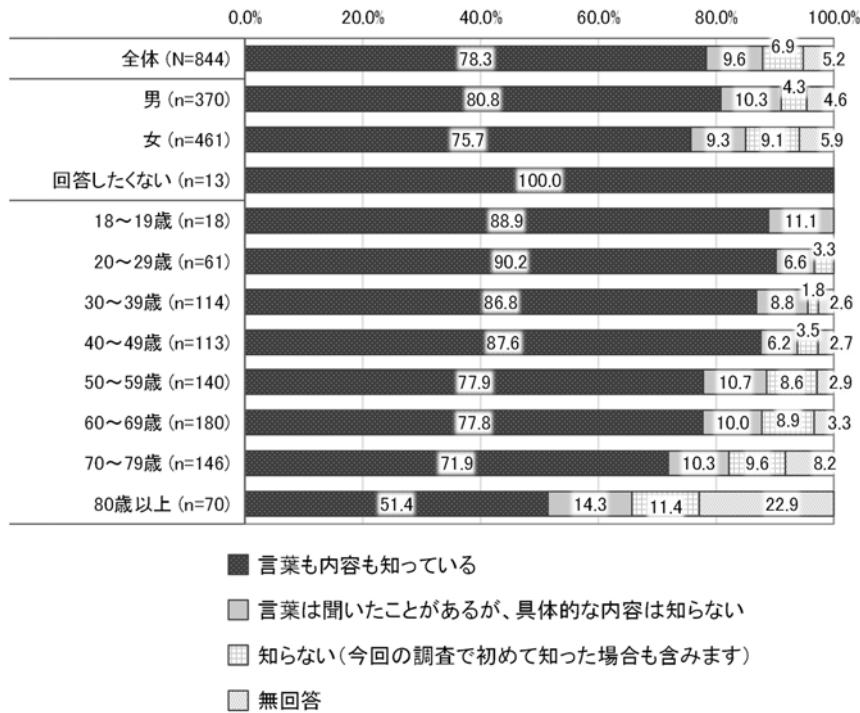
- ▶ 全体では、「関心はあるが、今すぐ取り組もうとは思っていない」が55.6%と最も高く、次いで、「関心がない」(23.3%)、「関心があり、少しずつでも実行している」(13.5%)となっている。
- ▶ 性別では、「関心があり、少しずつでも実行している」割合は男性のほうが高い。
- ▶ 年齢別では、「関心があり、今すぐ取り組みたいと思っている」と「関心があり、少しずつでも実行している」割合は「60～69歳」と「70～79歳」で高い傾向にある。



²⁷ (1) で「現在吸っている」に○をつけた方のみ回答。

(2) あなたは、受動喫煙²⁸の害について知っていますか。

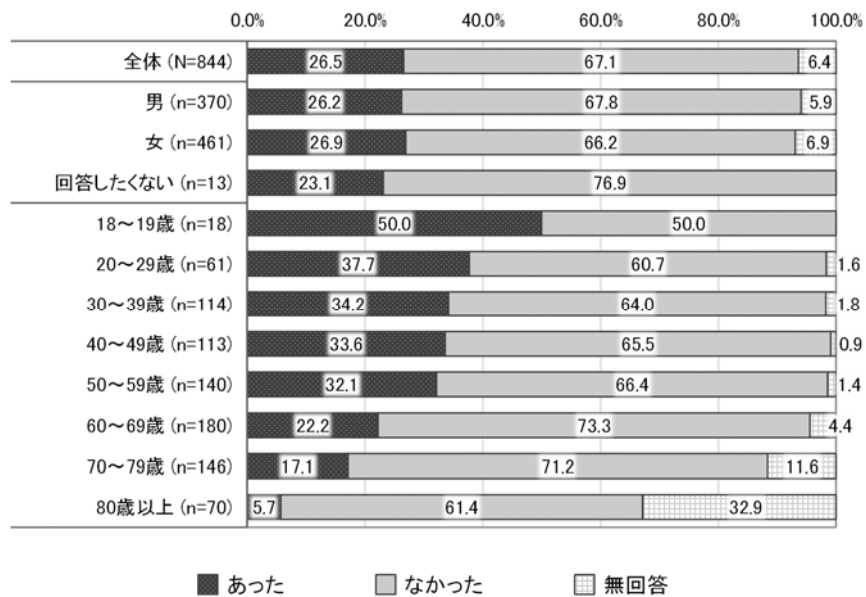
- 全体では、「言葉も内容も知っている」が78.3%と最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない」(9.6%)、「知らない」(6.9%)となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「言葉は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない」「知らない」割合は「50～59歳」以上で高い傾向にある。



²⁸ 室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること。喫煙者が吸い込む煙よりも、たばこの先から出ている煙の方に有害物質は多く含まれるため、非喫煙者でも、このたばこの煙を吸い込むことで健康への害が生じる。

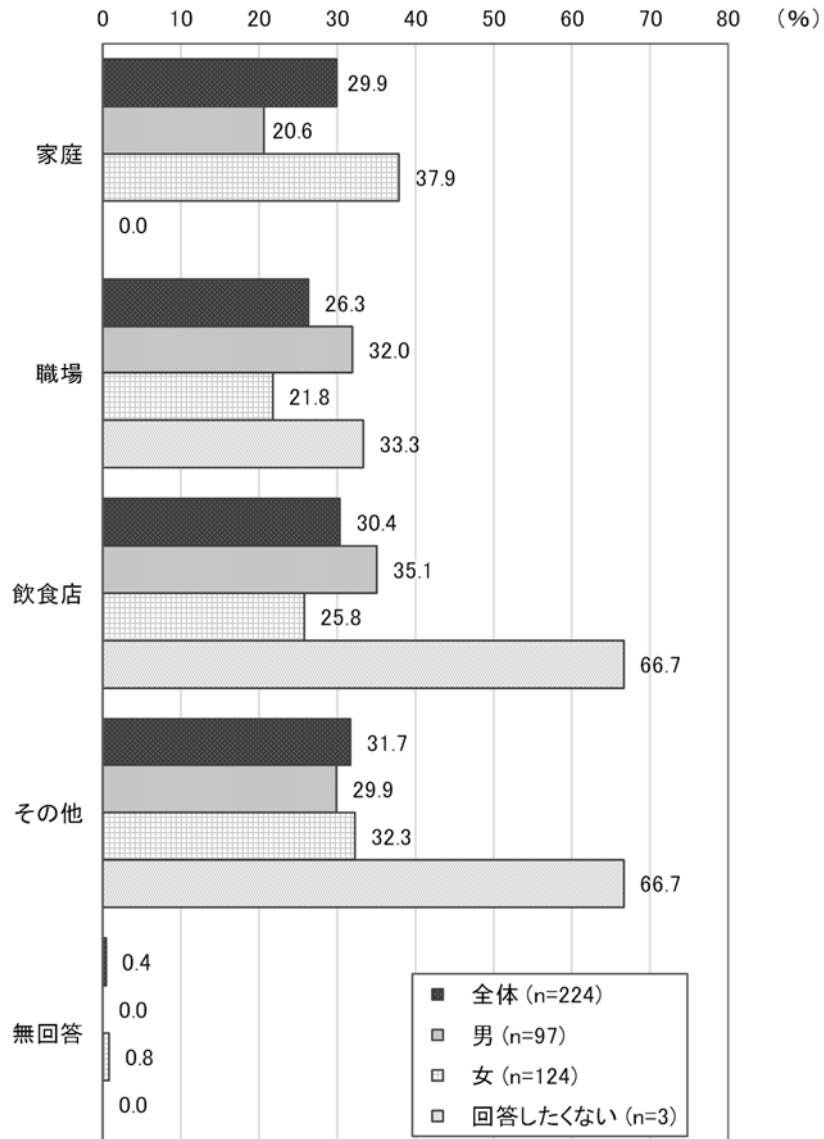
(3) あなたは、この1か月間に、望まずに受動喫煙を受けた機会がありましたか

- 全体では、「なかった」が67.1%と最も高く、次いで、「あった」(26.5%)となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「あった」割合は、年代が若くなるにつれて高い傾向にある。



(3) -1²⁹あなたが望まない受動喫煙を受けた場所はどこですか

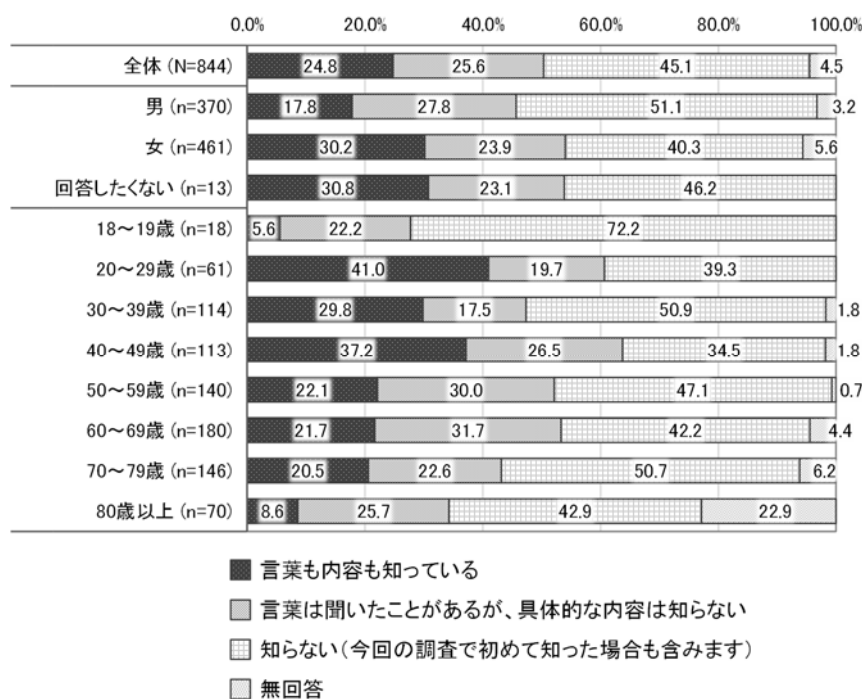
- 全体では、「その他」が31.7%と最も高く、次いで、「飲食店」(30.4%)となっている。
- 性別では、「女性」は「家庭」での割合が「男性」よりも高く、「男性」は「職場」や「飲食店」での割合が「女性」よりも高い傾向にある。



²⁹ (3) で「あった」に○をつけた方のみ回答。

(4) あなたは、COPD³⁰（慢性閉塞性肺疾患）という言葉や内容について知っていますか。

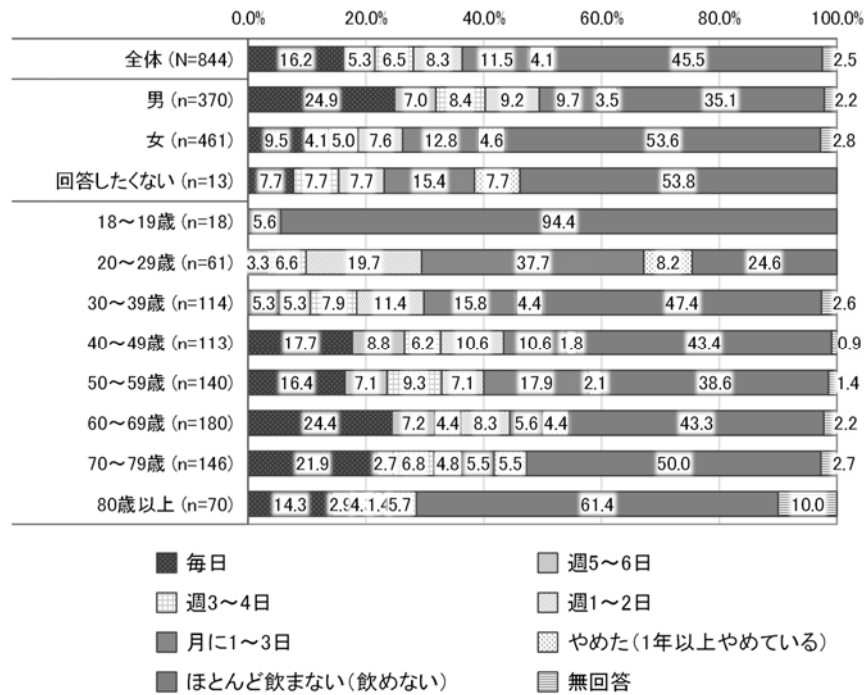
- ▶ 全体では、「知らない」が45.1%と最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない」(25.6%)、「言葉も内容も知っている」(24.8%)となっている。
- ▶ 性別では、「言葉も内容も知っている」割合は女性のほうが高い。
- ▶ 年齢別では、「知らない」割合は「18～19歳」が最も高く、「言葉も内容も知っている」割合は「20～29歳」から「40～49歳」が高い傾向にある。



³⁰ 主として喫煙などにより、有害物質を長期に吸い込むことによって肺に炎症がおき、肺の中の組織が破壊されて酸素の取り込みや二酸化炭素を排出する機能が低下する疾患。

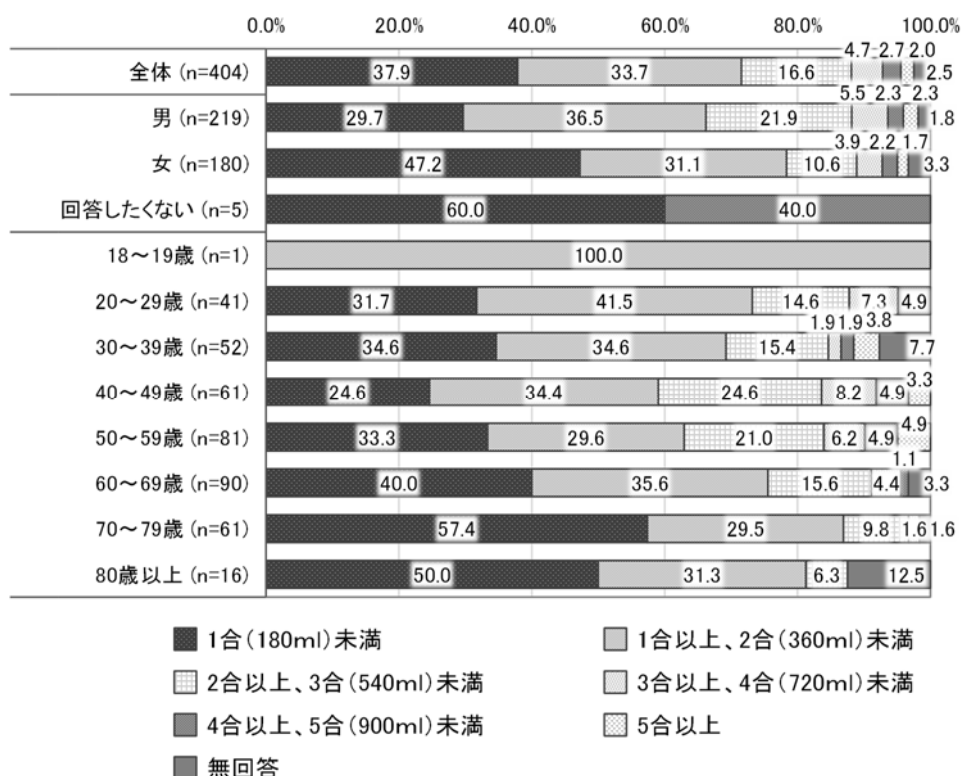
(5) あなたは、どのくらいの頻度でお酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか。

- 全体では、「ほとんど飲まない」が45.5%と最も高く、次いで、「毎日」（16.2%）、「月に1～3日」（11.5%）となっている。
- 性別では、お酒を飲む頻度は「男性」の方が多い。
- 年齢別では、お酒を飲む頻度は「60～69歳」の割合が最も高い。



(5) -1³¹ お酒を飲む日は、1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。清酒に換算し³²、あてはまるものを1つ選んでください。

- 全体では、「1合未満」が37.9%と最も高く、次いで、「1合以上、2合未満」(33.7%)、「2合以上、3合未満」(16.6%)となっている。
- 性別では、1日あたりのお酒を飲む量は「男性」の方が多い。
- 年齢別では、1日あたりのお酒を飲む量は、年代が高くなるにつれて少ない傾向にある。



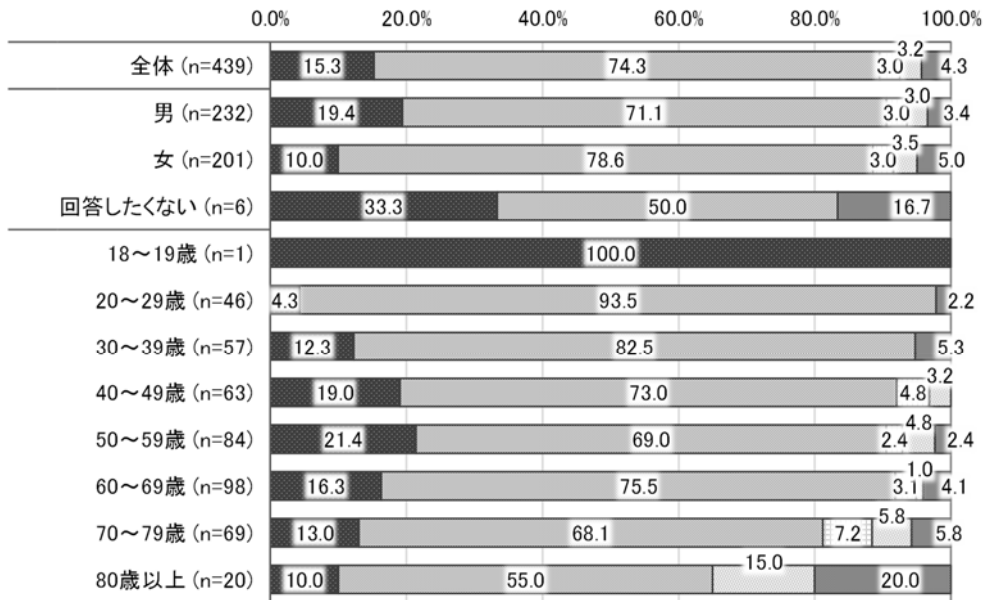
³¹ (5) で「やめた」「ほとんど飲まない」以外に○をつけた方のみ回答。

³² 清酒1合(180ml)は、おおむね次の量。

- ・ビール、発泡酒：500ml
- ・チューハイ(7度)：350ml
- ・焼酎(20度)：135ml
- ・焼酎(35度)：80ml
- ・ウィスキーダブル1杯：60ml
- ・ワイン2杯：240ml

(5) -2³³ あなたは、お酒を何歳から飲み始めましたか。

- 全体では、「20歳代」が74.3%と最も高い。
- 性別では、「10歳代」の割合は「男性」の方が高い。
- 年齢別では、「20歳代」の割合が、年代が高くなるにつれて低い傾向にある。



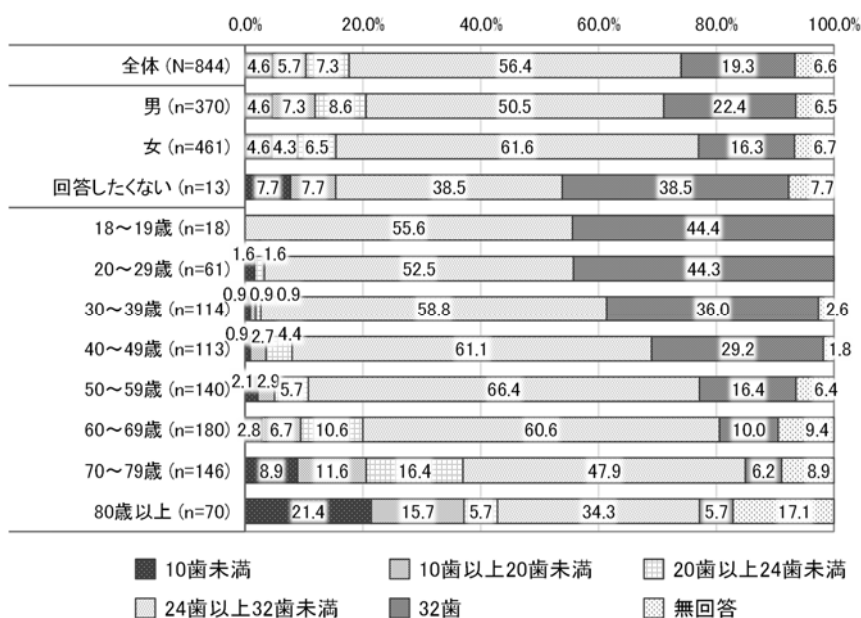
■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代以上 ■ 無回答

³³ (5) で「ほとんど飲まない」以外に○をつけた方のみ回答。

7. あなたの歯や口のことについて

(1) あなたの歯は、現在何本ありますか³⁴。(さし歯は数えますが、入れ歯は除きます)

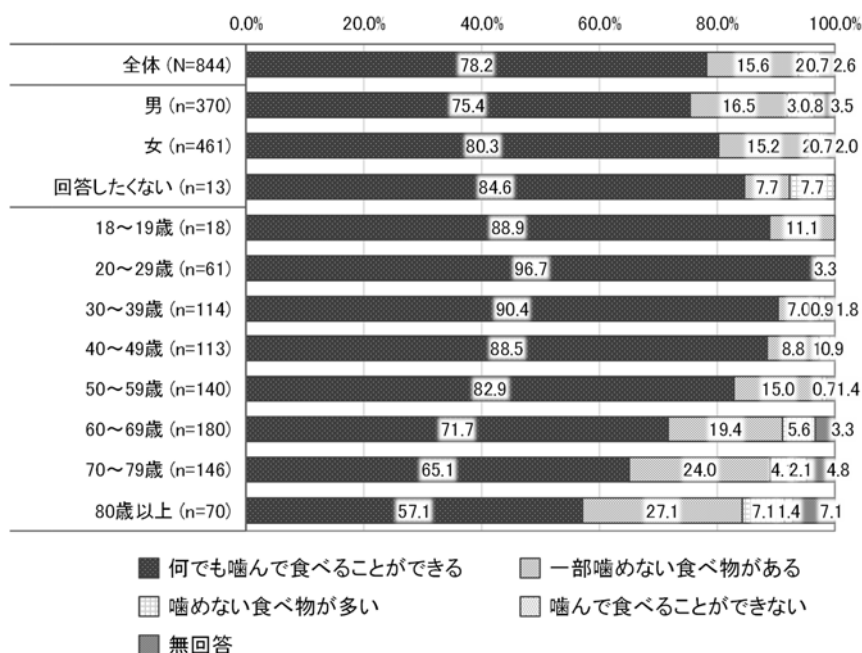
- 全体では、「24 歯以上 32 歯未満」が 56.4%と最も高く、次いで、「32 歯」(19.3%)、「20 歯以上 24 歯未満」(7.3%)となっている。
- 性別では、歯の本数は「男性」の方が少ない。
- 年齢別では、歯の本数は年代が高くなるにつれて少ない傾向にある。



³⁴ 普通の歯の本数は、「親知らず」を含めて、32本。

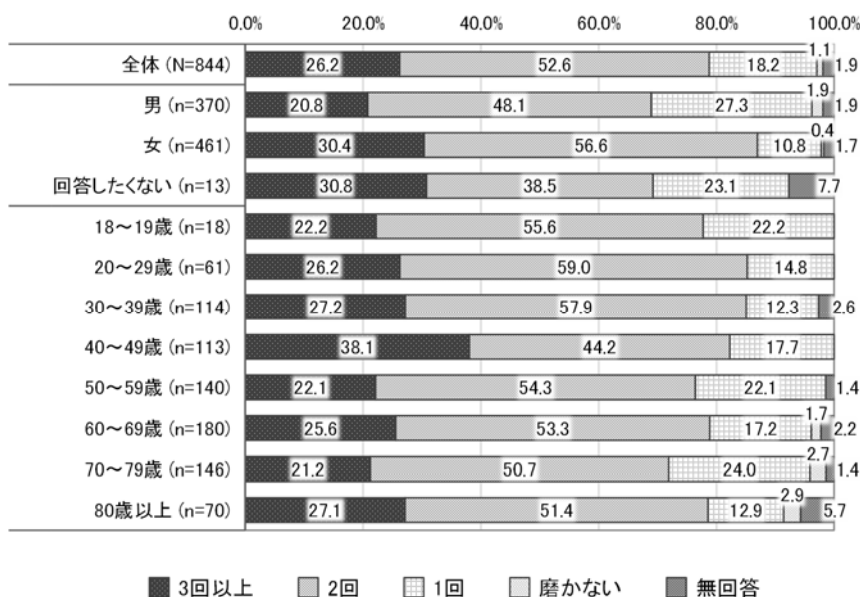
(2) あなたは、何でも噛んで食べることができますか。

- 全体では、「何でも噛んで食べることができる」が78.2%と最も高く、次いで、「一部噛めない食べ物がある」(15.6%)、となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「なんでも噛んで食べることができる」割合は年代が高くなるにつれて低い傾向にある。また、「50～59歳」から「一部噛めない食べ物がある」の割合が急増している。



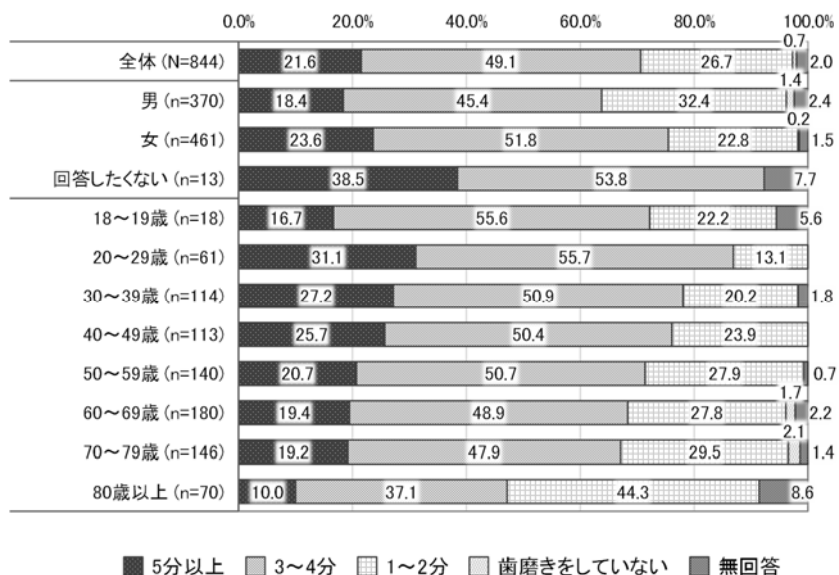
(3) あなたの1日の歯みがきの回数は何回ですか。

- 全体では、「2回」が52.6%と最も高く、次いで、「3回以上」(26.2%)、「1回」(18.2%)となっている。
- 性別では、1日の歯みがきの回数は「女性」の方が多い。
- 年齢別では、「磨かない」割合は「80歳以上」で最も高い。



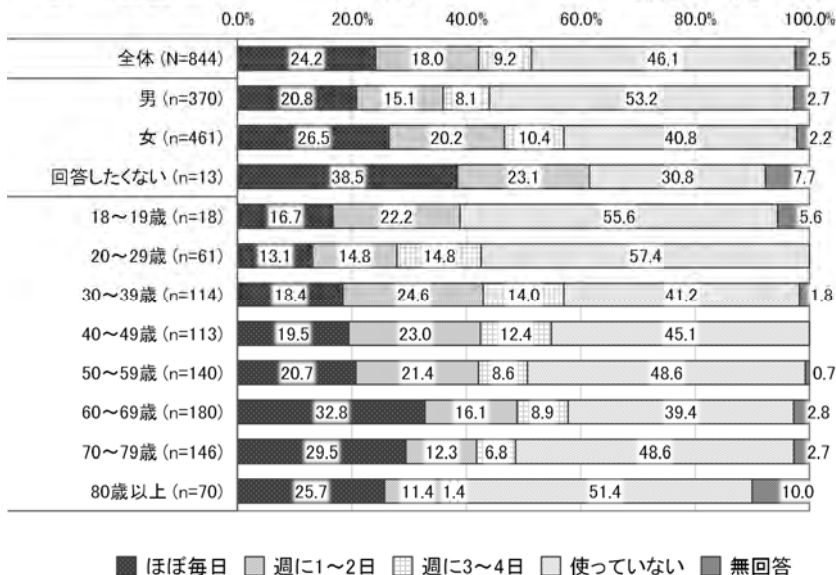
(4) あなたが、1回あたりの歯磨きにかかる時間は平均何分ですか。

- ▶ 全体では、「3～4分」が49.1%と最も高く、次いで「1～2分」(26.7%)、「5分以上」(21.6%)となっている。
- ▶ 性別では、「3～4分」以上歯磨きしている人の割合が「女性」の方が「男性」に比べて11.6ポイント高い。
- ▶ 年齢別では、年代が若くなるにつれて、1日の歯磨きの時間は長い傾向にある。



(5) あなたはデンタルフロス（糸ようじ）や歯間ブラシを使っていますか。

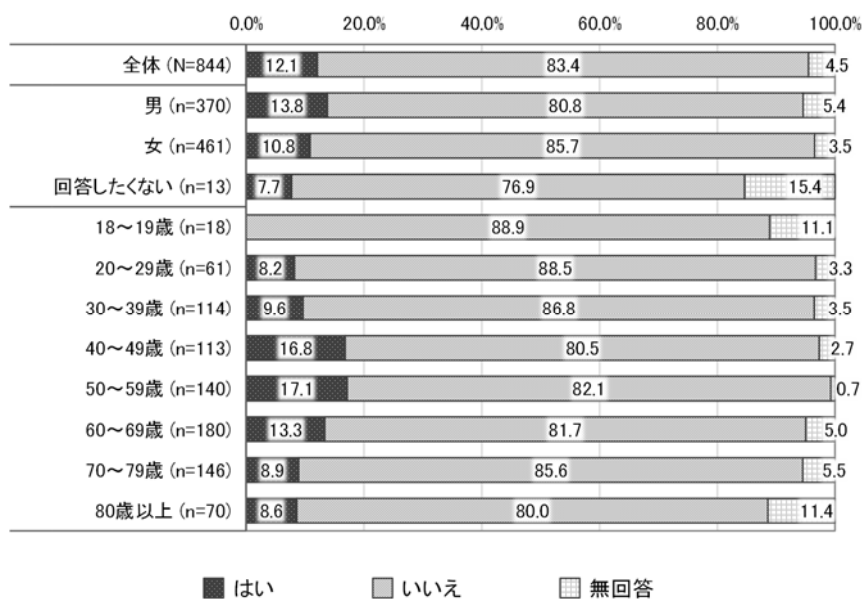
- ▶ 全体では、「使っていない」が46.1%と最も高く、次いで、「ほぼ毎日」(24.2%)、「週に1～2回」(18.0%)となっている。
- ▶ 性別では、「使っていない」割合は「男性」の方が高い。
- ▶ 年齢別では、「使っていない」割合は「20～29歳」が最も高い。また、「ほぼ毎日」の割合は「60～69歳」と「70～79歳」で高い傾向にある。



(6) あなたの歯ぐきの状態について、それぞれ「はい」「いいえ」でお答えください。

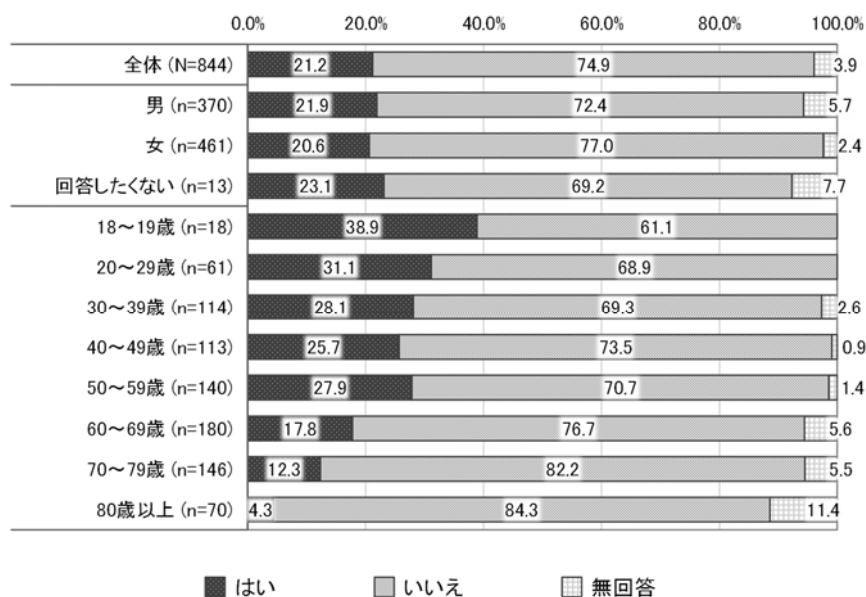
《① 歯ぐきが腫れている》

- 全体では、「いいえ」の割合が83.4%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「はい」の割合は「40～49歳」から「60～69歳」が高い傾向にある。



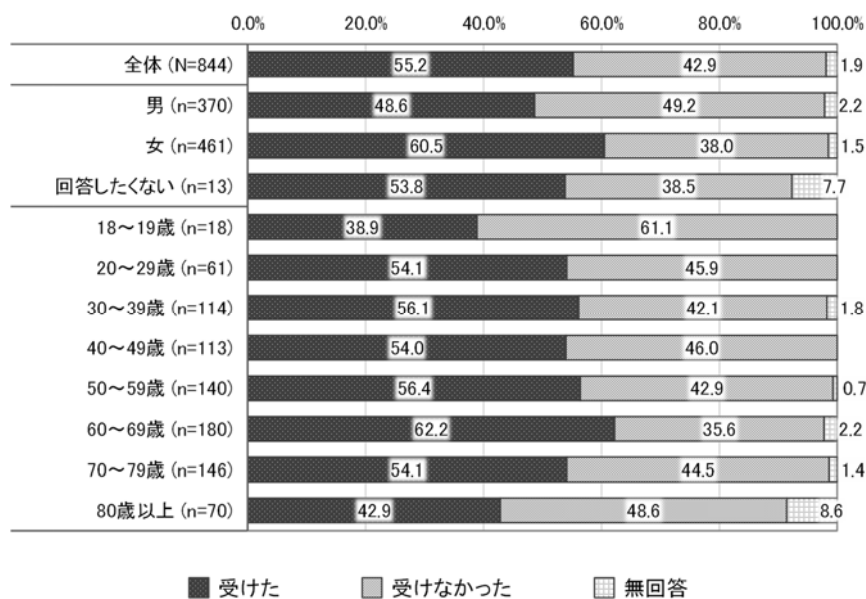
《② 歯を磨いたときに血が出る》

- 全体では、「いいえ」の割合が74.9%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、年代が若くなるにつれて歯を磨いたときに血が出る傾向にある。



(7) あなたは、この1年間に歯科医院で定期的に歯石をとったり、歯科検診を受けましたか。

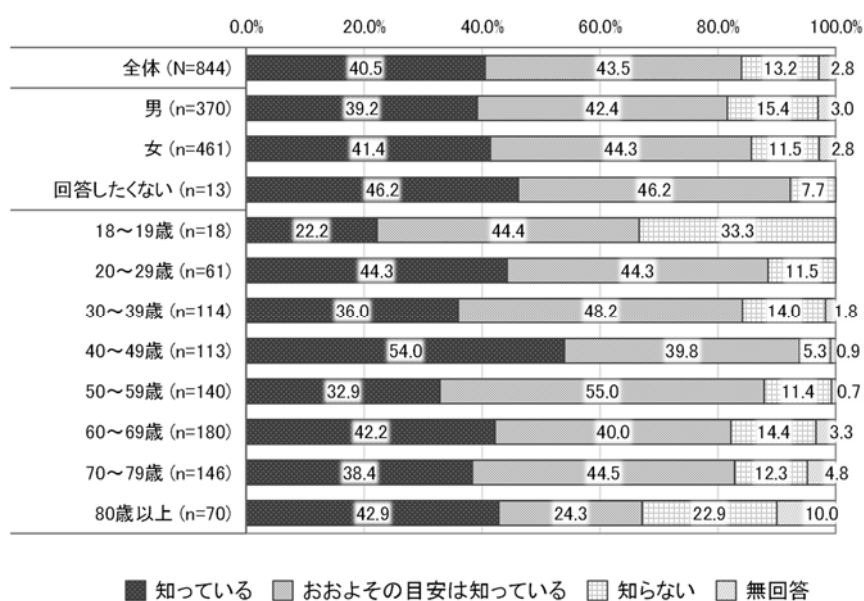
- 全体では、「受けた」方が55.2%と高い。
- 性別では、「受けた」割合は「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「受けなかった」割合は「18～19歳」が最も高い。



8. 健康づくりの取り組みについて

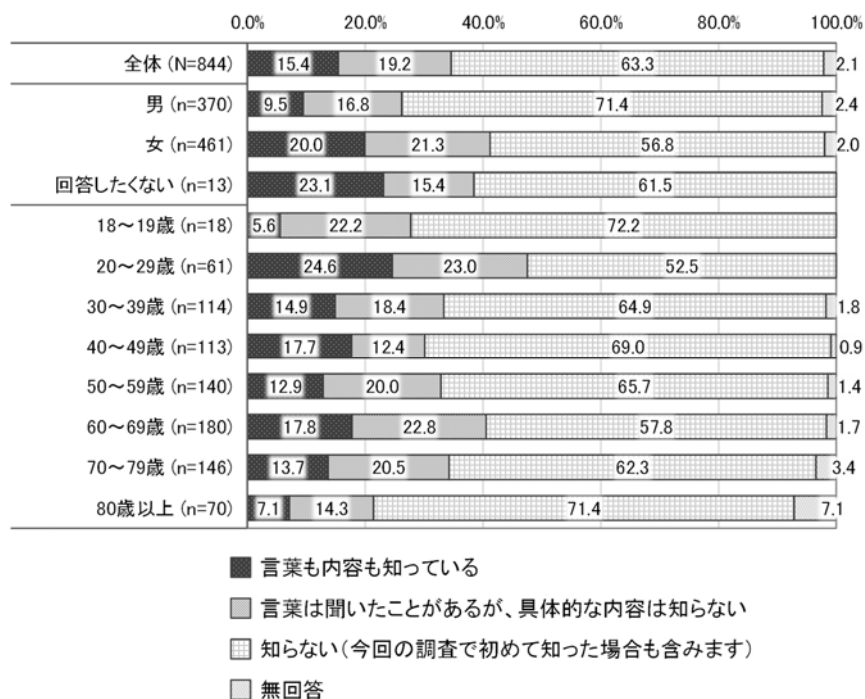
(1) あなたは、自分の適正体重を知っていますか。

- 全体では、「おおよその目安は知っている」が43.5%と最も高く、次いで、「知っている」(40.5%)、「知らない」(13.2%)となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「知っている」「おおよその目安は知っている」割合は「20～29歳」から「70～79歳」にかけて高い傾向にある。



(2) あなたは、ロコモティブシンドローム³⁵（運動器症候群）について聞いたことがありますか。

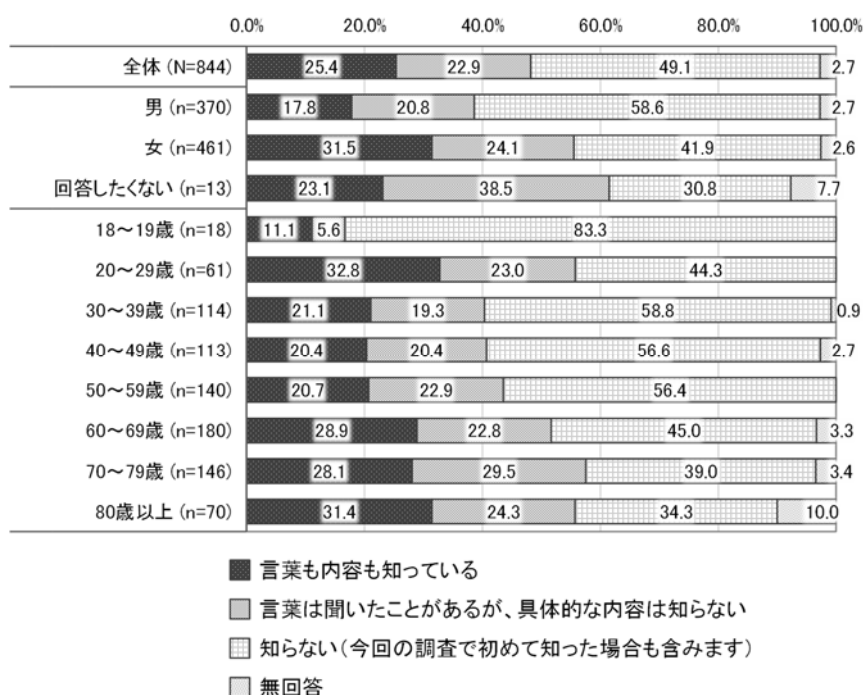
- ▶ 全体では、「知らない」が63.3%と最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない」(19.2%)、「言葉も内容も知っている」(15.4%)となっている。
- ▶ 性別では、言葉だけでも知っている割合は「女性」の方が高い。
- ▶ 年齢別では、「言葉も内容も知っている」割合は、「18～19歳」と「80歳以上」が低い傾向にある。



³⁵ 筋肉、骨、関節、軟骨といった運動器のいずれか、あるいは複数に障害が起こり、歩行や日常生活に何らかの機能低下をきたして、要介護になったり、要介護になる危険の高い状態。

(3) あなたは、フレイル³⁶（虚弱）という言葉や内容について知っていますか。

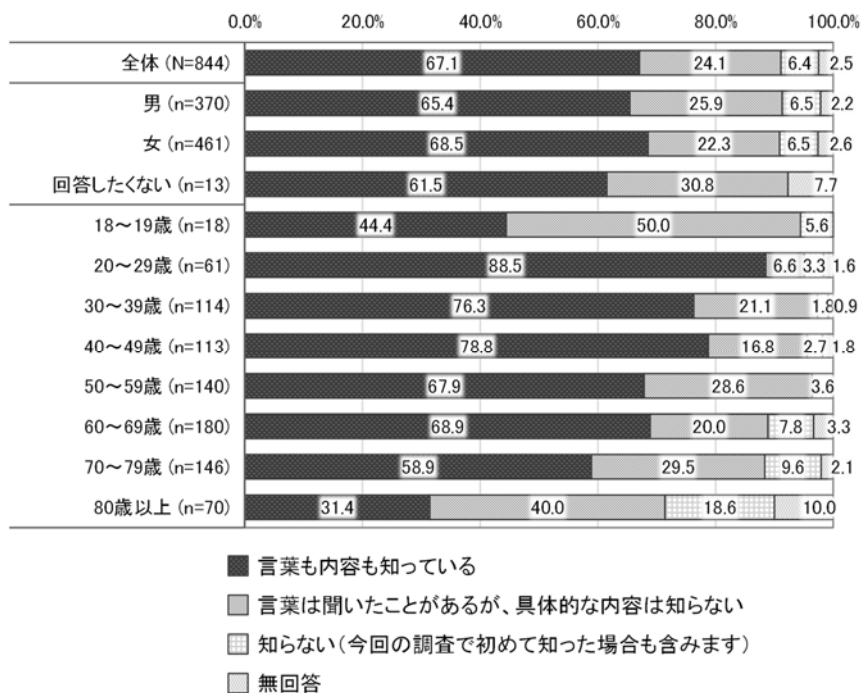
- 全体では、「知らない」が49.1%と最も高く、次いで、「言葉も内容も知っている」(25.4%)、「言葉は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない」(22.9%)となっている。
- 性別では、「言葉も内容も知っている」割合が「女性」の方が高い。
- 年齢別では、「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない」割合は、「20～29歳」と「60～69歳」以上が高い傾向にある。また、「知らない」割合は、「18～19歳」が最も高い。



³⁶ 年齢とともに、心身の力が弱くなり、生活ができなくなったり、障害、要介護状態などの危険性が高くなった状態のこと。

(4) あなたは、メタボリックシンドローム³⁷（内臓脂肪症候群）という言葉や内容について知っていますか。

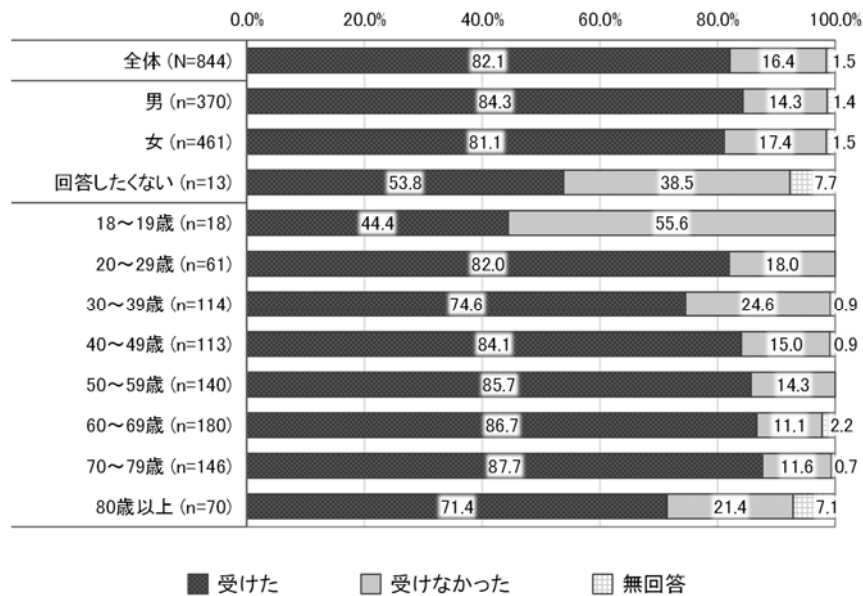
- 全体では、「言葉も内容も知っている」が67.1%と最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、具体的な内容は知らない」（24.1%）、「知らない」（6.4%）となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「言葉も内容も知っている」割合は、「80歳以上」が最も低い。



³⁷ 内臓脂肪がたまって、血圧、血糖、コレステロールが高くなり、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態のこと。

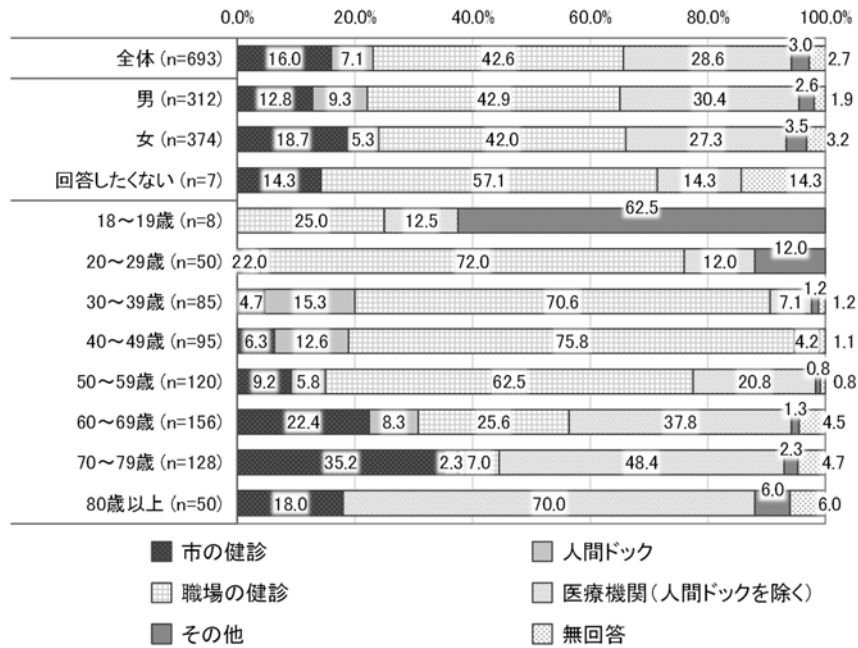
(5) あなたは、血液検査や尿検査などの検査を行う健康診断等（特定健診を含む）をこの1年間に受けましたか。

- 全体では、「受けた」が82.1%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「受けなかった」割合は、年齢が若くなるにつれて高い傾向にある。



(5) -1³⁸ あなたは、健康診断等（特定健診含む）をどこで受けましたか。

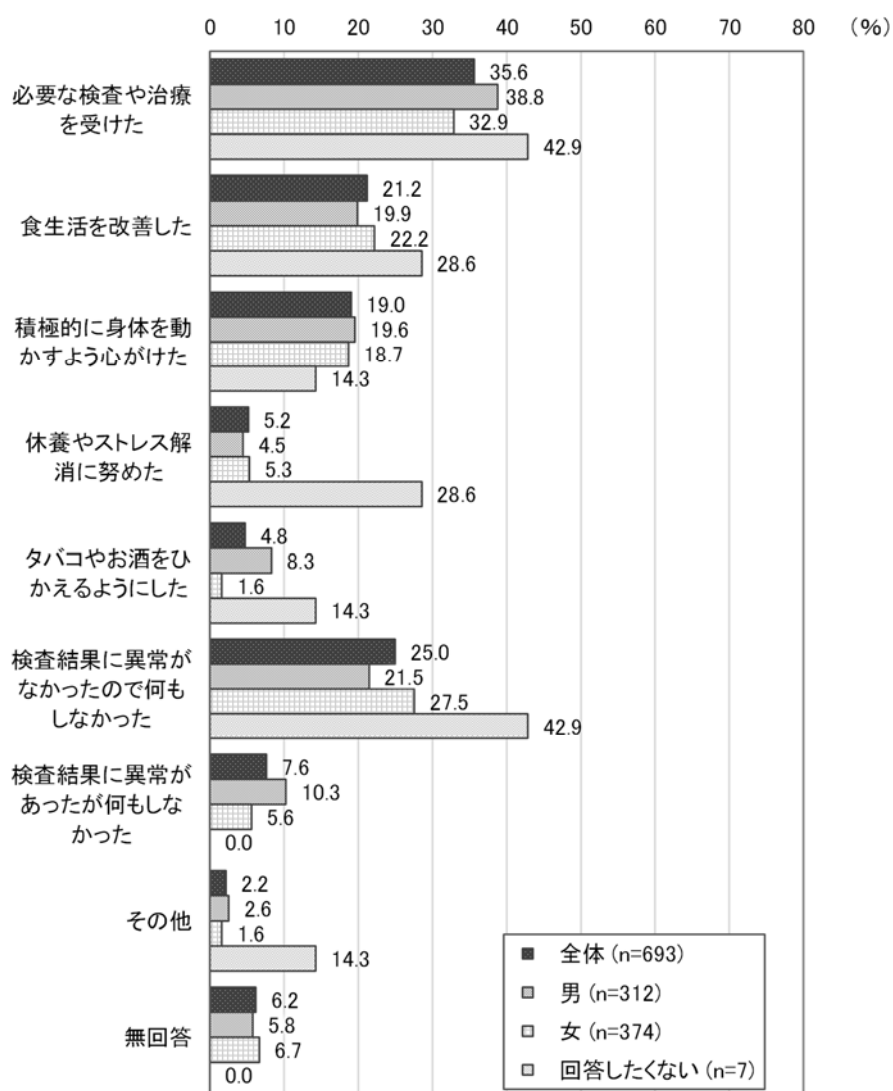
- 全体では、「職場の健診」が42.6%と最も高く、次いで、「医療機関（人間ドックを除く）」（28.6%）、「市の健診」（16.0%）となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、働きざかりの世代は「職場の健診」が多く、年代が高くなるにつれて、「市の健診」と「医療機関」が高い傾向にある。



³⁸ (5) で「受けた」に○をつけた方のみ回答。

(5) -2³⁹ あなたは、健康診断等（特定健診含む）の結果を活用して、健康づくりに取り組んだことがありますか。

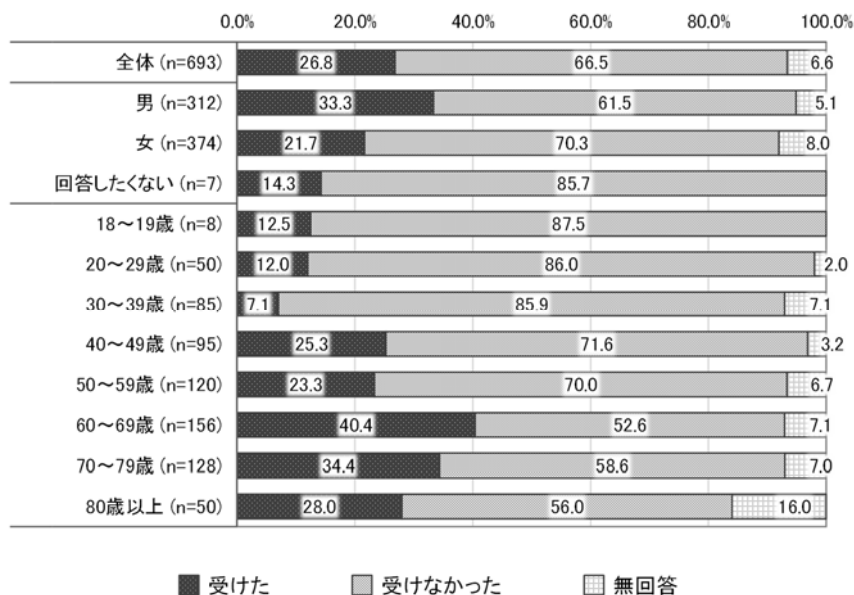
- ▶ 全体では、「必要な検査や治療を受けた」が35.6%と最も高く、次いで、「検査結果に異常がなかったので何もしなかった」（25.0%）、「食生活を改善した」（21.2%）となっている。
- ▶ 性別では、「男性」の方が「女性」に比べて「タバコやお酒をひかえるようにした」と「検査結果に異常があったが何もしなかった」の割合が高い。



³⁹ (5) で「受けた」に○をつけた方のみ回答。

(5) -3⁴⁰ あなたは、健康診断など（特定健診含む）のあとに保健指導を受けましたか。

- 全体では、「受けなかった」が66.5%と最も高い。
- 性別では、「受けた」割合は「男性」の方が高い。
- 年齢別では、「受けた」割合は年代が高くなるにつれて高い傾向にある。



⁴⁰ (5) で「受けた」に○をつけた方のみ回答。

(5) -4⁴¹ 保健指導を受けなかった理由は何ですか。

- 全体では、「医者にかかっている」が36.2%と最も高く、次いで、「健康だから」(23.4%)、「忙しくて受診する時間がない」(11.5%)となっている。
- 性別では、「健康だから」の割合が「女性」の方が高い。
- 年齢別では、若い世代は健康への不安が少なく、保健指導に対する関心が薄い傾向にあり、高齢世代では「医者にかかっている」割合が高い傾向にある。

	全体 (n=461)	男 (n=192)	女 (n=263)	回答したくない (n=6)	18~19歳 (n=7)	20~29歳 (n=43)	30~39歳 (n=73)	40~49歳 (n=68)	50~59歳 (n=84)	60~69歳 (n=82)	70~79歳 (n=75)	80歳以上 (n=28)
忙しくて受診する時間がない	11.5	13.0	10.3	16.7	0.0	7.0	13.7	20.6	15.5	11.0	5.3	0.0
医者にかかっている	36.2	38.5	34.2	50.0	0.0	7.0	8.2	14.7	38.1	54.9	65.3	78.6
健康だから	23.4	18.8	26.6	33.3	57.1	37.2	47.9	30.9	13.1	12.2	10.7	7.1
生活習慣を変えるつもりがない	3.9	5.2	3.0	0.0	0.0	0.0	4.1	8.8	7.1	2.4	1.3	0.0
生活習慣についていわれたくない	1.5	1.0	1.9	0.0	0.0	4.7	0.0	2.9	1.2	0.0	1.3	3.6
保健指導がなにかわらない	8.2	7.8	8.7	0.0	14.3	27.9	13.7	8.8	8.3	1.2	0.0	3.6
その他	7.6	6.3	8.7	0.0	0.0	4.7	6.8	8.8	11.9	9.8	5.3	0.0
無回答	7.6	9.4	6.5	0.0	28.6	11.6	5.5	4.4	4.8	8.5	10.7	7.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体、性別、年齢別の上位3項目を塗りつぶしている。

⁴¹ (5) -3で「受けなかった」に○をつけた方のみ回答。

(5) -5⁴² あなたが、健康診断などを受けなかった理由は何ですか。

- ▶ 全体では、「忙しくて受診する暇がない」「医者にかかっている」がともに18.1%と最も高く、次いで、「健康だから」(10.1%)となっている。
- ▶ 性別では、「医者にかかっている」割合は「男性」の方が「女性」よりも高い傾向にある。
- ▶ 年齢別では、働きざかりである「20～29歳」から「50～59歳」にかけての「忙しくて受診する時間がない」割合が高い。

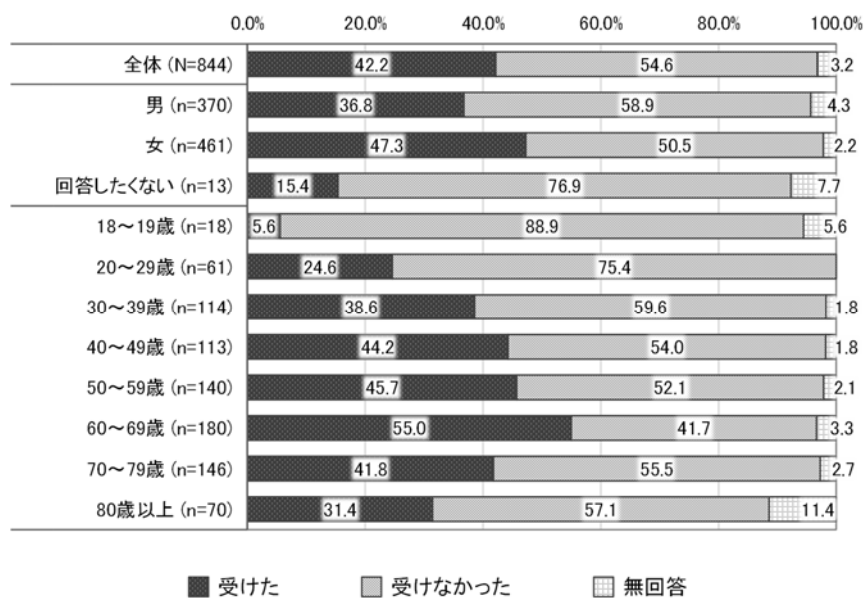
	全体 (n=138)	男 (n=53)	女 (n=80)	回答したくない (n=5)	18～19歳 (n=10)	20～29歳 (n=11)	30～39歳 (n=28)	40～49歳 (n=17)	50～59歳 (n=20)	60～69歳 (n=20)	70～79歳 (n=17)	80歳以上 (n=15)
忙しくて受診する時間がない	18.1	15.1	18.8	40.0	10.0	18.2	21.4	35.3	35.0	10.0	0.0	6.7
医者にかかっている	18.1	26.4	13.8	0.0	0.0	9.1	0.0	5.9	10.0	25.0	35.3	66.7
寝たきりのため行くことができない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受診会場への移動手段がない	0.7	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
病気を発見されるのが怖い	2.2	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0
健康だから	10.1	17.0	6.3	0.0	10.0	18.2	7.1	11.8	15.0	5.0	11.8	6.7
健康には関心がない	1.4	1.9	1.3	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
悪いところはわかっている	3.6	5.7	2.5	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	10.0	11.8	0.0
どこで受診できるか知らない	8.0	3.8	11.3	0.0	40.0	9.1	10.7	5.9	0.0	0.0	0.0	13.3
費用がかかる	4.3	7.5	2.5	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	10.0	15.0	0.0	0.0
健診の時間が長い	1.4	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
検査に伴う苦痛などが不安	1.4	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.0	0.0	0.0	0.0
健診項目が少ない	3.6	3.8	3.8	0.0	10.0	9.1	7.1	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
その他	16.7	11.3	18.8	40.0	10.0	18.2	17.9	23.5	20.0	25.0	5.9	6.7
無回答	10.1	3.8	13.8	20.0	20.0	0.0	21.4	11.8	0.0	0.0	23.5	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体、性別、年齢別の上位3項目を塗りつぶしている。

⁴² (5) で「受けなかった」に○をつけた方のみ回答。

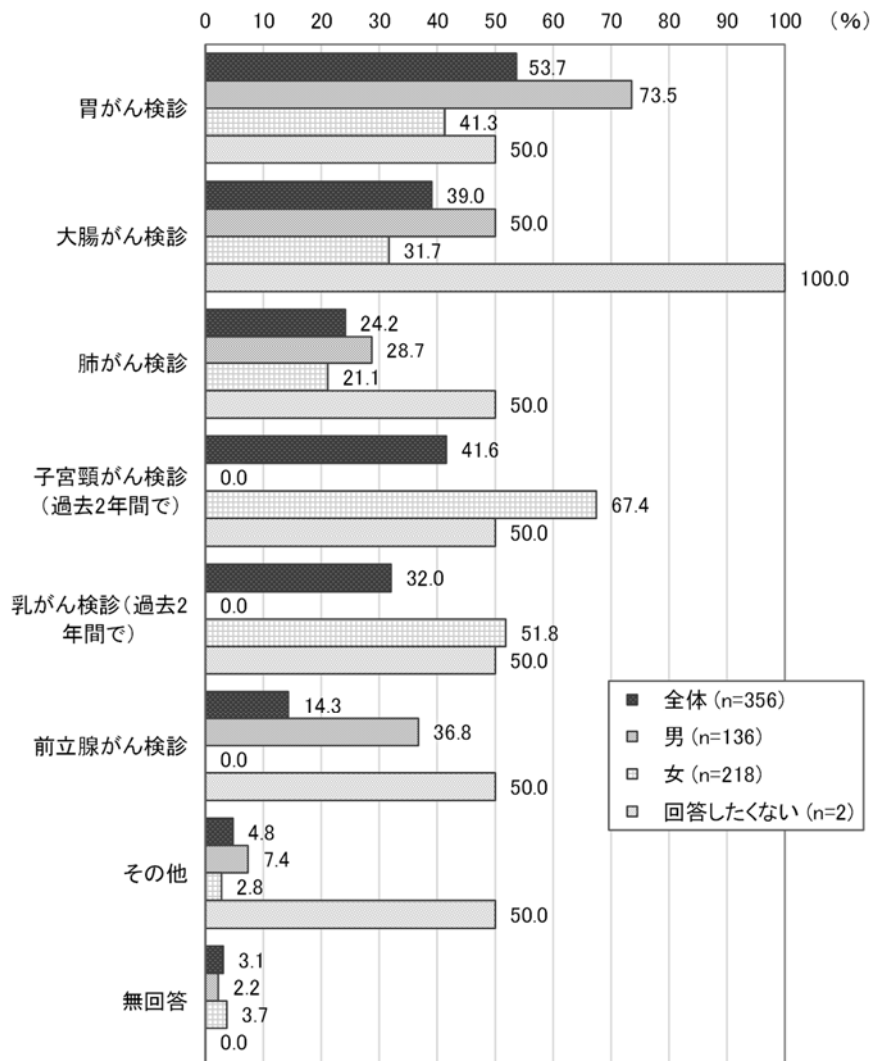
(6) あなたは、この1年間に胃がん検診や大腸がん検診、子宮頸がん検診など何らかのがん検診を受けましたか。

- 全体では、「受けなかった」が54.6%と高い。
- 性別では、「受けた」割合は「女性」の方が高い。
- 年齢別では、若い世代では「受けた」割合が低い傾向にある。



(6) -1⁴³ あなたが受診したがん検診に○をつけてください。

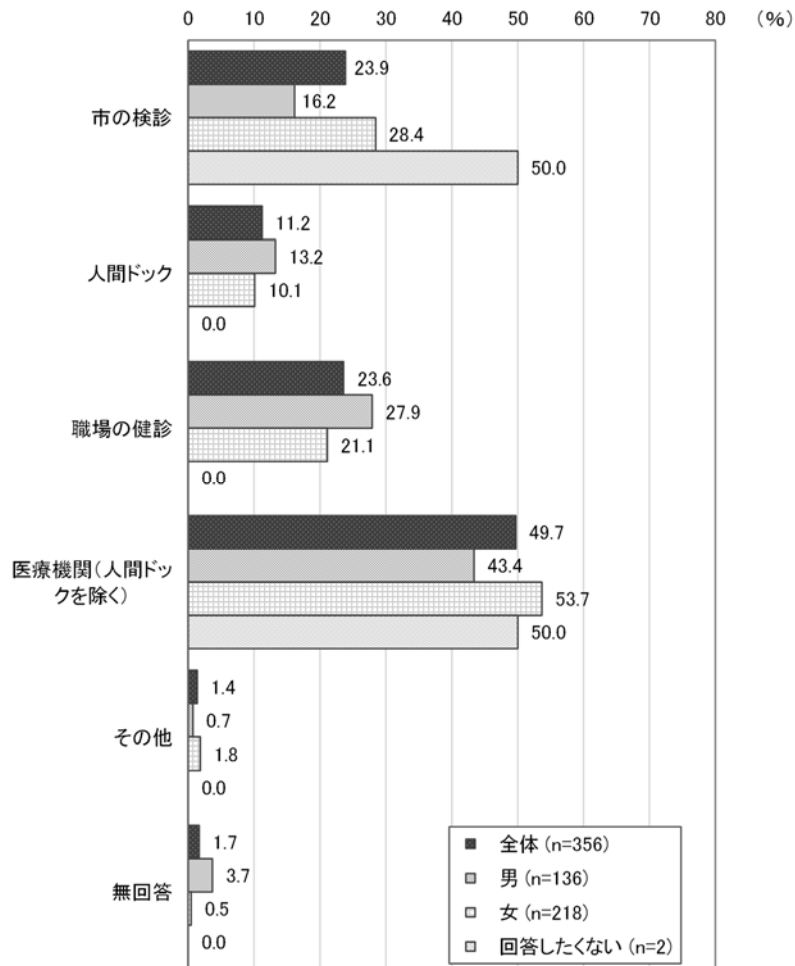
- 全体では、「胃がん検診」が53.7%と最も高く、次いで、「子宮がん検診」(41.6%)、「大腸がん検診」(39.0%)、となっている。
- 性別では、「男性」は「胃がん検診」が最も高く、次いで、「大腸がん検診」「前立腺がん検診」となっている。また、「女性」は「子宮がん検診」が最も高く、次いで、「乳がん検診」、「胃がん検診」となっている。



⁴³ (6) で「受けた」に○をつけた方のみ回答。

(6) -2⁴⁴ あなたは、がん検診をどこで受けましたか。

- 全体では、「医療機関」が49.7%と最も高く、次いで、「市の検診」(23.9%)、「職場の健診」(23.6%)となっている。
- 性別では、「男性」に比べて「女性」の方が「市の検診」や「医療機関(人間ドックを除く)」を利用している割合が高い傾向にある。



⁴⁴ (6) で「受けた」に○をつけた方のみ回答。

(6) -3⁴⁵ あなたががん検診を受けなかった理由は何ですか。

- 全体では、「医者にかかっている」が20.8%と最も高く、次いで、「健康だから」(17.4%)、「忙しくて受診する時間がない」(15.4%)となっている。
- 性別では、「健康だから」の割合が「男性」の方が高い。
- 年齢別では、若い世代は健康に対する不安の少なさや、日常生活の忙しさに関する理由が多い傾向にあり、高齢世代では「医者にかかっている」割合が高い傾向にある。

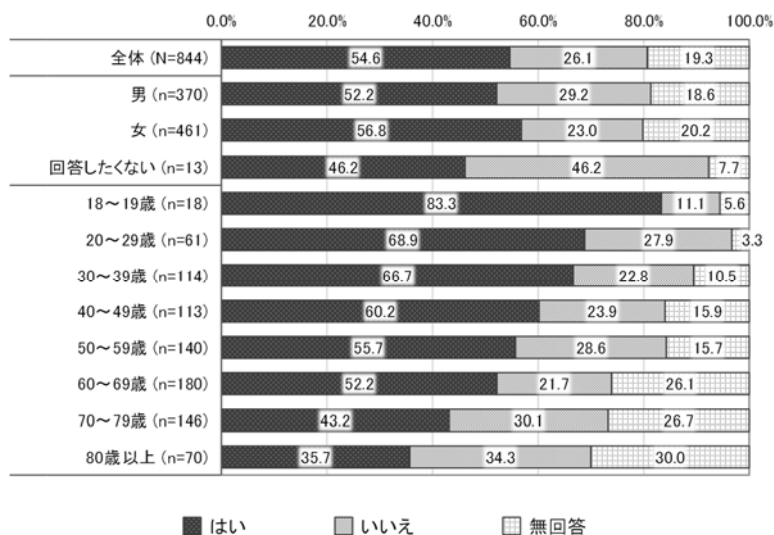
	全体 (n=461)	男 (n=218)	女 (n=233)	回答したくない (n=10)	18~19歳 (n=16)	20~29歳 (n=46)	30~39歳 (n=68)	40~49歳 (n=61)	50~59歳 (n=73)	60~69歳 (n=75)	70~79歳 (n=81)	80歳以上 (n=40)
忙しくて受診する時間がない	15.4	13.3	16.3	40.0	25.0	15.2	23.5	27.9	24.7	9.3	2.5	0.0
医者にかかっている	20.8	21.6	21.0	0.0	0.0	0.0	4.4	4.9	12.3	25.3	46.9	60.0
寝たきりのため行くことができない	0.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
受診会場への移動手段がない	1.1	0.0	2.1	0.0	6.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	5.0
病気を発見されるのが怖い	3.9	2.3	5.6	0.0	6.3	0.0	1.5	6.6	6.8	8.0	1.2	0.0
健康だから	17.4	23.9	11.6	10.0	43.8	32.6	32.4	19.7	11.0	9.3	8.6	2.5
健康には関心がない	1.7	1.8	1.7	0.0	0.0	4.3	1.5	3.3	2.7	0.0	1.2	0.0
悪いところはわかっている	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.3	1.2	2.5
どこで受診できるか知らない	3.5	3.2	3.4	10.0	12.5	13.0	2.9	1.6	2.7	0.0	1.2	5.0
費用がかかる	6.1	5.5	6.4	10.0	0.0	6.5	7.4	8.2	8.2	8.0	3.7	0.0
検診の時間が長い	2.0	2.3	1.3	10.0	0.0	2.2	2.9	3.3	1.4	2.7	1.2	0.0
検査に伴う苦痛などが不安	3.9	4.6	3.4	0.0	0.0	0.0	2.9	4.9	5.5	9.3	2.5	0.0
検診項目が少ない	0.9	1.4	0.4	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
その他	9.3	7.8	10.7	10.0	0.0	6.5	13.2	9.8	8.2	14.7	8.6	2.5
無回答	13.0	11.5	14.6	10.0	6.3	13.0	7.4	9.8	12.3	12.0	18.5	22.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体、性別、年齢別の上位3項目を塗りつぶしている。

⁴⁵ (6)で「受けなかった」に○をつけた方のみ回答。

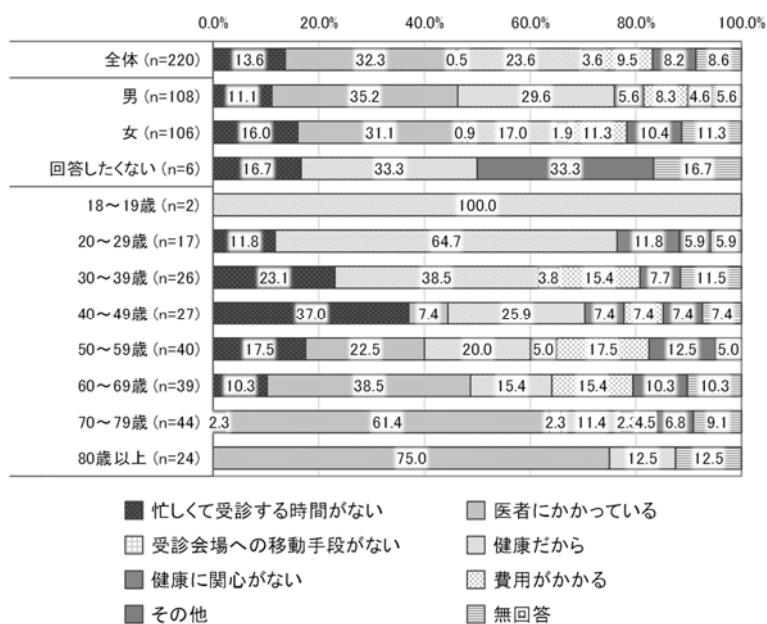
(7) あなたは、今後がん検診を受けようと思いますか。

- ▶ 全体では、「はい」が54.6%と最も高い。
- ▶ 性別では、「女性」の方が「はい」の割合が高い傾向にある。
- ▶ 年齢別では、「いいえ」の割合は「80歳以上」が最も高い。



(7) -1⁴⁶ がん検診を受けない理由は何ですか。

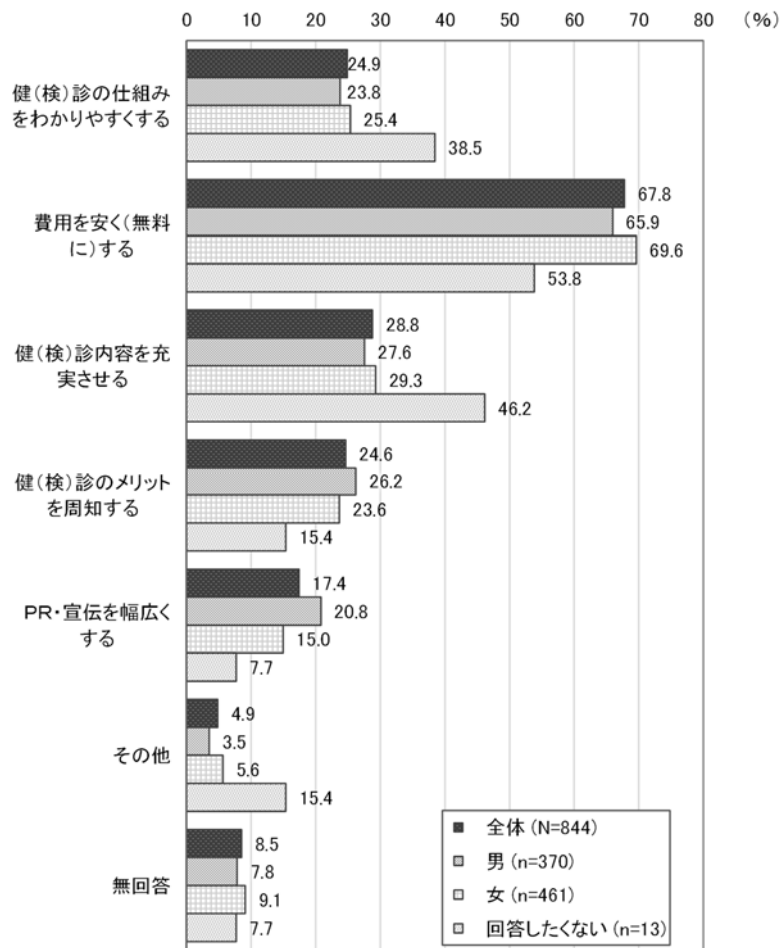
- ▶ 全体では、「医者にかかっている」が32.3%と高く、次いで、「健康だから」(23.6%)、「忙しくて受診する暇がない」(13.6%)となっている。
- ▶ 性別では、大きな差異はみられない。
- ▶ 年齢別では、「40～49歳」の「忙しくて受診する時間がない」割合が高い。



⁴⁶ (7) で「いいえ」に○をつけた方のみ回答。

(8) あなたは、健康診断やがん検診を受ける方を増やすには、何が重要だと思いますか。

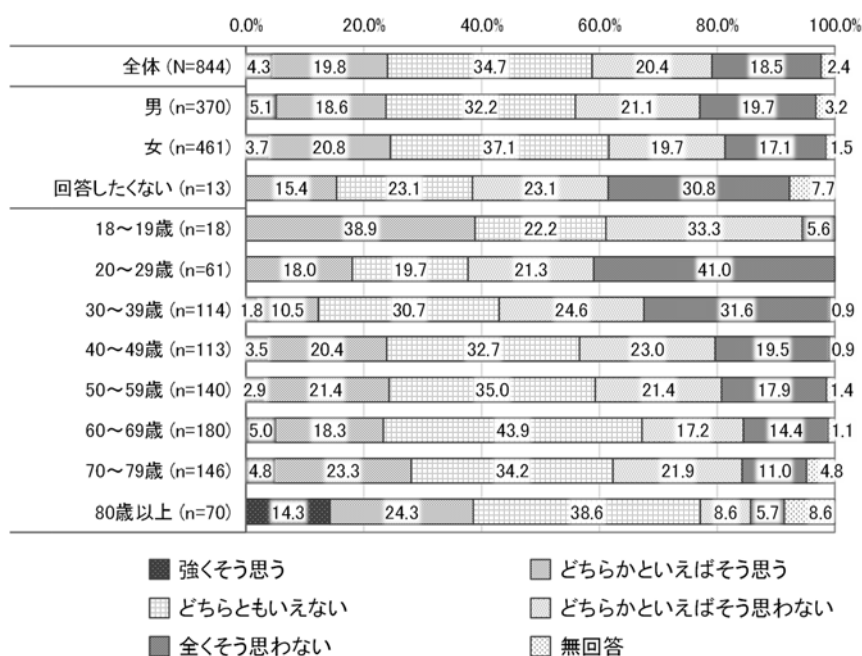
- ▶ 全体では、「費用を安く（無料に）する」が67.8%と最も高く、次いで、「健診（検診）内容を充実させる」（28.8%）、「健診（検診）の仕組みをわかりやすくする」（24.9%）となっている。
- ▶ 性別では、大きな差異はみられない。



9. 地域活動や情報について

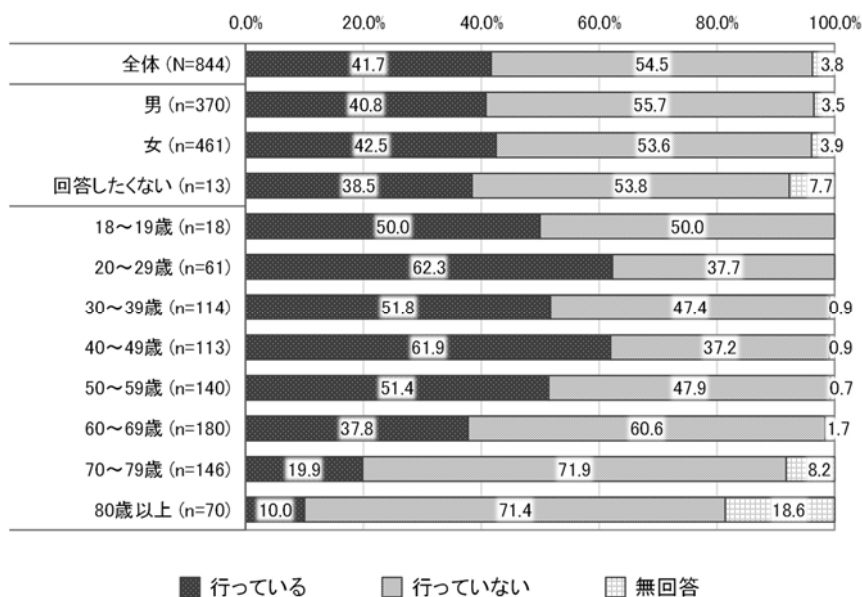
(1) あなたは、地域の人とのつながりは強い方だと思いますか。

- 全体では、「どちらともいえない」が34.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」（20.4%）、「どちらかといえばそう思う」（19.8%）となっている。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、地域の人とのつながりが強い方だと思う方は、年代が高くなるにつれて高い傾向にある。



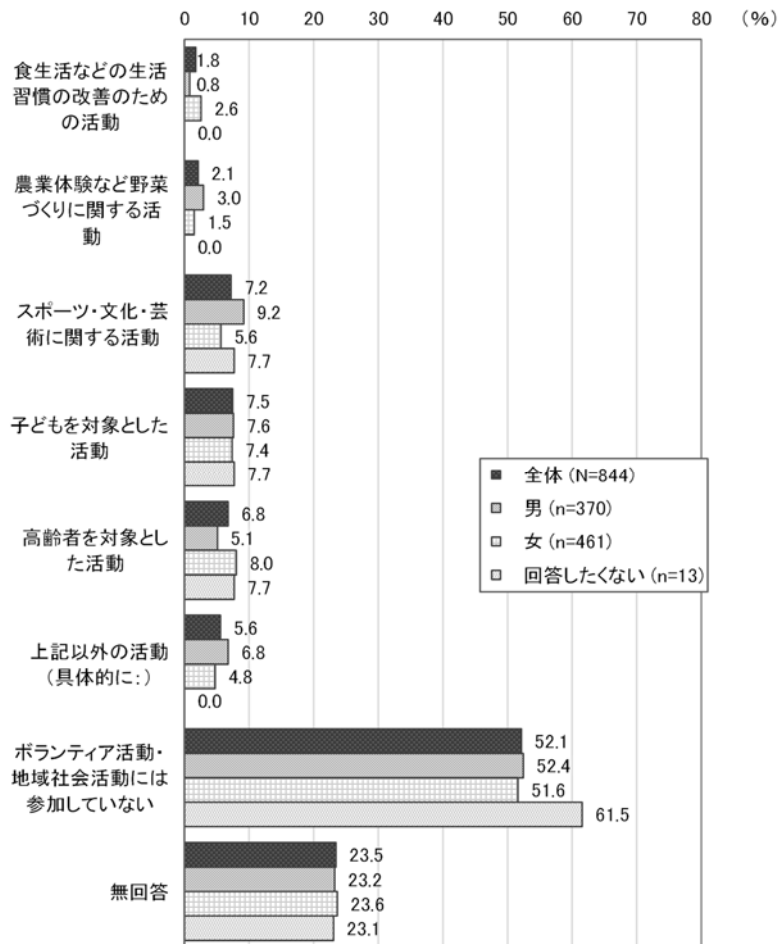
(2) あなたは、なんらかの社会活動（就労・就学を含む。）を行っていますか。

- 全体では、「行っていない」が54.5%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。
- 年齢別では、「行っている」割合は年代が若くなるにつれて高い傾向にある。



(3) あなたは、この1年間に健康に関するボランティア活動、地域社会活動（区・コミュニティ活動・地域行事など）を行いましたか。

- 全体では、「ボランティア活動・地域社会活動には参加していない」が52.1%と最も高い。
- 性別では、大きな差異はみられない。



(4) 健康に関する情報で、知りたいと思うものはどのようなものですか。

- ▶ 全体では、「疲労回復やリフレッシュ方法、ストレス解消方法に関する情報」が33.1%と最も高く、次いで、「運動のできる場所や教室などの情報」(31.6%)、「予防接種や感染症に関する情報」(25.6%)となっている。
- ▶ 性別では、大きな差異はみられない。

